

(仮称) 上沼風力発電事業
環境影響評価方法書についての
意見の概要と事業者の見解
〔公開版〕

令和 7 年 6 月

株式会社グリーンパワーインベストメント

目 次

第 1 章 環境影響評価方法書の公告及び縦覧.....	1
1. 環境影響評価方法書の公告及び縦覧.....	1
(1) 公告の日	1
(2) 公告の方法	1
(3) 縦覧場所	1
(4) 縦覧期間	2
(5) 閲覧者数（閲覧記録用紙記載者数）	2
2. 環境影響評価方法書についての説明会の開催	3
(1) 公告の日及び公告方法	3
(2) 開催日時、開催場所及び来場者数	3
3. 環境影響評価方法書についての意見の把握	4
(1) 意見書の提出期間	4
(2) 意見書の提出方法	4
(3) 意見書の提出状況	4
第 2 章 環境影響評価方法書について提出された環境保全の見地からの意見の概要と事業者の見解 ...	5

第 1 章 環境影響評価方法書の公告及び縦覧

1. 環境影響評価方法書の公告及び縦覧

「環境影響評価法」第 7 条の規定に基づき、環境保全の見地からの意見を求めるため、方法書を作成した旨及びその他事項を公告し、方法書を公告の日から起算して 1 月間縦覧に供した。

(1) 公告の日

令和 7 年 3 月 11 日（火）

(2) 公告の方法

①日刊新聞等による公告（別紙 1 参照）

下記日刊紙に「公告」を掲載した。

- ・令和 7 年 3 月 11 日（火）付 秋田魁新報（朝刊 20 面）
- ・令和 7 年 3 月 11 日（火）付 米代新報（朝刊 1 面）
- ・令和 7 年 3 月 11 日（火）付 北鹿新報（朝刊 4 面）

②広報によるお知らせ（別紙 2 参照）

下記広報に「（仮称）上沼風力発電事業に係る意見募集」を掲載した。

- ・広報かづの 3 月号（p. 15）

③インターネットによるお知らせ（別紙 3 参照）

令和 5 年 3 月 11 日（月）から、下記のウェブサイト「お知らせ」を掲載した。

- ・株式会社グリーンパワーインベストメントホームページ

<https://greenpower.co.jp/category/environmental-impact-assessment/>

- ・秋田県ホームページ

<http://pref.akita.lg.jp/pages/archive/83099>

- ・鹿角市ホームページ

<https://www.city.kazuno.lg.jp/soshiki/shiminkyodo/kankyoseikatsu/gyomu/1/3/13101.html>

(3) 縦覧場所

関係自治体庁舎の計 7 箇所において縦覧を行った。また、インターネットの利用による公表を行った。

①関係自治体庁舎での縦覧

- ・秋田県生活環境部環境管理課
- ・鹿角市役所本庁
- ・鹿角市花輪支所
- ・鹿角市大湯支所
- ・鹿角市八幡平支所
- ・鹿角市十和田支所

- ・鹿角市尾去沢支所

②インターネットの利用による公表

- ・株式会社グリーンパワーインベストメントホームページ

<https://greenpower.co.jp/category/environmental-impact-assessment/>

(4) 縦覧期間

- ・縦覧期間：令和7年3月11日（火）から令和7年4月10日（木）まで
- ・縦覧時間：いずれも開庁・開館時間のみ

なお、インターネットの利用による公表については、令和7年4月24日（木）17:00 までアクセス可能な状態とした。また、秋田県、鹿角市のホームページに当該公表ページへのリンクを掲載することにより参照可能とした。

(5) 閲覧者数（閲覧記録用紙記載者数）

関係自治体庁舎での閲覧者数（閲覧記録用紙記載者数）は6名であった。意見書はこのうち、4名の投函があった。

- ・秋田県生活環境部環境管理課 1名（意見書1名）
- ・鹿角市役所本庁 2名（意見書2名）
- ・鹿角市花輪支所 2名
- ・鹿角市八幡平支所 1名（意見書1名）

2. 環境影響評価方法書についての説明会の開催

「環境影響評価法」第7条の2の規定に基づき、方法書の記載事項を周知するための説明会を開催した。

(1) 公告の日及び公告方法

説明会の開催公告は、広報によるお知らせ及び環境影響評価方法書の縦覧等に関する公告と同時に行った。

(別紙1、別紙2 参照)

(2) 開催日時、開催場所及び来場者数

説明会の開催日時、開催場所及び来場者数は以下のとおりである。

【会場①】

開催日時：令和7年3月21日(金) 18時から19時45分

開催場所：大湯地区市民センター

来場者数：4名

【会場②】

開催日時：令和7年3月22日(土) 10時から12時15分

開催場所：八幡平市民センター

来場者数：7名

【会場③】

開催日時：令和7年3月22日(土) 15時から17時

開催場所：鹿角市交流センター

来場者数：11名

3. 環境影響評価方法書についての意見の把握

「環境影響評価法」第8条の規定に基づき、環境保全の見地から意見を有する者の意見の提出を受け付けた。

(1) 意見書の提出期間

令和7年3月11日（火）から令和7年4月24日（木）まで
（郵送による意見書は当日消印まで有効とした。）

(2) 意見書の提出方法

環境保全の見地からの意見について、以下の方法により受け付けた（別紙4参照）。

- ①縦覧場所に設置した意見書箱への投函
- ②紙面による当社への郵送

(3) 意見書の提出状況

提出された意見書の総数は391通であった。このうち、鹿角市民からの意見は52件であった。なお、同一の氏名、住所、意見の意見書が複数あった場合は、1件の意見として整理した。

表 1-1 環境影響評価方法書についての意見の件数（住所別）

意見者の住所	意見の件数
秋田県鹿角市	52
秋田県（鹿角市以外）	95
青森県	19
岩手県	36
秋田県・青森県・岩手県以外の東北地方	29
北海道地方	1
関東地方	50
中部地方	24
関西地方	72
四国地方	3
中国地方	6
九州・沖縄地方	2
その他	2
合計	391

第 2 章 環境影響評価方法書について提出された環境保全の見地からの意見の概要と事業者の見解

表 2-1 方法書に対する住民等からの意見の概要及び事業者の見解

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
1	自然を壊してまで、電力を作る必要性が理解出来ません。省エネを推進して下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
2	(仮称)上沼風力発電事業 環境影響評価方法書を拝見させていただきました。 方法書記載内容のうち、今回は特に「建設によって土砂災害などのリスクが高まるのではないか」という点にしぼり、現時点での疑義事項を申し述べます。 鹿角市地域防災計画の災害年表によれば、平成 19 年 9 月の集中豪雨では総雨量 260mm、平成 25 年 8 月の集中豪雨では時間雨量 108.5mm、さらに土砂災害の目安となる累加雨量が 100mm を超えた事例を見ると平成 29 年 7 月、平成 30 年 8 月、令和 2 年 7 月、令和 4 年 8 月(この年は 1 時間最大雨量が 90mm、降り始めからの総雨量は 444mm とアメダス鹿角の観測史上最高を記録)と 2 年に一度のペースとなるなど、地球温暖化の影響もあつてか、その発生頻度は増していると捉えています。 当該事業計画地は、急峻な奥羽山脈のエリアに位置(恐らく傾斜度は 30° 以上が大半)しており、山岳部に降った雨は、風力発電施設建設予定地の標高 800m 前後の尾根部から急斜面な沢部を一気に流れ下り、住宅や農地など住民が暮らす居住エリアへと流下します。 しかも、雨雲は偏西風にのり日本海側の西側から東側に移動する頻度が極めて高いため、建設予定山塊の東側斜面に降る降雨量は西側斜面に比べて多いものと推察されます。 風車ヤードは 3000～5000 m²、基礎は杭基礎が 19×19m ×4.5m、直接基礎が 20×20×4.5m のエリアを占有し、風車ヤードとそれらを結ぶアクセス道路は幅員 5m 以上となり、しかも既存作業道の両端に植生している樹齢 100 年以上の樹木を伐採して拡張していくとお聞きしています。(造成等の開発予定面積がいくらを予定しているのか見つけることが出来ませんでした。) しかも当該斜面は、火山性岩石が多く、すでに地滑り地形を成している個所も散見されます。 また流下する河川のうち、乳牛川のみは砂防改修工事をすでに終えていると理解していますが、富士川、不動川、佐比内川などでは河川の砂防改修工事はいまだ施工されておらず、かつ土砂の浚渫工事も行われていないことから、河床が高く、集中豪雨の際には堤防から越水して住宅や農地に被害をもたらしている現状にあります。 上記に述べた点を総合的に考えると、当該計画の方法書以降で技術的にこれら課題を解決できるのだということを明確に示していただかないと、下流部に生活する私たち市民にとっては非常に心配です。 福島県などの計画予定地では、「国有林を含む建設予定地の土地賃貸契約を締結するためには首長の同意が必要」との観点から、地方自治体が計画に反対する事例も	ご意見ありがとうございます。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては、踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、関係機関とも協議の上、適切な対応をする方針です。なお、事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復(緑化植栽等)を行う予定です。今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまのご懸念に対して丁寧に説明を行ってまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	見られます。 技術的に裏付けられた専門的見解を求めるものです。 また、基礎工事を施工しますが、20年の売電期間が終了した場合、当該基礎部分は解体撤去し、土盛工と樹木植栽を行い、林野庁に返地するのにかについても、ご回答をお願いしますものです。 以上	
3	貴社が計画している風力発電についてですが、地域住民の一人としては地域の新しい産業に期待をする一方で、生態系への影響や水質・騒音・景観などへの影響を懸念する気持ちもあります。風力発電に関しては、北海道沿岸の風力発電事業では、希少種のバードストライクが大きな問題となっています。忌避音などの対策効果も効果がなく、バードストライク対策後にもバードストライクが発生し続ける状況が続いたため、風車の稼働時間を夜間のみとするなど、事業者にとっても、生息動物にとっても、お互いに不利益な状況となっています。また、夜間運転のみとなることで発電効率が落ち収益性も損なわれ、本来の目的である地球温暖化防止対策を果たせず、事業実施の意味や目的も失われてしまいかねない重大な事態に陥っていると思います。 このような状況を鹿角で起こさないためにも、計画段階で意見書を提出します。どうか事業実施を急ぐことなく、事業計画と環境影響評価を慎重に行うとともに、地域の意見を取り入れ、事業計画の見直しを行い、地域の合意を得るようお願いします。以下は、意見や質問になります(文頭の数字は環境影響評価方法書の章とページ数です)。	方法書の内容について詳しくご確認いただくとともに、ご意見ありがとうございます。 本事業による環境への影響については、今後の環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言を踏まえて科学的に予測・評価を実施いたします。 また、今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。
	2-1 (3) 対象事業の目的の中に、鹿角市の位置づけは1行しかないのですが、なぜ鹿角市でなければならないのかを具体的に記載していただきたいです。 鹿角の電力需給率やそれに占める再生可能エネルギーの割合なども記載されておらず、何のために、誰のために、鹿角に大型の風力発電施設を設置するのが明確ではありません。鹿角でこの事業を進める理由はなんでしょう。	2-1 (3) 鹿角市エネルギービジョン(鹿角市、2022年)では基本方針3で再エネの導入を促進する(市全域の発電所化)としており、「再エネに取り組める環境を生かし、規模や種類にかかわらず、市民・事業者・行政それぞれが主体的に最大限の再エネ導入を進めます。また、市民が地域の再エネを直接利用できる設備の導入を進めます。」としています。 風力発電施設を導入し、安定して運用する上で恵まれた風況を有することが国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構の風況マップにより確認されており、また、その他の条件(地形、法規制等)も踏まえて、事業計画を立案しました。
	2-2 (4) この出力、基数とした理由を教えてください。	2-2 (4) 風況や地形を踏まえた事業採算性や法規制等を踏まえ設置可能と考えられる出力の風力発電機を選定し、最大の設置基数をお示ししました。
	2-2 (4) 風力発電の耐用年数は何年でしょうか。耐用年数が過ぎた場合や、故障し作動しなくなった際には、どのように撤去するのでしょうか。 国有地の保安林内ですが、土地の貸付の場合は原状回復が前提になると思います。一時的な変更の原状回復計画のみならず、風車撤去時の現状回復計画をどのように立てているのでしょうか。準備書段階での原状回復計画書の公開をお願いします。	2-2 (4) 風力発電施設の耐用年数は一般的に20年程度となっております。 事業終了後には、土地権利者との契約に基づき設備撤去や土地の原状回復(緑化植栽等)を行う予定ですが、具体的な撤去・原状回復の内容については、地盤状況および基礎の構造を踏まえ、関係機関と協議の上、今後定めていくものとなります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	2-12 (14) フォトモンタージュは方法書段階あるいは配慮書段階で公表してほしいと思います。計画の早い段階で提示すれば、イメージもつきやすく、住民が議論しやすいと思います。	2-12 (14) フォトモンタージュについては、準備書以降の手続きにて提示し、ご意見をいただきたいと考えております。
	2-28 (30) 構造物の地上部については記載がありますが、地下部(杭長)に関しては支持層に依拠して記載されています。一般的な地質での地下部の構造計画はできるはずですので、まずは計画を記載してください。地上部 100m 以上の構造物を支えるには基盤構造が大きく深くなるため、土壌への影響が大きいと考えます。支持層を調査の上、詳細な計画を掲載してください。	2-28 (30) 今後ボーリング調査等を実施し、支持層を踏まえて、基礎構造を検討いたします。
	3-45 (87) 佐比内沢付近の既存道路拡張に伴う、河川流量への影響はどの程度でしょうか。また、同河川の下流には扇状地(果樹栽培地域)があると思いますが、地下水量減少など用水枯渇への影響および、扇端である居住地区周辺の湧水や伏流水の水量への影響はどの程度と評価しているのでしょうか。地下水の安定同位体分析により、風車設置前・設置後の地下水位および湧水への影響評価を行う必要があると考えます。	3-45 (87) 本事業による河川流量への影響については、今後、許認可手続きの中で確認し、関係機関と協議の上、必要に応じて対策等を講じます。 また、影響が懸念される場合は、適切な対応をいたします。
	3-50 (90)、6-45 (403) 鳥類・動物にとっては、山頂尾根部への大規模かつ広範囲な風車設置によって、生息域の分断、移動経路の変更、繁殖地の変更等、影響が大きいと考えられます。動物に係る調査のうち、クマゲラ、クマゲラ営巣跡地を利用するヤマネ等の希少種に関する生息・繁殖調査を行ってください。	3-50 (90)、6-45 (403) クマゲラは鳥類調査にて、クマゲラ営巣跡地を利用するヤマネ等の希少種については、専門家からも助言を受けており、哺乳類調査、鳥類調査にて樹洞の分布状況、利用状況を把握する予定としております。ヤマネ、モモンガ等については巣箱調査にて生息状況の把握も行う予定です。
	3-60 (102)、4-28 (292)、4-43 (307) 鹿角市郡にはオオハクチョウ、コハクチョウの飛来が見られます。バードストライク、および飛翔経路への影響が懸念されます。鹿角市での飛翔ルートの確認、および生息数の現地調査を行ってください。また、気象条件等によって渡りルートが変わる可能性もあるので、現地での渡りルート調査・生息調査を単年ではなく、複数年にわたり行ってください。	3-60 (102)、4-28 (292)、4-43 (307) オオハクチョウ、コハクチョウの渡り状況については、2年間実施する猛禽類調査時にもその確認、飛翔状況について把握するようにいたします。
	4-19 (283)、4-34 (293) 猛禽類のうち、ノスリ、サシバ、ハチクマだけの渡りルート検証としたのはなぜでしょうか。ミサゴは鹿角でも見られ、留鳥の可能性もあります。留鳥についてもバードストライクの危険性が高いことから、生息数調査や尾根付近での活動範囲の調査・記録が必要と思われます。	4-19 (283)、4-34 (293) 配慮書段階は文献調査での把握となっており、ノスリ、サシバ、ハチクマの検証としました。方法書に基づく現地調査ではその他の希少猛禽類についても調査対象としております。
	4-19 (283)、4-34 (293) 飛翔能力の高い鳥類は縄張の飛翔や移動のために、尾根部を越えることが想定されます。希少種に限らずトビなどの猛禽類は、山頂に立地する構造物が飛行の障害になることや、バードストライクの可能性は非常に高いと考えます。構造物の大きさが影響しないよう、構造物自体を小型化し基数も減らすべきと考えます。	4-19 (283)、4-34 (293) 方法書に基づく現地調査において鳥類の飛翔状況を把握し、バードストライクのリスクを把握し、風力発電機の仕様や配置を検討する方針です。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	4-46 (310)、資料 34 (図 4(1)) 重要種の生息環境と事業との関係の中で、河川湿地等は、風車の設置は行わないことから、影響を受けにくい地域としたようですが、上沼はすぐ近くに風車設置予定になっているように見えるのですが、影響は受けにくいと言えるのでしょうか。重要種がいないかどうかは現地調査を実施しないと分からないと思いますので、底生生物、両生類の調査対象としていただきたいと思います。	4-46 (310)、資料 34 (図 4 (1)) 風力発電機の設置箇所や工事用車両の通行を想定している林道等は河川や湿地等を対象としない想定であることから、配慮書における影響評価では影響を受けにくい地域としました。ただし、工事にともなう濁水の流入等も影響として想定されることから、底生生物、両生類についても調査対象としております。
	3-79 (121) 自然環境調査データでは、自然度 8 以上の区域が大部分を占めています。特に自然度 9 のエリアが、計画区域南側、および中央にあります。構造物の設置により、植生自然度の高い箇所が分断され、動物の生息域の分断が起こると考えます。植生自然度の高い林分には多様な生物相がありますので、構造物の設置箇所及び基数の再考を行ってください。	3-79 (121) 植生図については環境省より方法書縦覧後の 2025 年 3 月に新しい植生図が公開されました。最新の植生図を基に、現地調査にて現状を把握し、植生自然度に配慮して事業計画を検討してまいります。
	3-131 (173) 道路拡張や構造物基礎土木工事により、濁水や土砂の流出が懸念されます。特に下流の上水道、簡易水道直上では消毒のみの箇所が多いため濁り水が発生しないかどうか予備調査を行って下さい。また、上台地区には水力発電所がありますが、流量への影響がないか予測評価を行って下さい。	3-131 (173) 工事区域からの土砂流出等を防止することを目的として適切な防災対策を事業計画に盛り込む方針です。河川流量に影響が想定される場合は適切な対応をいたします。
	3-143 (185) 産業廃棄物は現地に残渣や廃棄物を残さないよう計画して下さい。また、空き瓶、空き缶、たばこの吸い殻のポイ捨て、走行車両の増加に伴う不法投棄などが起きないように道路等の施錠管理を実施してください。	3-143 (185) 産業廃棄物は現地に残渣や廃棄物を残さないよう適切に対応する方針です。道路等の施錠管理については関係機関とも協議いたします。不法投棄等が起きないように適切な対応を行う方針です。
	3-150 (192) 水質汚濁に関する項目調査を、工事開始前からモニタリングし、工事期間中に基準値を超えることがあれば、直ちに工事を中断するよう計画に盛り込んで下さい。	3-150 (192) 必要に応じて調査を行い、適切な対応を実施いたします。
	3-207 (249) 対象区域下流に砂防指定地があります。工事によって土砂の流出がないよう沈砂池の設置などを計画に盛り込んで下さい。土石流危険流域に隣接している風車設置検討区域は設置エリアを再考してください。	3-207 (249) 工事区域からの土砂流出等を防止することを目的として適切な防災対策を事業計画に盛り込む方針です。土石流危険溪流が含まれる風車設置検討区域についても踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。
	4-3 (267)、6-88 (446) 人と自然との触れ合いの活動の場として、上沼放牧地では毎年植林活動が行われています。植生の回復活動を行っている場所で、改変による影響や関係機関への配慮が必要です。	4-3 (267)、6-88 (446) 関係機関と協議を行いながら計画を検討いたします。
	6-16 (374) 風車下の砂利敷範囲が広がると、風車撤去後の植生の回復に影響がでることから、風車下は砂利敷ではなく、草刈り除草を基本とすべきと考えます。また、そのコストについても経営収支の中に盛り込んだ計画とすべきと考えます。	6-16 (374) 今後の造成計画において参考にさせていただきます。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	6-34 (392)、6-35 (393) 鹿角は鉾山も多くカドミウム汚染米の課題がある土地であり、各水系から農業用水として取水している箇所もあることから、水質調査の有害物質調査は水の濁り調査地点と同数としてください。有害物質現地調査回数は平時 1 回ではなく春季夏季秋季降雨時 2 回の計 5 回としてください。施工の影響であるかを確認するため、施工前と施工中、施工後にも調査を行ってください。花輪鉾山跡地が近くにありますので、カドミウム等の流出は入念にモニタリングして下さい。	6-34 (392)、6-35 (393) 表層地質の分布を踏まえて、そこから流れ出る代表的な河川において調査を行う計画としています。表層地質に含まれる有害物質の調査結果を踏まえて、調査地点や降雨時調査の追加、モニタリング調査の実施について検討いたします。当地域の特性等を踏まえて適切に対応し、ご不安の払拭に努めてまいります。
	6-38 (396) 有害物質の土質調査箇所が 3 箇所というのは、施工予定面積に対し少ないと考えます。少なくとも風車の設置基数箇所からのサンプリングを行うべきだと思います。	6-38 (396) 造成等の施工による表層土壌の改変に伴う影響を検討する観点から、異なる表層地質の代表的な地点において調査を行う計画としています。
	6-45 (430) 生息域の分断が起こりうる種のうち、希少種としてクマゲラの生息調査を行ってください。生物相の把握にオコジョ・イイズナを追加し、生息状況調査を行ってください。	6-45 (430) ご指摘のとおり、文献調査で確認できなかった種についても生息の可能性はありますので、現地調査においては指摘いただいた種についても特に注視して調査を実施いたします。
	6-48 (406) 希少猛禽類の調査期間は 2 営巣期となっています。堅果類の豊凶によって翌年以降の動植物個体数が増減するため、餌が少ない時期は採餌行動の範囲が広がる可能性があります。特に南北に国立公園を有する鹿角地域の山林で重要な堅果であるブナの豊凶は、希少猛禽類の餌となる動物の増減に大きく影響することから、ブナ豊凶のサイクルである 5 年間程度の調査が必要であると考えます。	6-48 (406) 2 営巣期の調査では、周辺に生息する希少猛禽類の繁殖状況について把握しきれないのではとのご指摘と考えます。調査結果については専門家にも報告、相談し、予測評価に不足する調査結果と考えられた場合は、必要に応じて補足調査を実施することを検討いたします。
	6-52 (410) TR4～TR5 の間のブナミズナ群落内は森林性哺乳類がいると思われるので、トラップ調査地点を設けるべきと考えます。	6-52 (410) 指摘いただいたエリアはチシマザサが密生しており、安全管理の観点から地点を設置しておりませんでした。同様の環境で調査員の安全が確保できる範囲で調査地点について移動を検討いたします。
	6-69 (427) 「植物社会学的手法に準拠したブラウンプランケ法」とはどのような手法ですか。植生調査のコドラート設置箇所の図示がありませんが、調査地点の選定と調査箇所数に主観的偏りがないようにすべきと考えますので、図示をお願いします。 また、この地域での植生調査データが乏しいため、代表的な群落地点のみならず、風車設置箇所の付近は必ず調査を行い、どのような種がどれだけいるかを記録し、改変によってどの程度の影響があったのかについて評価することが必要と考えます。	6-69 (427) ブラウンプランケ法は同じ種構成でも地域や標高や土質等によって各群落の内部構造は異なることから、構成する種について量的尺度として「被度と群度」を記録する手法です。詳細は、環境省の植生調査要綱 (https://www.biodic.go.jp/reports/2-4/3-1.html) 等をご参照ください。 植生調査のコドラートの設置箇所については植生の現状の分布を整理の上で設定する必要があるため、方法書には図示しておりませんが、群落調査については、適切に影響評価が行えるよう地点の設定を行います。
	6-75 (433) オオタカおよびハヤブサは非選定となっていますが、鳥類を主食とするので風力発電の影響を受けやすいと考えますので生態系評価に組み込んでいただきたいと思います。	6-75 (433) 希少猛禽類調査では重要な種については全て対象とする予定としております。オオタカ、ハヤブサは対象事業実施区域の標高や地形と希少猛禽類の一般的な生態から、主な対象種としておりませんが、希少猛禽類調査での出現頻度が顕著であった場合はこれらの種を生態系の影響評価の指標種とすることも検討する方針です。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	6-76 (434) 生態系調査として、鳥類のみの生態系モデルを作成するようですが、風車建設によって影響を受けるのは、移動を制限されたり生息域が分断されたり、生息場所がなくなる動植物全般です。哺乳類、昆虫類に関する移動制限の予測モデルの作成・評価を行ってください。また、植物の多様性についても生態系評価モデルに盛り込んでいただきたいです。	6-76 (434) 事業の特性から鳥類を生態系の上位種としてその影響を確認する方針としております。植生や餌生物としての哺乳類や昆虫類については予測モデルに組み込む方針です。
	6-76 (434) 鹿角ではムクドリが多く飛翔しています。森林性小型鳥類にムクドリも追加していただきたいです。	6-76 (434) 森林性小型鳥類については、主な対象種を例として抽出しておりますが、現地調査ではすべての種を対象とする方針です。
	7-22 (472)、7-23 (473) の意見に賛成です。重力散布・風散布種の樹木であれば、尾根部の母樹は残すべきと考えます。地滑り地形の無理な改変は土砂災害を招くためやめていただきたいです。	7-22 (472)、7-23 (473) 地滑り地形の土砂災害を起こしてしまうような無理な改変を行わない方針です。
	その他 ・縦覧期間が短いので長くしていただきたいです。	その他 ・環境影響評価法の規定を元に縦覧期間を記載しておりましたが、意見記入の利便性を考慮し、事業者のホームページ、市役所等での縦覧可能な期間を意見募集期間まで延長しました。
	・市民センターでも閲覧できるようにしていただきたいです。	・ご意見を踏まえ、市民センターでの閲覧も検討いたします。
	・事業の収益性、持続可能性について記載すべきと考えます。なぜなら、発電効率の観点から風車を大型化すれば、どうしても環境への影響が大きくなります。また、売電先や売電価格によって収益が不透明となれば事業の継続性にも影響が出ます。仮に事業が赤字となり倒産や事業規模縮小などした際には、誰が現状回復を行うのでしょうか。	・具体的な事業の収益性を公表することは出来ませんが、事業が持続可能なものとなる様に、事業計画を検討してまいります。撤去に関しては、運転開始時から撤去費用の積み立てを行う予定です。
	・12月～5月頃まで花輪越は道路封鎖されていますが、林内路線は除雪するのでしょうか。消防車両が風車直下まで走行できないと消火活動に支障をきたすのではないかと思います。	・積雪期の管理の方法については管理者と協議の上で決定することとなります。例えば、除雪車や雪上車等を使用してアクセス道を確保し、管理作業を実施することを一案として想定しています。
	・業者などを含めた関係機関の人材確保ができるのでしょうか。現地雇用を創出するメリットを掲げていますが、人口減少の進む地域で人材確保がなされないまま、管理がおろそかにならないか心配です。	・建設工事、運転管理時には、可能な限り現地雇用を推進しながら、人材を確保できるように計画を検討いたします。
	以上です。	
4	秋田県の緑豊かな自然をこわす風力発電はいらない。秋田、東北の自然を犠牲にする開発はいらない。風力発電機設置も送電施設も自然の木をきり、開発することによって自然の循環を破壊、安全に影響があるのは充分みなさんも判っていることと思います。目の前の経済にまどわされず子や孫のため安全安心の未来をのこしてほしい。もうこれ以上海にも山にも自然をこわす、再エネ施設はいらない。鹿角市においての風力発電事業について自然を侵害する施設をこれ以上つくらないで戴きたく意見を述べます。もうこれ以上風力発電は海にも山にもいらない。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	・山々に風力発電機を設置するのは当然のことながらまず地下への基礎部分の設置にたいし山に生息する動植物の生活権を侵害します。そのあと建設された発電機のブレード回転による低周波騒音、風の吸引また発電機付近の地面の乾燥など、付近住民のみならず生物全般にわたる健康被害が考えられます。 ・又、県庁縦覧方法としてもぶあつい配慮書をよむのにふさわしくない環境(すわるところもない)住民県民への配慮のない行為に対し抗議いたします。 再エネという名の災害発生事業に反対いたします。善良な市民をだまさないでください。	土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
5	このたび貴社により縦覧に供された「(仮称) 上沼風力発電事業計画段階環境影響評価方法書」に関して、私ども日本野鳥の会もおかは野生鳥獣の生息環境保全の観点に基づく以下の 5 点の理由により貴社の方法書に示される事業計画案の中止を強く求める旨の意見を申し述べます。 【1】奥羽山脈北部地域の貴重な自然環境の保全に関して 奥羽山脈北部とその周辺の広大な地域は多様で豊かな自然に恵まれ、これらの地域は多種多様な野生鳥獣の貴重な生息地、繁殖地、越冬地、あるいは渡りの中継地となっております。そしてその中には環境省・岩手県・秋田県のレッドデータブック・レッドリスト等に掲載されている希少猛禽類や渡り鳥を含む数多くの鳥類も含まれます。特に秋田県・岩手県・青森県にまたがる八幡平周辺地域はその自然環境の豊かさを保全するために国の「十和田八幡平国立公園」、「奥羽山脈緑の回廊」、「十和田 KBA」、「北奥羽山系カモシカ保護地域」、秋田県の「東山鳥獣保護区」などの様々な指定が行われております。このような地域に大型風力発電装置が稼働すると豊かな自然環境、特に野鳥の生息環境に悪影響を与え、とりわけ尾根沿いに 15～22 基にも及ぶ風車の設置は尾根筋の間や尾根の周りに存在する非事業対象地域へも風力発電施設の影響が及びます。そしてその結果として鳥類の生息エリアを狭めるなど当該地域周囲の広いエリアに重大な悪影響が及ぶと予想されます。 また風力発電施設に付随して必要となる変電施設や送電網、アクセス用の道路の新設や拡張などもそれぞれ自然環境を損ないます。当該事業予定地の大半は山の斜面のブナ等落葉広葉樹を主体とする森林であり、特に事業計画では風力発電施設の設置場所のほぼ全てが河川の水資源の確保や土砂災害防除を目的とする「保安林」の指定地域内となっております(方法書 p.249～p.260)。従って当該事業計画の実施によりこの地域の自然環境や地域防災体制は深刻な悪影響を受ける恐れがあります。 従って私ども日本野鳥の会もおかは当該事業予定地域とその周辺地域の自然環境の保全の立場より貴社の方法書に示されている当該事業計画の中止を強く求めます。 【2】希少猛禽類の生息環境の保全に関して 十和田八幡平国立公園やその周辺地域はイヌワシ・クマタカ等の希少猛禽類の重要な生息地として知られております。特にイヌワシは環境省のレッドリスト 2020 では絶滅危惧 1B 類、岩手県レッドデータブックでは A	ご意見ありがとうございます。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。 【1】奥羽山脈北部地域の貴重な自然環境の保全に関して 今後の現地調査の結果を踏まえ、適切に影響の予測評価を行い、回避・低減、必要に応じて事業計画について検討する方針です。また、保安林については、関係機関と協議を行いながら適切に検討いたします。 【2】希少猛禽類の生息環境の保全に関して 専門家の意見も踏まえ、現状の対象事業実施区域の利用状況を把握し、適切に影響の予測評価を行い、回避・低減、必要に応じて事業計画について検討する方針です。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	ランク、秋田県レッドリストでも絶滅危惧 1A 類といずれも高レベルの保護を必要とする野鳥に指定されており、さらに文化財保護法においては国の天然記念物に、絶滅の恐れのある野生動植物の種の保存に関する法律においても国内希少野生動植物種に指定されています。今回の方法書 p. 109～p. 110 や p. 301～p. 305 にも示されているように、この事業予定地域はイヌワシの希少猛禽類の生息メッシュに重なり、同様の希少猛禽類であるクマタカの生息メッシュにも隣接しております。さらに専門家へのヒアリング結果でも当該地域周辺でのイヌワシ・クマタカの生息環境の保全に関する指摘がなされています(方法書 p. 373～p. 375)。そしてこれらの状況を受けて環境省の環境アセスメントデータベース(EADAS)では、この地域一体を注意喚起レベルの A3 に指定しております。このような地域に風力発電施設を建設し稼働させると、主に「バードストライク」と「風発施設の忌避により狩場(餌場)が放棄されること」の 2 点の危険要因によりこれらの希少猛禽類の生息を脅かします。例えば方法書 p. 23 に示される風力発電装置が p. 21～p. 22 に示されるように当該事業予定地域に設置されると、この地域の山の尾根のあちこちに最大高度 222m の風車が林立することになります。この「高度 200m ほど」はこれまでの種々の研究結果によりイヌワシの生息における主な利用高度とされる高度帯とほぼ重なることが明らかにされており、このままでは風力発電施設の稼働に伴いイヌワシのバードストライクの発生の可能性が高まることとなります。実際に岩手県では 2008 年 9 月に北上高地の釜石広域ウインドファームでイヌワシのバードストライクが発生しております。また、かつてイヌワシの定常的な採餌適地であった盛岡市の天峰山付近の地域では姫神ウインドパークの稼働に伴いイヌワシの姿が見られなくなりました。これに関して、既存の風力発電施設におけるブレード塗装やシール貼り付け等、鳥類からの視認性を高める措置等が、希少猛禽類のバードストライク防止に有効でないことは既に専門家から度々指摘されております。 また岩手県内の風力発電施設に近隣する地域ではこの数年来イヌワシの繁殖失敗の多くの事例が報告されており、その大きな理由の一つとして挙げられているのが餌不足です。事業規模の大小に関わらず風力発電施設の稼働開始に伴いイヌワシはその地域を忌避するようになり、その結果として近接するイヌワシの採餌適地(狩場)が失われるという訳です。今回の事業予定地周辺を含む奥羽山脈には複数のイヌワシ営巣地が存在します。従ってイヌワシの生息環境保全のためには、営巣地や狩場に近接する地域等での風力発電施設の建設を絶対に避け、それらの地域から十分な距離を置く必要があります。 これらの過去の事例はいずれも希少猛禽類と風力発電施設の共存が困難であることを示しております。これらの過去の教訓が生かされないまま方法書どおりに風力発電事業計画が進められるとするなら、当該地域に定常的に生息しているイヌワシ・クマタカ等の希少猛禽類の採餌活動や繁殖活動の阻害要因となり、さらには衝突死等の事故の要因ともなりうるなどの重大な悪影響が懸念されます。	

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	従って私ども日本野鳥の会もおかは希少猛禽類の生息環境の保全の立場より貴社の方法書に示されている当該事業計画の中止を強く求めます。 【3】当該地域における渡り鳥の生息環境の保全に関して 日本列島は東アジアからオーストラリアに至る多様な渡り鳥の飛行コースのほぼ中央部に位置し、それぞれの季節ごとに日本列島各地で多種多様な鳥類の渡りや夏鳥の繁殖・冬鳥の生息等が観察されます。特に東北地方はガンカモ・ハクチョウ類等の主要な越冬地であり、春と秋の渡りの主要なルートでもあります。実際に私どもはそれぞれの季節においてこれらの渡り鳥の大群が奥羽山脈の太平洋側と日本海側を行き交う様子をしばしば観察しており、今回の方法書 p. 100～p. 105 でも北東北がガン・ハクチョウ類の生息地であり渡りのコースとも重なることは触れられております。しかし当該事業計画の方法書 p. 101 に示される図面にはガン・ハクチョウ類の渡り経路に関する最新の研究成果が全く反映されておられません。宮城県伊豆沼・内沼方面では毎年 20 万羽以上のガン類が越冬し、その大半は春になると直接秋田県側に渡って八郎潟に移動します。一方、春になると北上川沿いに北上して盛岡周辺に到達し、しばしば留まってからさらに北に向かう数万羽の群れも存在します。後者の群れの盛岡以北の渡り経路は近年まで不明でしたが、ごく最近になって GPS 装着個体の追跡調査により盛岡→八幡平→秋田方面という渡り経路の存在が実証されました。すなわち当該事業予定地域を含む奥羽山脈北部地域一帯はガン類の渡りの経路です。国の天然記念物に指定されているガン類（マガン・ヒシクイ等）の保護のためには越冬地のみならず渡り経路の自然環境の保全も不可欠です。また同様の渡りは小鳥類でも広く観察されております。東北地方の背骨とも言える奥羽山脈の周辺地域に当該事業を含む複数の風力発電施設が林立する状況となれば、その累積的環境影響の一つの現れとしてこれらの鳥類の渡りのコースが攪乱され寸断される障壁の影響が危惧されます。実際に風力発電施設の稼働に伴うバードストライク事故によって小鳥類や渡り鳥をはじめとする多数の野鳥が命を落としていることはこれまでに世界各地で多数報告されております。特に 3 ブレード型の風力発電機はバードストライクを起こす可能性の高いことが知られておりますが、方法書 p. 22～p. 23 では当該事業で導入する風力発電機として 3 ブレード型の風車のみが選定されております。 さらに日本野鳥の会が 2016 年に実施した全国オオジシギ生息調査では本州でのオオジシギ生息地域の減少が顕著であることが明らかになっておりますが、我々の調査によれば当該事業予定地域やその周辺は北東北における数少ないオオジシギ繁殖地の一つとなっております。オオジシギは環境省のレッドリスト 2020 は準絶滅危惧種(NT)に、岩手レッドデータブックでは B ランク、秋田レッドリストでは絶滅危惧 II 類に指定されており、今回の方法書 p. 92 や p. 283 に示されている文献調査結果にもオオジシギの生息確認は記録されております。オオジシギはその習性により風力発電施設でのバードストライクの可能性が非常に高いとされております。しかし方法書本文の中にはその生息環境の保全対策やバードストライクの可能性評価などについての言及は	【3】当該地域における渡り鳥の生息環境の保全に関して 6.2.2 調査、予測及び評価の手法の選定理由において、「事業の対象事業実施区域及びその周囲では現在複数の風力発電事業計画があることから、各事業の進捗や計画熟度に応じて環境影響を受ける可能性がある項目（騒音、風車の影、動物（鳥類）、景観）を対象として累積的な環境影響についても予測及び評価を実施する。」としております。 また、渡り鳥、希少猛禽類以外の鳥類についても生息状況や飛翔高度の記録を行うこととしており、適切に影響の予測評価を行い、回避・低減について検討する方針です。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	見られず、その結果としてオオジシギを対象とする生息状況調査も予定されていないようです。すなわち、当該事業計画はこの地域のオオジシギの生息環境保全に配慮したものとなっております。 従って私ども日本野鳥の会もりおかは希少鳥類の生息環境の保全と渡り鳥の渡りルートの保全の立場より貴社の方法書に示されている当該事業計画の中止を強く求めます。 【4】当該地域周辺における風力発電施設の累積的影響に関して 近年は「面としての環境保全」の考え方にに基づき風力発電事業計画全般に対して「他事業者との情報共有・情報収集を行い、実現可能な事業の内容を検討し、その結果を記載すること」、及びそれらの複数の事業計画による累積的環境影響の適正な評価が強く求められています。実際に今回の方法書 p. 36～p. 38 には当該事業予定地とほぼエリアの重複する「(仮称) 鹿角東部市民ウインドファーム事業」「(仮称) 鹿角上沼風力発電事業」とともに、近隣の岩手県側の「(仮称) 稲庭田子風力発電事業」「(仮称) 八幡平風力発電事業」、青森県側の「(仮称) 田子小国風量発電事業」など他の事業者の風力発電事業と事業計画が示されていますが、さらにその範囲の少し東側の岩手県側の稲庭岳周辺には「(仮称) 稲庭風力発電事業」など複数の事業計画も存在します。すなわち、当該地域の周辺での複数の事業者による風力発電事業予定地との地理的重複や近接が際立っていると言わざるをえません。仮にこれらの風力発電施設が全て計画通りに稼働することになれば奥羽山脈の八幡平地域を往来する鳥類の渡り経路がいくつもの障壁で遮断される形となり、それらの生育環境に及ぼす累積的影響の大きさが計り知れないほどになる事が懸念されます。特に生息範囲として広い縄張りが必要とする希少猛禽類については地域周辺の風力発電施設の林立によって広範囲に営巣適地や採餌適地が失われ、その結果として繁殖成功率の低下が引き起こされ、最終的にはその種の存続までも大きく脅かされてしまいます。しかし今回の方法書には貴社の当該事業計画と他事業者による事業計画との環境影響に関する相互の位置関係や相乗的な影響への言及は見られず、鳥類の生息環境や渡り鳥の渡来コースを保全するために風力発電施設間に最低限どの程度の間隔が必要かというような点も全く考慮されておられません。また他事業者との情報共有や調整をどのように行いながら累積的環境影響を抑制・低減させるのかについても全く記述がなく、このままでは貴社の事業計画には累積的環境影響への配慮が欠けていると見なさざるをえません。 従って私ども日本野鳥の会もりおかは北東北の鳥類全般の生息地と渡りルートの保全の立場より貴社の方法書に示されている事業計画の中止を強く求めます。 【5】当該地域周辺における防災に関して 近年、地球温暖化に伴うゲリラ豪雨、スーパー台風などにより「何十年に一度」と言われるような大規模な水害や山野での土砂災害が日本国内各地で毎年のように頻発しております。これに関して、今回の事業計画の予定地域のほぼ全域が国有林であり、しかもそのほとんどが保安林(水源涵養保安林・土砂流出防備保安林・など	【4】当該地域周辺における風力発電施設の累積的影響に関して 方法書段階では、特に最も近隣の事業者の事業計画についての確度が低いと考えられたことから、「事業の対象事業実施区域及びその周囲では現在複数の風力発電事業計画があることから、各事業の進捗や計画熟度に応じて環境影響を受ける可能性がある項目(騒音、風車の影、動物(鳥類)、景観)を対象として累積的な環境影響についても予測及び評価を実施する。」との言及に留めております。ご指摘を踏まえて、適切に調査、予測評価を実施する方針です。 【5】当該地域周辺における防災に関して 防災への対応については事業者として最も重要な事項と考えております。 林地開発や保安林等の各種許認可基準にもとづき、防災を考慮した造成計画を検討いたします。本事業の実施により土砂災害や水害等が発生することのないよう、関

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	れ防止保安林)に指定されている点(方法書 p. 138 および p. 249～p. 260)は無視できません。さらに方法書 p. 258 には土砂災害警戒区域等の指定地域も示されていますが、当該事業区域の南半分や連結道路等の周りはこの指定地域と重なっております。当該事業の計画の中では山の尾根筋に風力発電施設を設置することが予定されておりますが、それに加えて変電施設や送電網、大型車両で重機や資材を搬送するためのアクセス道路の建設や拡幅など数多くの工事が必要となります。そしてこれらの一連の作業では急勾配の山の斜面を切り開いて山林を広範囲に伐採するなどの作業は避けられないはずで、そのための保安林の伐採が地域防災の面で悪影響を及ぼすことは明らかであり、森林伐採が自然環境の破壊に留まらずに新たな土砂災害につながる恐れは非常に高いと言えます。しかし方法書 p. 27～p. 28 にはこれらの付随的施設の設置場所や設置形状等についての具体的な記述はなく、それらのほとんどが「現在検討中」のままです。しかも以前の配慮書の段階で一般意見の中に土砂崩れや山林災害などの危険性に関する不安や疑問が数多く出されていたにも関わらず、当該事業計画の妥当性についての土木分野や防災関連分野の専門家へのヒアリングは全く行われていないようです。河川災害・山林災害は自然環境の破壊にとどまらずに地元住民の生活環境破壊にも直結しますので、貴社の事業計画には防災に関する検討が欠落していると思えます。 従って私ども日本野鳥の会もおかはその地域の自然保護・環境保全の立場より貴社の方法書に示されている事業計画の中止を強く求めます。	係行政機関等とも協議し、慎重に対応を検討してまいります。
6	①(要約書)図 2. 2-5「風力発電機から発生する騒音レベルの時間変動」によると風速 10m/s で 104 デシベルであり、184m 地点の値としても環境基準は 55 デシベルでかなりの騒音になります。ブレードの直径は 120m あり近距離だと面音源相当で、減衰はありません。 環境保全の 1 つとして、騒音の対策として、2km 以内の夜間人口の健康調査と稼働後の影響調査が必要です。 ②(要約書)44P 表 4. 1-2 環境影響評価の項目の選定項目水の濁りが施設の稼働の項目に入っておりません。尾根部分を基礎 20m 位掘削しますが、排水池の装備はありますが改変後に十分かどうかは未知数です。 台風や地震などの影響も受けやすく元々近隣に酒蔵などもあり水の綺麗なところではあります。 河川の源流地ですので選定項目とし継続的な観測との経過を公示してください。 ③②に付随して将来の施設の撤去時、現況復帰時に水質が確保されるかどうか分かりません。尾根部分の掘削・盛り土は現況復帰が困難です。 環境省が進める現況復帰費用の積立を具体的に計画してください。 ④54P バードストライクは頻繁に起こっており昼間の操業を見合わせる所もあります。	ご意見ありがとうございます。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。 ①今後の手続において、適切に調査、予測及び評価を実施し、必要に応じて環境保全措置を検討することで騒音による影響について回避・低減を図ります。 ②水の濁りについては、工事中の影響が最大となりますので、造成時の施工による一時的な影響について、適切に調査、予測及び評価を実施し、必要に応じて環境保全措置を検討する予定です。 ③原状回復に関しては、関係機関と協議しながら、適切な工法や回復方法を検討したうえで、必要な積立について計画する方針です。 ④今後の手続において、専門家等の助言を踏まえつつ、適切に調査、予測及び評価を実施し、必要に応じてコウ

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	ブレードは120mで風車の回転数は毎分10～回ですのでその先端では $120 \times 3.14 \times 10 \times 60 \div 226,080$ 時速226kmになります。 コウモリからサシバまでどんな鳥に対しても凶器です。具体的な対策をお願いします。	モリ類や鳥類について最新の知見を踏まえた環境保全措置を検討することで生息の保全に努めます。
7	7 国特別史跡ならびに世界文化遺産である大湯環状列石のガイドであり、予定地南端の麓に居住している者です。景観、地質ならびに保守費用に関して意見を述べます。 まず、この遺跡は特筆すべき普遍的価値を有する(OUV)ものとしてユネスコに認められた、北海道・北東北の縄文遺跡群の中でも、縄文中期の三内丸山遺跡とともに盟主的な存在で、縄文後期の精神文化施設として重要なものです。 今回の建設予定地北端は大湯環状列石の南東約4.5km地点にある大森(山)山頂ですが、この付近は大湯環状列石の最大の特徴である冬至の日の出・夏至の日の入を結ぶ線上にほぼ一いたします。我々遺跡ガイドは、他の説明を省いてでも必ず説明します。そのポイントに縄文文化とは無縁の風車が建設されれば文化的・景観的価値は著しく阻害されます。また、大湯環状列石は共同墓地兼祭祀場という説が現在の主流で、周辺に分散していた居住地から祭祀のために人々が集まった、コミュニティの中心地と考えられています。居住地は建設予定地の麓付近、大湯環状列石とほぼ同じ標高の山麓に点在します。つまり、予定地付近は二重の意味で重要なエリアです。確かに史跡指定範囲ならびに緩衝地帯からは距離がありますが、遺跡にとっては重要な景観です。『鹿角市景観計画』では、「良好な景観の保全・形成を図るために、地域住民との共働により良好な景観形成を図りながら、地域特性を生かした景観づくりを具体的実現していく」とあります。またユネスコからは、『登録に係る資産の評価及び審査・決議の内容』において、「資産範囲内から見える風景の完全性、縄文文化にとって重要な要素(山、森林、海など)との視覚的な繋がりを含めて、史跡のセッティング内の全ての開発をコントロールしている」という評価を得ています。予定地での風力発電計画はこれらの方針・評価に反します。	ご意見ありがとうございます。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。 鹿角市の観光において重要な位置づけにある世界文化遺産の大湯環状列石への事業の影響については、事業者としても重要な事項であると認識しています。今後、景観に関する影響評価を行うとともに、世界遺産の価値への本事業への影響を客観的に影響評価する必要があります。関係機関と協議を行い慎重に検討いたします。
	更に、フォトモンタージュ等で示される垂直見込角の問題ですが、大湯環状列石中心地の標高値182m、大森(山)の山頂に約200の構造物が経てば1,002m、標高差820mになります。水平距離4,500mと鉛直高820mでは仰角は10度を超えます。『景観対策ガイドライン(案)』では、「10度を超えれば圧迫感を感じるようになる」とされています。我々地元民にとって風車は、空中に浮いている様に感じられるでしょう。	垂直見込角については山の標高はもともと存在するものなので、山を含めてしまうと現存する山も圧迫感の理由となってしまいます。変化を評価する場合は、地形や樹木等により隠れることも勘案して風力発電施設が見える高さ等を影響評価することになります。今後、影響評価の結果については、準備書段階においてお示しいたします。
	次に地質に関してですが、奥羽山脈の予定地付近は凝灰岩が基盤であり、表面にクロボク土が堆積していると言われています。ご存知のように凝灰岩は火山灰が凝結・石化したもので浸透性が悪く、クロボク土は火山灰が風化し有機物と混じったもので粘性が弱いと言われています。その様な山の頂上に300～400トンの重量で高さ200mの構造物を建て風圧を受ける訳ですから、相当の負荷がかかります。基礎杭は数十メートルに及ぶと想定されます。この様な難工事をしてまで、この地で電力を得る必要があるのでしょうか。また、事業終了後は原状	地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては、踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、関係機関とも協議の上、適切な対応をする方針です。 また現状復旧に関しても関係機関と協議しながら、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復(緑化植栽等)を行う予定です。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	復旧工事が行われ、基礎杭を抜いた後に元々の土壌で復元するのですが、実際には不可能な工事であり、地盤の強度は戻りません。当該地が地滑り多発地であり、近傍に断層帯があることを承知の上で工事を行うのでしょうか。 最後に保守費用についてです。工事・保守用の道路として2ルートの候補がありますが、今季のように地球温暖化の影響で積雪量増加が懸念されています。県道もしくは市道を利用する際、除雪費用は開発業社の負担になるのでしょうか。近年は市の除雪費も財政の負担になっており、一部の市道は除雪対象から除外されています。メンテナンス費用全般について、どのようにお考えでしょうか。	冬季のメンテナンスについて、例えば、除雪車や雪上車等を使用してアクセス道を確保し、管理作業を実施することを一案として想定しています。 冬季のメンテナンス費用を踏まえ、適切な事業計画を立案いたします。
8	(仮称)上沼風力発電事業 環境影響評価方法書に対する意見 現在、縦覧中の「(仮称)上沼風力発電事業 環境影響評価方法書」に対し、鳥類及び生態系保全の立場から下記の意見を述べる。 記 対象事業実施区域(以下、計画地)は十和田八幡平国立公園の十和田八甲田地域と八幡平地域に挟まれた区域で、その大半は水源涵養保安林となっており、豊かな森林と清流に恵まれ人工物の殆どない空間が広がっている。また、計画地は「奥羽山脈緑の回廊」に隣接しており、東山鳥獣保護区、生物多様性の保全の鍵になる重要な地域(KBA)の「十和田」、さらにはカモシカ保護区域の「北奥羽山系」が含まれており、希少鳥類のみならず、多様な動植物が生息・生育している地域である。 日本野鳥の会秋田県支部・(公財)日本野鳥の会・日本雁を保護する会は、令和6年8月に本事業に係る計画段階環境配慮書に対する意見を発出し、計画地は絶滅の恐れが高いイヌワシ・クマタカ(ともに絶滅危惧IB類・国内希少野生動植物種)の生息地であること、ハヤブサ(絶滅危惧II類・国内希少野生動植物種)・ハイタカ(準絶滅危惧)をはじめとする複数の希少猛禽類の生息地であること、様々な鳥の生息地及び渡りの経路であることを理由に、当該計画の白紙撤回を求めたが、今回の方法書に対しても計画を白紙に戻すべきであるという意見に変更はない。特にイヌワシの保護・保全は全国的に喫緊の対策が求められており、イヌワシの生息に適した環境の揃っているこの地域は手つかずのまま保全すべきであると考え。現地調査自体がイヌワシの行動を阻害する要因となるため、方法書に基づく現地調査に着手することなく現段階で事業の計画を断念すべきである。 ・イヌワシについて 配慮書に対する意見で秋田県支部の姉妹団体が計画地に近い地域の山林で飛翔するイヌワシの姿を目撃していると述べたが、この事例とは別に、計画地そのものの上空においてイヌワシの飛翔がごく近年地元の愛好家により複数回確認されている。これらの状況から考えると、イヌワシが計画地付近に生息しており、計画地が生息の中心地となっている可能性が極めて高い。計画地で広い範囲を含む上沼牧野跡は草地が広がる開放的な空間であり、イヌワシの重要な餌場としての要件を有して	ご意見ありがとうございます。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。 関係機関との協議の上、今後の現地調査の結果を踏まえ、適切に影響の予測評価を行い、回避・低減、必要に応じて事業計画について検討する方針です。 ・イヌワシについて 専門家の意見も踏まえ、現状の対象事業実施区域の利用状況を把握し、適切に影響の予測評価を行い、回避・低減、必要に応じて事業計画について検討する方針です。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	いる。また、計画地内および周辺の森林も広葉樹林が多く含まれ、イヌワシの餌資源であるノウサギやヤマドリ等動物の生息地となっている。 このような場所に風車を設置したり、環境改変工事を行ったりすることはイヌワシにとって重要な生息環境を破壊する行為であり、イヌワシ保護に大きく逆行する。影響軽減策と称して風車の位置を変更したり、本数を減らすなどの措置を行ったとしても、現時点より生息条件が悪化することは必至であり、イヌワシの繁殖率の低下にさらに拍車をかけることになる。イヌワシやクマタカといった生態系のアンブレラ種が確認された場合は、その周辺の環境を全体として保全することが重要であり、風力発電施設の候補地から外すべきである。 計画地におけるイヌワシの飛翔が複数回認められた以上、イヌワシの生息・繁殖の阻害要因となる方法書に基づく現地調査を行うことなく、現時点で事業の継続は断念すべきである。 以下に貴社が事業を続行する場合に備えて方法書の記載内容についての意見を述べるが、ここでの意見は前述の立場に立った上で方法書の記載内容について述べるものであり、準備書の段階に進むことを容認するものではない。	
	・希少猛禽類調査 方法書 403～409 ページ「表 6.2-11 動物に係る調査、予測及び評価の手法」及び「表 6.2-12 動物に係る調査内容」によると、希少猛禽類の調査を定点観察法で2営巣期(イヌワシ・クマタカの繁殖期を含む24ヶ月間程度を毎月1回3日間連続で実施)とある。しかし、12月から3月にかけてはこれら猛禽類の造巣期や抱卵期にあたり、この時期に個体にストレスを与えると繁殖そのものを中止する可能性が高いため、最大限の慎重な対応が求められる。「猛禽類保護の進め方(改訂版)―特にイヌワシ、クマタカ、オオタカについて―(環境省、平成24年)」の内容に従って、この時期には高利用域には立ち入らない措置を取るべきであり、状況によって図6.2-6(1)及び図6.2-(2)で示された定点及び踏査ルートを変更することを検討するべきである。	・希少猛禽類調査 希少猛禽類調査においては、「猛禽類保護の進め方(改訂版)―特にイヌワシ、クマタカ、オオタカについて―(環境省、平成24年)」の内容に従って、猛禽類の繁殖への影響がないよう十分に注意して実施します。
	・渡り鳥調査 方法書によると貴社は渡り鳥調査を3～5月、9月～11月に行うとあるが、これではガン・ハクチョウ類の越冬期の動きを把握することができない。冬至が過ぎ、昼間の時間が長くなると鳥たちの脳下垂体が刺激され渡りの衝動が次第に高まり、暖かい日があるとそれが引き金となり渡りが行われることが知られている。近年は、冬期間の極端な気温上昇がきっかけとなり、宮城県で越冬中のガン類の多くが、中継地の秋田県まで移動した後、積雪のために再び宮城まで戻るという行動を繰り返すようになった。このような行動はこれまでの渡り調査では把握困難なので、新たな体制での調査を行うことが不可欠である。近年の傾向としてガン・ハクチョウ類の越冬地と中継地の往来は早い時には1月から始まり、2月に最も活発になることが多く、特に積雪の少ない年にはこれが顕著となる。調査日程は宮城県及び岩手県におけるガン・ハクチョウ類の動向やその年の積雪状況を把握しながら臨機応変に設定し、必要とあれば1月や2月にも渡りの定点調査を行うべきである。また、ガン・ハク	・渡り鳥調査 ご指摘を踏まえ、調査日程は宮城県及び岩手県におけるガン・ハクチョウ類の動向やその年の積雪状況を把握しながら臨機応変に設定し、必要と考えられた場合は時期をずらせて渡りの定点調査を行うよう検討します。また、希少猛禽類調査時にもガン・ハクチョウ類の渡り状況について記録をするようにいたします。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	チョウ類の調査として IC レコーダーを採用するという ことであるが、IC レコーダーの集音範囲の狭さ・収音能 力・電池の持ち・風の強い時には風の音に遮られてしま う事象などを考えると有効な手段といえるか疑問であ る。IC レコーダーは補助的な手段と考え、目視を中心と した調査及びレーダー調査を行うべきである。ただし、 レーダーを使う場合はイヌワシの飛翔・採餌に影響を与 えないよう十分に留意するべきである。 ・クマゲラについて 方法書の専門家意見(373 ページ)によれば、近隣のブナ 林にクマゲラ(絶滅危惧 II 類)が生息する可能性が指摘 されている。本州産クマゲラは激減しているが、最近発 見された採餌の痕跡から、数は少ないながら生息してい ることは確かだとされている(出典：日本自然保護協会 2024 年 10 月 https://www. nacsj. or. ip/2024/10/42122/) クマゲラの食痕調査はクマゲラを脅かすことのないよ う細心の注意を払うべきである。また、渡り鳥調査では 効果が限定的と考えられる IC レコーダーの利用も、ク マゲラ等の一般鳥類にとっては有効である可能性があ るため、利用を検討するべきである。 なお、今回の意見書に記載されている内容等は省略する ことなく、原文のまま掲載することを希望する。 以上	・クマゲラについて クマゲラの痕跡調査はクマゲラを脅かすことのないよ う細心の注意を払います。また、日中における IC レコ ーダーの利用も検討いたします。
9	1. 配慮書の一般意見の全てが本事業は環境へ多大な悪 影響を及ぼすとして、懸念を述べるものであり、そして、 それらに対する事業者見解のほとんどは「専門家等の助 言を踏まえて」とあるが、貴社はその助言を事業推進の ための「お墨付き」とするだけなのではないか。 2. 事業の実施に伴う環境破壊は避けられないからこそ 回避・低減のためには「専門家の助言」は必要であり、 そして、地域住民等の理解が重要である。これら実現の ためには専門家の助言内容を地域住民等へ十分に説明 し、質疑を受ける場が不可欠であるが、貴社にその意思 はあるのか。 3. 地域住民ではない私が配慮書への意見を提出したの は、本事業に危機感を抱いた、やはり地域住民ではない 人の呼びかけに応じたものである。意見数 83 通は他と 比較し多いと認識するが、本事業推進に当たっては、影 響を最も受ける地域住民を重視すべきであり、83 通中、 地域住民の意見数が気になるが、どれほどなのか。 4. 上記地域住民提出の意見数は他の例から、余り多く ないのではないかと推測する。それは、行政や事業者によ る地域住民への本事業の広報が十分ではないと推測さ れるからである。貴社は地域住民等にどれほどのまた、 どのような働きかけをしたのか。	ご意見ありがとうございます。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお 示いたします。 1. 専門家等からの助言は、調査結果等を踏まえ、科学的 な見地から環境影響や環境保全に必要な事項を把握す るために実施しており、必要に応じて事業計画の見直し も検討する方針です。 2. ご意見のとおり、環境影響の回避・低減のためには「専 門家の助言」が必要と考えております。また、地域住民 等の方へのご説明とその意見への対応は非常に重要と 考えております。引き続き専門家の助言を踏まえて環境 影響の回避・低減について検討し、その内容について、 地域住民等へ十分に説明し、対話する場を設けるように いたします。 3. 配慮書段階では、地域住民の意見数は 4 件となりま す。 4. 地域住民等の方へのご説明とその意見への対応は非 常に重要と考えております。法令に基づく説明会、鹿角 市主催の説明会の他、事業計画地周辺の自治会等に対 し、事業についてご説明させて頂く場を設けておりま すが、さらに多くの地域住民の皆様へ本事業についてご認 識頂けるよう、適宜、行政にもご相談しながら、情報提 供や説明の機会の拡充に努めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	5. 世界遺産指定の大湯環状列石から本事業の風車群が視認されることは文化遺産としての価値を破壊するばかりか、縄文から続く一帯の精神性の冒涇ともなる本事業について、地域住民は十分に周知しているのか。方法書において、縦覧図書にはフォトモンタージュにより、同遺産への影響を示すべきであるがどうか。 6. 方法書の住民説明会では参加者住民ではあらゆる方向からの動画によるフォトモンタージュを使用し、参加者の認知を深め、参加者の意見を聞くべきであるがどうか。 7. 上記 5、6 を経た後で、同遺産に関し、方法書への意見書とは別に、全地域住民対象に本事業が世界遺産に相応しいかどうかをアンケートなどによる調査が必要と考えるが、どうか。 8. 「騒音及び超低周波音の状況を現地調査により把握する」を評価するが、由利本荘では既存の 750kW～2000kW 級の風車でも健康被害の報告があり、本事業の 4200kW～6100kW の複数基では 2km の離隔でも到底不安は拭えず、2km 以内に存在する 398 軒は勿論、被害はそれ以上にも及ぶ可能性があるのではないかと。また、周辺には既存、計画中の風車が多く、その影響も予測し、超低周波音調査では、風車の「聞こえない音」も調査して欲しいが、どうか。 9. 地元の経済効果の固定資産税は交付金が減額され実質は 25% の収入であることを、住民に知らせるべきであるが、どうか。	5. 鹿角市の観光において重要な位置づけにある世界文化遺産の大湯環状列石への事業の影響については、事業者としても重要な事項であると認識しています。今後、景観に関する影響評価を行うとともに、世界遺産の価値への本事業への影響を客観的に影響評価する必要があります。関係機関と協議を行い慎重に検討いたします準備書段階の縦覧図書ではフォトモンタージュにより影響について視覚的にご確認いただけるよういたします。 6. 方法書段階では風力発電機の配置計画の確度が低いことから、動画によるフォトモンタージュによる説明はしていません。準備書段階の説明会ではご意見を踏まえ、参加者の方々の理解しやすさを考慮し、動画等によるフォトモンタージュを提示し、ご意見を得やすい工夫をすることを検討いたします。 7. 世界遺産への影響については、アンケート調査の必要性についても関係機関と協議をしながら適切に対応してまいります。 8. 本事業による影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。また、超低周波音に関しましても発電所アセス省令の参考項目ではありませんが、本事業においては対象事業実施区域の周囲に住居等が存在し、超低周波音に対する住民の不安や懸念があることから環境影響評価項目として選定しており、こちらも適切に調査・予測・評価を実施いたします。これらの手続を通して、事業影響を回避又は低減するよう努めてまいります。 9. 固定資産税と交付金との関係性については、説明会等における対話の中で随時説明しており、今後も正確な情報を丁寧にお伝えしてまいります。なお、自主財源の確保という点において、固定資産税の増収は貢献できるものと考えております。
10	お世話になっております。お仕事お疲れ様でございます。今回、意見を募集されていると聞き、送らせていただきました。風力発電は、一見自然エネルギーで、メリットばかりのように思いますが、デメリットもあるのではないのでしょうか？ 自然は破壊されて、野生動物は行き場をなくし、微生物は死滅してしまいます。景観も悪くなり、低周波音の健康被害やパードストライク、生態系も崩されてしまいます。 電気代の高騰、再エネ賦課金を国民に負担させてしまいます。日本国内に風車製造メーカーはなく、外資や大企業が潤い、地元の活性化には繋がりません。 真に秋田の将来に必要なもの、それは大切な自然を守るべきだと思います。奥羽山脈を削るという事は、人間で例えると心臓にメスを入れる事と同じだと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。今後の検討にあたっては、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	今、改めて自然への畏敬の念を忘れてはならないと思います。 大きな風車は、廃棄の仕方も決まっていなと聞きました。 負の遺産を若い方々の世代に残してはならないと思います。 どうか、風力発電の設置は、中止する事をご検討いただきたく、よろしくお願い致します。	
11	1 鳥類の現地調査について 表 6.2-11「動物に係る調査、予測及び評価の手法」によれば、希少猛禽類の定点観察法による現地調査は、9地点において、毎月実施する計画である。また、渡り鳥の定点観察法による現地調査は、同一の9地点において、3月から5月と9月から11月に実施する計画である。しかし、対象事業実施区域は、冬季の気温が低く、降雪、積雪ともに多いため、調査地点へ移動するための道路は冬期通行止めになる区間が多いと推測される。このため、一部または全部の調査は実施できず、適切に予測及び評価するために必要な調査結果が十分に得られないと考えられる。 以上のことから、冬季における動物に係る調査について現地状況を踏まえて再検討のうえ、調査地点及び希少猛禽類及び渡り鳥調査に係る可視領域を示し、方法書手続きを改めて実施して、意見を求めること。 2 希少猛禽類の採餌場・採餌量への影響予測について 「猛禽類保護の進め方(改訂版)―特にイヌワシ、クマタカ、オオタカについて―(平成24年12月、環境省自然環境局野生生物課)」には、「イヌワシの採食環境としては、開放的な空間が形成され得る植生が重要である。これは、1つにはイヌワシが獲物を探したり、あるいは実際に捕らえたりするために好適であるためと考えられる。なお、開放的な空間には、草原や伐採跡地植生のような群落高が低い植生ばかりでなく、大径木からなるブナ自然林や、溪谷沿いに発達したトチノキ、サワグルミ等の溪谷林のような、成熟した森林の林縁や林内ギャップも挙げることができる。そのほか、東北地方では自然裸地、風衝地植生、自然草原、低木群落等に加えて伐採跡地、採草跡地等の人為的に創出されてきた空間が、日本海側のような豪雪地帯では雪崩跡の裸地や草地が、中部山岳地帯では急峻な地形によって形成された岩場や崩壊地、大きな樹木の生育しない高山帯が採食環境として利用されている(山崎 2006)。」と記載されており、対象事業実施区域は、この好適採食環境に合致する。 表 6.2-11「動物に係る調査、予測及び評価の手法」の「6. 予測の基本的な手法」の「2) 施設の稼働」によれば、「衝突確率や年間衝突数等を推定し、影響を予測する。」こととしているが、影響は衝突することだけではなく、採餌・採餌活動を含めて移動を阻害する障壁影響により、貴重な餌場を奪うなど生息地放棄が発生する可能性が高いと考えられることから、これらについても調査結果から科学的に予測し、対策の検討、評価を行うこと。	ご意見ありがとうございます。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。 1 鳥類の現地調査について 冬季の鳥類調査については、スノーモービル等により計画している地点に移動する予定です。 2 希少猛禽類の採餌場・採餌量への影響予測について 採餌場・採餌量への影響については、今後の手続において、専門家等の助言、関係機関との調整結果を踏まえつつ、適切に調査、予測及び評価を実施し、必要に応じて最新の知見を踏まえた環境保全措置を検討することで自然環境の保全に努めます。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
12	＊地球の気温を支配するのは CO2 ではなく水蒸気である＊との学説があります。 そもそも再生可能エネルギーの推進目標がたった 0.3 から 0.4 パーセントしかない二酸化炭素を削減するためだと主張している。 しかし 46 億年の地球の歴史は温暖化と寒冷化を繰り返してきた自然現象である、人類がジタバタするようなことではない。 目に見えない CO2 を世界中が温暖化の元凶として売り買いしたり一部の人間と企業は金儲けに巧みに利用している。 風車そのものを製造する過程で、運搬移動する過程で、建設する過程で相当の CO2 を排出している。 それらにおける CO2 の排出量も計算も聞いたことがない。 この事業においても同じである。 国が閣議に目標に掲げる 2050 年のゼロカーボンという世界的な約束事に縛られドンドン建てまかれる風車が本当にエコなのか？ エコではない！ これらの事業は我々から強制的に搾取している再エネ賦課金が間接的に姿を変えた資金で行われ、しかも無駄に CO2 を生む。 太古より命の水をたたえる豊かな森林植生とそこで連綿と命を育んできた動物や野鳥など全てを否定し抹殺する事業計画である。 渡り鳥たちの飛行ルートにも重なっている、希少な猛禽類の他に大小の鳥類がおびたじい数のバードストライクに遭遇している。 バードストライクの事象は事実である。 同じく森で命を育んできた熊、うさぎなどの生態系も根こそぎ破壊され行き場を失う。 クマが人間の生活圏に出没し人間は大騒ぎしているが音に敏感な生き物が影響を受けるのは当然ではないか？ 何よりも風車から出る聞こえる騒音と聞こえない低周波音により人間に不眠、頭痛、心臓疾患などの健康被害者が存在していることだ。 健康に平和に生きる権利は憲法で保障されている、にも関わらず健康被害をいくら行政や事業者にも訴えても現実因果関係を否定され、被害者たちは社会から置き去りにされたまま日々苦しい毎日を送っている。 健康被害はあつてはならないことである！ 国策という名の下に再エネ事業がこのままどんどん進められる未来は人口減少が加速するふるさとにとって果たしてバラ色の事業なのだろうか？ 陸にも海にも風車が林立するこんな生活圏に次の世代に「ここに残ってくれ」とは言えないではないか？ 健康被害にしてもだんだん被害者が増えてくればいずれ公害として広く社会問題になりうるだろう。 行政に携わる方々はよくよく考えてもらいたい。 この無謀な再エネ事業計画は実に悲しいほどひどい。	ご意見ありがとうございます。 温室効果の原因となる物質に関しては様々なご意見があると認識しております。 水蒸気は確かに大きな温室効果を持ちますが、海面からの蒸発、降雨などの自然現象により変化が大きく、人間活動により変化させることは困難です。一方、二酸化炭素、メタン、フロンガスのような人間活動により増加する物質は気温上昇の要因となり、それが大気中の水蒸気量の増加につながることも考えられます。 従いまして、人間活動に由来する温室効果ガスを削減することは、気温上昇による大気中の水蒸気量増加を抑制し、ひいては地球温暖化の抑制に寄与すると考えます。 本事業では風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の要因となっている抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。 ただし、動物、景観のような環境影響の視点も十分考慮する必要があると考えておりますので、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘の風車による騒音と低周波音による健康被害について、環境省が平成 29 年 5 月に公開した「風力発電施設から発生する騒音に関する指針について」によると、「これまでに国内外で得られた研究結果を踏まえると、風力発電施設から発生する騒音が人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。また、風力発電施設から発生する超低周波音・低周波音と健康影響については、明らかな関連を示す知見は確認できない。ただし、風力発電施設から発生する騒音に含まれる振幅変調音や純音成分等は、わずらわしさ(アノイアンス)を増加させる傾向がある。」とされており、弊社としては当該指針の考えに基づき、残留騒音からの増加分を一定レベル以下に抑えることが重要と考えています。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	理性ある人間のやることではない。 こんな事業は無駄である。 やる意味がない。 環境保全と呼ぶこと自体笑止千万である。 こんな事業は反対です。 以上	
13	野鳥の生息地を荒らす恐れのあるエリアに風力発電は いない。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、 計画を検討してまいります。
14	これ以上山を開発したくない。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
15	これ以上山を開発したくない。 上沼風力発電事業計画に断固として反対します。 豊かな森を壊し、貴重な野生動植物に多大な被害を与え ることが、次世代の子供達に負の遺産を残すことになり 、益々生きづらい世の中になってしまいます。 目先の利益に囚われることはもう辞めて欲しい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
16	今も風力発電が多く立ち並んでいるのに、これ以上の発 電計画の自然破壊はやめてほしいです。 動物の住む場所を残し、人も動物も安全に住めるよう に、自然を大事に守っていくための事業をお願いします。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
17	子どもたちの未来をこれ以上恥ずかしいものにしない でほしいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
18	風力発電事業による、動植物への影響が心配されます。 特にニュースでも取り上げられている、クマが人里に下 りてくることが多くなることが懸念されます。つまり生 態系が崩されてしまうと感じます。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、 計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域についての課題と認識し ております。一方で、クマの行動の変化については科学 的に実証されていないことも多いと理解しています。今 後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最 新の知見を収集してまいります。
19	風力発電、太陽光発電(メガソーラー)も自然破壊以外の 何ものでもない、ということをもう知っているはずで す。 動物たちの住処もなくなり、巻き込まれるリスクがあり そこに住む人間たちの健康にも影響がでる。 もうこんなことはどこにも起こってほしくないです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としております。 一方でご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要 と考えていますので、環境影響評価を通じて環境への影 響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
20	クリーンエネルギーへの意向手段として積極的に導入されている風力発電ですが、この場に建設しなければならない明確な理由が示されていないのではないのでしょうか？既存の発電設備による電力供給量を計画的に分配使用することで、新たに発電設備を設けなくとも十分に賄えるはずで。秋田では既に洋上風力発電も計画されており、これ以上の過剰な電力は不要です。無駄な林地開発による自然破壊は少なからず温暖化、生態系破壊、治山への影響などが考えられます。秋田が誇る人の手を加えることが最小限に抑えられた大自然、県民歌に詩われる「斧の音響かめ 千古の美林」を守るためにも、鹿角に計画される風力発電のための開発行為に反対します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
21	風力発電の風車が立ったあとの山の自然環境、天気による災害に不安がある秋田県南までも影響がでてくる気がしてならない。景観も損ねるのでやめて欲しい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
22	どうして鹿角市なのかと言うと、誰にも荒らされていない自然があるからなんだと思います。地元の人はずいぶん利権が鹿角市にやって来ると思って、必死に風力発電所が建てられる事に抵抗して欲しいと思います。鹿角市の自然を守って下さい。そして、鹿角のお金も流れて行かないように守って下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
23	子ども達に負の遺産を残してはいけません。失った自然は戻らない。100年後の人はなんというだろう。令和時代の日本人は愚かだった、と言われぬように。胸を張って命をまっとうできるか。刹那主義、拝金主義に陥らない様に。民度が問われます。人の「在り方」が問われています。恥ずかしい過去の人々、にならない様に。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
24	電磁波や騒音にうんざり。山には神様がいます！日本の美しい山を守って！	ご意見ありがとうございます。環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
25	そもそも人口が減っているのに、こんな事って必要でしょうか？電力自給率 300%超えているのに、豊かな自然をぶっ壊してまでやる必要・メリットを教えてください。まず、人の声をきちんと聴いて下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
26	由利本荘市に住む者です。由利本荘市にも多数の風力発電のための風車があります。地球環境を考えての再生エネルギーなのだと思いますが、正直これだけの数が必	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	要なのかという数の風車が設置されているように感じます。鳥海山がきれいに見えるところにも風車が設置されており、せっかくの景観が損なわれているように思います。また風車を設置するとなると設置場所までの道づくりも含めて自然環境が大きく変わってしまうおそれがあります。そこに生息している植物や動物たちのすみかを奪うことにもなり、ただでさえすみかだったり食べ物に困った動物たちが里におりてくる現在において、できる限り自然環境は守り次の世代に残していくべきではないでしょうか。この秋田で生きていく子どもたちが「なんでこんなことになってしまったのだろう」と思わず自然の豊かさをめいっぱい感じながら、自然とともに生きていける未来をつなげていけたらと思います。	我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。一方でご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要と考えていますので、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 動物の行動の変化については餌量や出生数の年変動等も想定され、一概に要因を特定することは困難と考えておりますが、ご指摘のように、餌場環境の減少については動物への影響要因となりますので、改変面積を低減できるように検討してまいります。
27	鹿角市で計画されている大規模風力発電事業は、奥山の環境を悪化させ、渡りや生息圏として重要な野生動植物の地域を無視して自然を蔑ろにする行為であることが容易に想像できますので、如何なる事業も即刻中止すべきと考えます。 あらゆる自然界の繋がりの中で人間は恩恵を受けて生きています。その自然界のサイクルを分断させるようなことはあってはならないと思います。人間のためだけの電力を作るのに、事業によってどれだけの犠牲を払うことになるのか、今一度一人ひとり理解する必要があります。 野生動物（イヌワシ・クマタカといった希少種含む）の餌場や生息地・繁殖地への悪影響、野生植物の自生地減少等を鑑みても事業を推し進めることのメリットは少なく、デメリットのほうが多いことは自明の理であると考えます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、ご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要と考えていますので、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
28	再生可能エネルギーの導入は大切な事だとは思いますが、その導入が政治課題となり、その結果を急ぐ余り、短期的な経済的利潤にしか興味の無い資本による早急な環境破壊にお墨付きを与えてはならないと考えます。政治的に再生可能エネルギーの割合を増やす事が決められた。しかし、それを促進するために規制を緩和したり、手続きを簡略化してしまうことはとても危険である。 当然の事ながら事業者の関心は利潤を得ることにあり、彼等は長期的な視野で地球温暖化を食い止める事などに関心はない。 そこで大切なのは地元の行政の役割である。長期的な視野に立ち、地元民の生活、減災、水資源の確保、山を守る事により水産資源も守られる事を第一に考えなければならない。山域の尾根筋は水資源、地盤の安定にとって非常に大切な場所である。安易な作業道路の敷設、巨大な風車の基礎、さらにその上の風車の荷重、いずれも山の安定を根底から覆し地元民を危険に晒す可能性を高めてしまう。 一度不安定にしてしまった山を戻すことは出来ない。将来、この風車は地元の子供達に誇れる物になるのだろうか。地元の声を聞き、禍根の残らぬ様に十分な時間を掛けて論議し、地域全体で納得が得られるまで前に進むべきではない。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
29	大規模風力発電は必要ありません。日本の自然を守り、これ以上自然破壊がないように願います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		を目的としておりますが、ご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要と考えていますので、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
30	鹿角市の再エネによる電力自給率はすでに 300%を超えている状態でさらに事業を進める理由が、地元のためであると到底受け取りがたい。ただか 20 年間の発電のために、長期的に見て、地元の非常に大きな財産である、豊かな自然を破壊するだけでなく、20 年後に負の遺産を残そうとするのは、結局、目の前の利益を得る人のためとしか思えない。もっと大きな視点、長期的な視点で行政を運営していくべき。しかも、住民の意見を十分にきかない状態で進められているこの計画には断固反対です。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
31	天然の森林を伐採し、人間の欲、お金のためにこのような乱開発がされることは許されることではありません。自然はお金では買えないのです。それに多くの動植物たちが犠牲になることは明らかなです。熊が人里へ降りてくる被害も増えることでしょう。私たちには、先祖代々から今まで脈々と受け継がれてきた自然を、壊すことなく、美しい姿のまままた後世につないでゆく役割を担っていると考えています。大規模風力発電事業計画の白紙撤回を強く望みます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
32	再生可能エネルギーの普及には賛成です。 ですが、脱炭素、気候変動、雇用創出を考えてとはいえ、令和から特に水の災害も多く、この計画が目的になっているとは思えないです。 水の循環を保っている山が存在することで、人間が得ている価値をもっと評価して欲しいです。 自然を壊して、循環を失い災害が起これば人間にも大きく影響してしまうと危惧します。 環境を痛めない土木を実践し全国で活動されている方もいますので、慎重に進められることを願っています。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
33	鹿角市に限らず、全国各地で風力発電設置が唐突に計画されているように感じており、今回についても違和感があります。 今回についても鹿角市の再エネ自給率を見ると、何のための、誰のための設置なのか根拠が見えかねます。 また風車の管理や維持についてもコストパフォーマンスが相当かかると思いますし、最終的に鹿角市の財政で賄われる可能性が少しでも否定できない以上、この規模の設置は市の将来的財政の、大きな圧迫にもなりかねません。 またこれは人伝の話ではありますが、風力発電設置の根本的な理由の一つに、地層の検査を兼ねていると聞いたこともあります。 そのために各地で設置と称して検査していると。もしこの理由について問われた時の回答も気になります。 自然エネルギーを活用するためには、どうしてもそれを活用したい人の手が入ります。しかしこれまでに、大規模なソーラーパネルの設置で、災害が起こりやすかったりと、本末転倒な現状も起こっています。 自然エネルギーの不自然な活用方法は、いずれ悲しんだり困ったりする命の方が多くなってしまうと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	ですので、新たな風力発電の設置よりも、鹿角市のすでに今ある再エネ施設への投資をする。他にも現在の土地になるべく負荷のないものを、もっと時間をかけて市民と対話して考え必要であれば実行する、という流れを望みます。 以上です。	
34	自然の森、奥羽山脈を切り崩す再生エネルギー、風力発電及びメガソーラー発電に反対します。豊かな山を守って下さい。 山の木々が伐採されれば水脈も枯渇してしまいます。山の土砂崩れも心配です。 熊や野生の生き物たちの棲みかなくなります。山々の森は秋田の宝物です。是非とも永々お守り下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
35	再エネは賛成ですが、こんな豊かな山中で事業を行うのは環境破壊を伴い本末転倒だと思う	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
36	街中からすぐ見える青垣山に風力発電が建つ、ということは景観の変化のみならず環境への影響が計り知れないと感じます。地下水への影響が確実にあるのではないのでしょうか。山からの水は、麓の田んぼや、花輪のまちなかのおせどに直接関係しているように思います。事業としてのメリットはいかほどなのでしょう。今後起こりうる健康被害、農業への影響、生態系への影響、クマの出没頻度が増えるのでは？などの影響を天秤にかけたとき、どちらを重視してくれる街なのか？鹿角市の魅力である豊かな自然をそのままにすることを望みます。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘の青垣山等の地域の景観保全については、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。また、クマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
37	人も自然の一部です。これ以上自然を壊さないで下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
38	二酸化炭素の排出は削減すべきことは誰しもがわかっていることです。よって再生可能エネルギーは人類にとって必要不可欠なもので推し進めるべき事業であると思います。しかし、カーボンニュートラルと並んで世界が取り組むべき事項にネイチャーポジティブの考えと 30by30 という目的があります、今回の案件はそのネイチャーポジティブの意に反する行為であり本当にカーボンニュートラルに即したもののなか甚だ疑問に感じます。誰が考えても即刻計画は中止すべき案件です。将来に向けてより良い環境を残すのは今を生きる私たちの義務です。利益を優先させる事項ではありません。少し考えれば分かることだと思います。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、適切に対応してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
39	企業利益の為にこれ以上環境が壊されではないと 考えます。クマはどうなるのでしょうか。もっと愛を持っ て生き物、植物に感謝し人間は生きること考える必要 があるのでは？今回の環境破壊はあまりにもこころが 痛みます。壊すのは簡単。取り戻すのは難しい。わたし は反対意見に同意します。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、 計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識し ております。一方で、クマの行動の変化については科学 的に実証されていないことも多いと理解しています。今 後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最 新の知見を収集してまいります。
40	奥羽山脈に風車を建てることはあらゆる環境の観点か ら不適切だと考えます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
41	住んでいる方などみんなで決めたことでしょうか？ 秋田県に風車がどんどん増えていく姿は心苦しいです。 なぜなら景色に風車があると電磁波で頭痛や吐き気が する。自然がたくさんあって熊を筆頭に動物達の住みか がなくなる。山菜や魚が汚染され食べるものが失われ る。等があります。電磁波により少子化がますます進む ことでしょうか。これ以上国の政策や経済の為に豊かな山 脈に傷をつけないで頂きたいと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、ご指摘の動物、景観等の項目 については、環境影響評価を通じて環境への影響を低減 できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘の電磁波について、送電線や変電所などの電力設 備のほか、身のまわりの家電製品（電気カーペット等） からも 50Hz または 60Hz の電磁界が発生していますが、 これらの磁界の強さは、いずれも電力設備を対象とした 日本の規制値に比べて十分に低い値であることがわか っています。経済産業省の電磁界と健康に関するパンフ レットも参照ください。 (https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/electric/files/denjikai_pamphlet.pdf)
42	山は下流域へ水を届ける重要な環境装置である。そんな 場所に人間の都合で人工物を設置することの影響は 100 年、1000 年単位で見ると先が読めないのではない か。山奥でたくさん電気を作って街へ配達する、これま での大規模発電所ではなく、地域単位で小さなコミュニ ティ単位での発電と電力自給を目指すべきだと思う。山 森川海に繋がる環境全体への想像ができないなら計画 を見直し、中止すべきである。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
43	山のてっぺんに大きな風車を作って、その電気は誰が使 うんですか？福島原発の電気は、どこに行っていたん ですか？3.11 から何を学びましたか？エコではなく、エ ゴを感じます。反対します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
44	風力発電事業は、現在の形態では、機器自体の耐周年数、 そのメンテナンス、環境に影響を与えることへの補償と 保全、景観へのダメージそれにより生活を変えざるを得 ない人々への生活保障大切な大湯環状列石への影響、乱 気流を起こすことへの対策、奥羽山脈が山崩れを起こす 可能性をあえて作らなくてもよいのではないかな？ 犠牲やダメージを与えてエネルギーをうんでも、持続可 能でなければ長期的一時しのぎ。千年先も使えるような エネルギー開発を実現させてください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石 の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めており ますが、今後も適切な対応をしてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	大がかりすぎ、大規模過ぎる風力発電をこれ以上ふやさないように、鹿角市への計画をやめることを求めます。	
45	風車を沢山つくるだけ作っても、送電網が確保されていないため、風が吹きすぎると電気が足りないところには廻せない。電気を廻せるところだけでは今度は飽和状態で処理しきれず、風車をとめる。風が吹かない日もあるため稼働率が低いのに、沢山作っても採算が合わない。20 年位前の風車はペンキが剥がれ錆びているものも目につく。耐用年数を考えるとおそらく元手は取れないと思う。 再エネ賦課金で電気代はどんどん上がっている。鹿角市の水力発電は明治から始まって現在も活躍している。水力発電で他の地域にも電気を送っていると聞いた。持続的であることが証明されている地域である。 これ以上風力発電を作れば、自然景観を壊すだけでなく電気代はどんどん上がる。風力発電を維持する道路など環境を壊しておいて、次は環境を維持するとか言い税金もどんどん上がり生活は苦しくなるのは目に見えている。 他県や他の地域の失敗事例を見届けてから検討するべきである。	ご意見ありがとうございます。 事業性については、風況調査や造成計画等を踏まえて、安定的な事業運営が可能となるよう、事業計画を検討いたします。 今後の手続きにおいて、専門家等の助言を踏まえつつ、適切に調査、予測及び評価を実施し、必要に応じて最新の知見を踏まえた環境保全措置を検討することで自然環境の保全に努めます。また、事業実施に伴う改変が周辺の災害を誘発することがないよう関係機関との協議を行い、慎重に検討してまいります。
46	一度失った自然は、2度と戻りません。一部の人の利益の為にこんな事するより、人口減の中で他にやれることがあるはず。一人一人の工夫も必要ですが、まずは政府の無駄な予算無駄な出費をなくして下さい！	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
47	・地元住民の意見を反映してください。 ・これってみんなで話し合って決めたんですか？ ・再エネには賛成だけど、こんな豊かな山中で事業を行うのはあまりにも環境破壊を伴い本末転倒ではないか ・もっと里にクマがおりてくるのでは。 ・世界遺産である大湯環状列石の景観を損ねるのでは。 ・鹿角市の再エネによる電力自給率はすでに 300%を超えており、ただか 20 年間の発電で得られる地元のメリットよりも事業を通して受けることになる自然環境の改変とその影響によるデメリットがあまりにも大きいと感じます。この事業計画には反対です。 ・もっと時間をかけて地元の人同士じっくり話し合っ てこれからの森の活用方法やエネルギー自給のあり方を決めていきたい。あまりにも事業者の計画進行スピードが速すぎると思う。 自然破壊もうやめてください。エネルギー問題は自然破壊で補うべき問題ではありません。自然こそが私たち人間を生かしてくれている根本であります。自然を破壊すればやがて人間を殺す形でバチが当たります。当たり前のことです。 自然破壊する人にはバチが当たりますように祈ります。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。 地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も適切な対応をしてまいります。 地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
48	こんな豊かな山中で事業を行うのは、環境破壊につながると思います。熊は里山に住めない環境だからエサがないから、街に降りてきます。もっとも街にクマが降りてくるようになり、自然も街も人も破滅に向かう事業に感じます。世界遺産である大湯環状列石の景観も損ねるので、計画見直しを求めます。もっと市民の声を拾い上げ、話し合う必要があるのではないのでしょうか。健康	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	や環境面で被害を被るのはそこで暮らす人ですから、人だけでなく動植物や自然も含めて考えて頂きたいです。	後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。 地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も適切な対応をしてまいります。
49	奥羽山脈に巨大な風車が立ってしまうなんて耐えられない。ここの自然は、先祖から受け継いだ貴重な宝物です。 ちゃんとした電力が供給できるのかもわからないのに、大切な自然をこわしてしまうことはリスクでしかないと思います。水源の近くでもあり、工事で水源に影響が出る可能性もあります。ここに住むクマや野生生物にも悪影響があります。20年たった後の回収工事のほうが、高くつくし環境破壊につながるのではないかと？ その前に、これってみんなで話し合っただけで決めたんですか？ 市民や県民に説明もないまま、勝手に進めたように感じます。地元住民の意見を反映してください。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
50	わが町も山の中、国立公園と隣接していますが、環境破壊の影響はすさまじく、動物達の棲家を奪い我々人間の行き場も健康を奪っています。森を健全に保たなければ、体の60%をしめる大事な水である水源もやられ、自然豊かな日本が廃国になる一途を辿らせることは、日本の子供達の未来を奪います。 これ以上の環境破壊は絶対反対です。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
51	これほど大規模な風力発電は、水源破壊のリスク、低周波健康被害のリスクを考えると、社会にとってマイナスの面の方が大きいと考えます。計画中止が最も自然保護につながると思います。目先の計画ではなく、数100年先を見据えた時には、このままの自然を残すことが最も価値ある判断であると考えます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
52	何をやる、何を進めるにしても、知らないところで進められていたように感じる計画だと思います。本当に地元民の方々との意思疎通はできてますか？貴重な生態系を壊して、2度と戻ってこないかもしれないのにやる価値はありますか？一体誰のための計画ですか？ 少なくともお話を伺ってみて、私には納得できないところが多かったです。鈴木健太さんを応援しましたが、こちらの計画に関しても、新知事のリーダーシップが発揮されることを望んでいます。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
53	事業ありきの環境評価ではなく、地域住民との合意形成や意見交換がまず先にあるべき。一度失った自然は元には戻らない。気候変動が加速している昨今において、自然は地球市民の共有財産。化石燃料に頼らない自然エネルギーは大切だけど、できる限り自然に負荷をかけないで事業を実施すべき。事業の見直しを希望します。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
54	地元住民の意見をしっかりと反映してほしいです実際に健康被害にあっている身内がいます。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
55	生態系豊かな森に建築物、構造物をつくることでの環境の劣化は明らか。もう二度と豊かな森は戻らなくなるし、水をも失うことにもなります。それは地域にとっても大きな損害となりますので、今回の工事の計画の中止を強く求めます。	ご意見ありがとうございます。環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
56	風力発電は、電磁波がでて、鳥類に悪いという事を聞いたことがあります。環状列石からの、景観も、損なわれるのでは、と、気になります。	ご意見ありがとうございます。鳥類を始めとした動物への影響に関して、環境影響評価を通じて影響を低減できるよう計画を検討してまいります。 また、地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も丁寧に行ってまいります。
57	秋田の魅力とはなんでしょうか。住み続けたい、住んでみたい、子に残したい、この手つかずの美しい自然に必要なもの。豊かに静かに暮らせる場所であってほしいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
58	今、私たちが生活する上で必要だというのが、私たちがいなくなった後、子どもたち孫たち、何世代先の未来の人たちの為になるのだろうか。何十年後には人口が大幅に減るといことが分かっている今、そういう議論を冷静にしていける必要があると思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
59	自然や動物の家とかが無くなるからやめてほしい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、ご指摘のように、動物の生息環境・餌場環境の減少については影響要因となりますので、改変面積を低減できるように検討してまいります。
60	福島市に住んでいた時に、ふと気づくと、安達太良山の稜線に何基もの風力発電の風車がいくつも建っている事に気づき、驚きました。自然エネルギーと称して風車を建設するのに、どれだけの自然が破壊されたのかと思うと、ゾッとしました。 これ以上、自然再生可能エネルギーと言う名の元に、自然破壊をするのをやめて下さい。 自然と共生出来るエネルギーの発電方法を考えて下さい。 風力発電所の建設に反対します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
61	日本の国土、環境、命を大切にしてください。秋田の財産を壊さないでください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
62	景観はもちろん、貴重な野生動物や広葉樹林、水源としての役割を担っているエリアに対して、環境負荷の懸念がある事業を進めるべきではない。他に候補地はないのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、ご指摘の動物等の項目につい

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		ては、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
63	再エネ事業に反対です。自然環境を壊す風力発電事業に断固反対します。地元住民の意見もしっかり聞いて下さい！	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
64	断固反対致します。私達の命の源の山海、水源を守るべき。再生可能エネルギー、一体どれだけの発電量があるのか検証してるのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
65	クマの生息域をおかすと人里にクマが出没する原因にもなると思うので建設に反対します。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については餌量や出生数の年変動等も想定され、一概に要因を特定することは困難と考えております。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
66	自然破壊になる様な事には絶対反対です。人間がもっと我慢するべきではないでしょうか。人間の便利さだけを追求してはいけないと思います。地球上に生きる全ての生物のためになる事をやっていきましょう。風力発電には反対です。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
67	風力発電をしなければならぬほど電力は足りていないのでしょうか？自然破壊をして野生の動物を虐待するのでしょうか？後から動物たちから報復が来ない事を祈ります。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
68	・計画の上沼東側は米代川源流の瀬ノ沢があり西側は富士川、不動川、間瀬川、冷水川などの源流域となっていて水資源の影響が懸念される。 ・上沼牧場が廃止された後原状に後するという事で平成17年から「米代川源流自然の会」が植樹を進めているが、牧野があった時は植物が根付かず、表土がむき出しとなっている箇所が結構見られた。開発されると元の木阿弥となる。 ・林野庁が進めている「緑の回廊」も近接している場所に計画されていること自体驚きです。上沼はモリアカガエル、クロサンショウウオの生息地であること。	ご意見ありがとうございます。 ・水資源への影響については、水質調査(水の濁り及び有害物質)を環境影響評価項目として選定しており、適切に調査・予測・評価を実施いたします。 ・上沼放牧場における植樹については、関係機関に事業計画についてご説明し、ご意見を頂きながら検討を進めております。今後も引き続き、環境への低減に向けた取り組み等についてご相談しながら進めて参りたいと考えています。 ・「保護林」間の野生生物の移動経路としての「緑の回廊」の機能に影響しないよう対象事業実施区域の位置を選定しております。上沼の両生類については、適切に調査・予測・評価を実施し、影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
69	昨夜、秋田市内の実家に住む姉からファックスをもらい「上沼風力発電事業」のことを知り驚愕しました。期日が今日になっていたの、仕事の合間に書いてます。日本中の人が知る通り、秋田県は人口減少、少子化で県が	ご意見ありがとうございます。 本事業による環境への影響については、今後の環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言を踏まえて科学的に予測・評価を実施いたします。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	衰退していこうとしています。世中的も再エネルギーの必要性は十分理解しています。しかし世界遺産もあり、何もよりも秋田県の、世界や日本国に対しての貴重な、貴重な財産です。再エネの方はもう一度、将来と世界に目を向けて再検討すべきです。この件を進めることは、大、大反対です。 更に反対の理由として ・地球規模にとっても貴重な鳥獣、猛禽類、イヌワシなどの住む場所をなくし殺すのですか？ - 聴覚の良い彼らが影響を受け、どれほど生き辛くすることになるのかきちんと正確な検査検証をしたのですか？ ・一体どれほどの年月がかかってこの地域が世界遺産と言われるまでの地域になったか考えてください。失ってからでは遅いです。 ・世界的に、危急的にこの財産を失ってはいけない。弱体化していつている秋田県としては特にです。 ・動物や鳥類が住む場所を失い住人の住む地域に出て来て人間が被害を受けるようになることは必然です。秋田県は熊の被害で散々苦労してるのにです。 ・風力発電機は部品も含め中国製の物ではありませんか？そうであれば情報の漏洩があるやもしれません。いえあると思います。 以上急ぎ頭に浮かんだことを書きました。誤字がありましたらお許しください 大反対である事を表明し、もう一度将来の秋田に向けて検討していただくことを切に望みます。	鹿角市の観光において重要な位置づけにある世界文化遺産の大湯環状列石への事業の影響については、事業者としても重要な事項であると認識しています。今後、景観に関する影響評価を行うとともに、世界遺産の価値への本事業への影響を客観的に影響評価する必要があります。関係機関と協議を行い、世界遺産への影響についても回避又は低減するよう努めてまいります。
70	振動は人間にとっては心地良いものではないと思います。私は障害手帳を持っている人間ですが、体調のよくない時の鉄道、飛行機での移動はとても苦手です。野生の動物だったらもっと感じるのではないのでしょうか？里山に降りてくることが多くなれば、駆除という方法をとらなければなりません。人間、動物達の幸せの為に、風力発電事業には反対です。	ご意見ありがとうございます。動物の行動の変化については餌量や出生数の年変動等も想定され、一概に要因を特定することは困難と考えておりますが、ご指摘のように、餌場環境の減少については動物への影響要因となりますので、改変面積を低減できるように検討してまいります。
71	懸念事項として、眺望景観、植物及び生態系の影響、水質源影響を考慮して十分に時間をかけて計画を進めるべきだと思います。 結果は地域住民の意見賛同を多数得てから進めるべきです。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
72	風力発電反対 「再エネ」の過大評価には反対である。本来補助的に使用すべき不安定な風車発電や太陽光発電は無風の時、曇りや長い冬場に安定的な火力発電や原子力発電に頼らなければならない。また日本の急峻な山岳地帯の生態系や環境を壊してまで作る必要性があるのか？甚だ疑問である。 9年間鹿角に住んでいたが、国立公園のそばにありまた伝説の里（縄文文化の大湯環状列石、黒又山＜クロマンタ＞・・・等）優れた環境(山菜の宝庫でもある)を壊すような風力発電には大反対である。クマ・カモシカなどの動物の為にそっとしておいてもらいたい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
73	再生可能エネルギーの重要性は理解しています。しかし、そのためにかけがえのない自然景観や生態系、住民の健康や生活が犠牲になる可能性がある方法を選ぶべきではないと考えます。もっと鹿角の自然と調和し、地域住民が心から納得できるエネルギー政策があるのではないのでしょうか？ どうか私たちの声に耳を傾けていただき、この計画の白紙撤回もしくは抜本的な見直しをお願いします。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
74	鹿角市で計画されている大規模風力発電事業について以下の理由から反対します。 ・豊かな自然環境と生態系への深刻な影響がある恐れ ・世界遺産や歴史文化と観光への打撃を与える ・地域住民の生活環境と安全への懸念 ・事業の経済性、効率性への疑問 事業者には計画の白紙撤回を求めます。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の自然環境、景観等の項目については、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。特に、地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も丁寧に行ってまいります。
75	・そもそも今現在電力は間に合っている ・風車建設する為に道路を作る→自然破壊 ・風車が建つと→低周波音による害、野生動物へ悪影響大、特にクマが増々人里に出没する。貴重なイヌワシ etc の減少 講演会で聴いた話 一度壊れた自然が元に戻るには 800 年かかる！！子や孫たちに“何という物を作ってくれたんだ”と言われたくない。故に風力発電事業に反対します。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
76	大規模風力発電事業について強く懸念を感じているのは少数ではないと思います。自然エネルギーの推進が大切なのはわかりますが、それによって地域の安全が脅かされるのは本末転倒です。熊が里に下りてくるのは風力発電の低周波が原因とも言われております。しっかりお調べになって慎重に計画を進めて頂きたいと思っております。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
77	鹿角市での風力発電事業について、秋田県民として不安を感じています。山がこわされることで熊が里に降りてくる事例が北海道でも多く起こっていると聞いています。熊は県境など関係なく、近隣の県にまで平気で行くでしょう。こうなった時困る住民、責任はどうなるのですか？ 地域の声は聞いていますか？よく話し合った上で計画を進めているのでしょうか？慎重で賢明な対応をおねがいします。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
78	・低周波音などによる人体への影響 ・自然生態系への影響 ・土砂災害、水質悪化の恐れ ・世界遺産、歴史文化として観光への打撃など、様々な懸念があるので、この大規模風力発電事業計画に反対します。事業者はこうした反対意見に耳を傾けていただき計画の白紙撤回もしくは抜本的な見直しを求めます。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も適切な対応をしてまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。 ご指摘の風車による騒音と低周波音による健康被害について、環境省が平成 29 年 5 月に公開した「風力発電施設から発生する騒音に関する指針について」によると、「これまでに国内外で得られた研究結果を踏まえる

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		と、風力発電施設から発生する騒音が人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。また、風力発電施設から発生する超低周波音・低周波音と健康影響については、明らかな関連を示す知見は確認できない。ただし、風力発電施設から発生する騒音に含まれる振幅変調音や純音性成分等は、わずらわしさ(アノイアンス)を増加させる傾向がある。」とされており、弊社としては当該指針の考えに基づき、残留騒音からの増加分を一定レベル以下に抑えることが重要と考えています。
79	自然エネルギーはいらない。森林はしないで下さい。業社も政治家ももっと勉強して下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
80	鹿角市で計画されている風力発電計画について、以下の理由から反対します。 ・景観破壊、自然環境への影響：壮大な景観を損ない、周辺の自然環境に負荷を与える。 ・騒音・低周波音による健康懸念：稼働時の騒音や低周波音が住民の健康に悪影響を及ぼす。 ・野帳など生態系への影響を及ぼす。 ・コスト・採算性への疑問：建設、維持管理コストが高く不安定な発電量や補助金への依存など経済的な実効性に疑問がある。 ・景観悪化や騒音により土地や家屋の資産価値が下落する恐れがある。 以上のことから事業者には計画の白紙撤回を求めます。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の自然環境、騒音、景観等の項目については、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 事業採算性のご指摘についても、今後、各種検討結果を踏まえて慎重に検討した上で実効性を見極めたいと考えています。
81	私には孫が4人ひ孫が2人います この子達に自然を残してあげたいです 森林破壊してまでの再エネは不要です	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
82	地元住民の意見を反映して下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
83	鹿角市は美しい山々に囲まれた豊かな自然に恵まれた場所であり県民の誇りです。そこに巨大な風力発電機が何基も建設されとなれば、私たちの大切な故郷の景観を一変させてしまうことになり、強い違和感と喪失感を覚えます。また、環境への影響も心配です。森林を伐採されればそこに生息する動植物の住処が奪われ地域の生態系に深刻なダメージを与えます。さらに風車から発生する低周波音による健康被害の可能性も無視できません。私は未来の秋田を担う世代として、この美しい自然と静かな環境を守り繋いでいきたいと強く願っています。どうか私達の声に耳を傾けて。この計画を白紙撤回して下さいようお願いします。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 指摘いただいた眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。また、地域住民等の皆さまに対し十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
84	山から追い出されクマがもっと里におりてくるのでは。クマの人身事故や被害が増加した場合損賠保障等は行われるのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
85	事業者の計画スピードが速すぎると思う。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
86	秋田の里山文化を壊さないでください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
87	風車を山につくるのはやめて下さい。由利本荘や秋田市に行くと、不気味なほど風車が見られます。内陸に住んでいて普段はわかりませんが、これからどんどん山にもできると、自然の風景が壊れていきます。山が振動で崩れやすくなる、山から熊が出てくると聞きました。母の知人は、風車が回っていると具合が悪くなる人がいるそうです。本当に自然にやさしいエネルギーなら、自然を壊したり人の具合が悪くなるものはおかしいので止めて下さい。	ご意見ありがとうございます。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。 クマ等の動物の行動の変化については餌量や出生数の年変動等も想定され、一概に要因を特定することは困難と考えておりますが、ご指摘のように、餌場環境の減少については動物への影響要因となりますので、改変面積を低減できるようを検討してまいります。
88	地元住民の意見を反映してほしい	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
89	このお話は友人からきいて初めて知りました。そして、なんとか阻止しようと立ち上がっている方々がいることも知りました。再生エネルギーよりも大切なことがあると思いますし、地元住民もよくわからない状態の中で物事が進んで行くなどあってはならないと思います。結成集会などでお話をきける機会もあるようなので、1人でも多くの方がこの問題に向きあっていかれることを望んでいます。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
90	昔からある美しい自然の景観がこわれていくのはとても受け入れがたいです。見た目だけでなく、自然の中で生きる動物達の居場所を手にかける事は動物保護の面でもあってはいけない事。これ以上に熊などが人里に出てくる原因にもなる。発電場所だけでなく幅広く周囲の動物だけでなく植物の生態系をこわす事につながる。風車の振動、騒音等で周辺住民への健康被害が出ることも十分考えられる。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
91	自然破壊反対	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
92	風力発電を造ることは自然を破壊することです。森、山には多種多様な生物がいて、木を切るとはそのバランスを壊すことになり、生物に多大な影響を与えます。ひいては、人の生活にも大きな影響を与えることに必ず繋がります。例えば、山頂で木を切ると必ず下では土砂災害が起こったり、木が切られたことで餌がなくなったクマが人里に下りてくるようになったり、全国で実際に事例として起きています。一度壊した自然は人間の手では元に戻すことはできません。計画ありきではなく、長い年月をかけてメリット・デメリットを住民や様々な立場の専門家（風力発電事業の人だけでなく、自然保護・再生活動をしている専門家など）を交えて、慎重に進めるべき事業だと考えます。東日本大震災では原発事故が起こり、第一に住民の生命が脅かされました。災害等が起きて、被害に合うのは住民です。丁寧かつ慎重な話し合いがもたれるべきと願います。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域についての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
93	経済優先、会社利益優先の事業開発は断固として反対です。風力発電を導入したことによる土砂砂災害や公害等のアセスメントはされているのでしょうか？破壊するのは簡単ですが、再生には人力を超える時間とコストがかかります。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
94	事業計画に反対します。目先の小金目当てで日本の宝である山地を削らないでください。そもそも地元の方々にメリットがあるのですか？開発業者と下請け土木にお金が出る以外に目的はあるのですか？失ったものは取り返せません。山を大切にしてきた祖先の叡智を学んでください。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
95	再生可能エネルギー政策による発電事業を推進することで、豊かな自然環境を破壊し、そこに生息する多種多様な生物の生命環境も壊滅して、その結果我々人間社会の生活基盤で有る飲用水や酸素を消失する重大な危機に直面する事態を招きます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
96	風力発電は、再エネ賦課金を国民へ費用負担させる事で成り立っている事業です。秋田県は鹿角市も含めて、経済的には観光に依存する県民も多く、その経済規模も小さいものではありません。その為、秋田県の宝である観光資源の保護とその維持には、非常に気を使って注意しなければ成らない事は当然と考えます。 国際的には、昨年の米国大統領選挙後から、環境エネルギー及び風力・太陽光発電への環境的効果への疑問が沸き起こって来ているのが、世界の流れとなって来ています。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、ご指摘の景観等の項目については、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	この事は、結果的に巨大な風力発電設備が、環境資源である山中にそびえ立つ光景に対して、醜悪に感じる観光客の増加を意味します。観光客は、昔からある貴重な自然の姿に心を癒し、これに接する事に価値を感じ、来県して頂ける訳です。しかし、巨大な風力発電がこの貴重な光景や環境資源に、悪い影響を与える事は確実です。また、経済的には風力発電従事者によるプラス面は確かにありますが、経済的マイナス面として電気料金の上乗せが生じる為に、一般国民を無視した一部の人への利益しか考えない秋田県という、負のイメージを助長する恐れがあります。このイメージ悪化は、秋田県や鹿角市の観光経済にボディブローの様に、じわじわと効いて来るでしょう。 この様な、総合的観点から見て風力発電の設置は、全く持って時代にそぐわない悪事業と考え、中止する事を希望します。	
97	奥羽山脈、生きているうちにいつか行きたい森の1つです。ずっと行きたいと思っていました。再エネには賛成ですが、こんなに豊かな山中で事業を行うのはあまりにも環境破壊を伴い本末転倒ではないでしょうか。森をそのまま残してください。洋上風力などご検討ください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
98	まずはなぜこの場所ではないといけないのか？風力発電は国が推しているの、計画が持ち上がったのであれば進んでしまう事なのではないかと、県有地もって景観に影響の無い場所もあるはず。これだけ山があるのに町から丸見えのこの場所が選定された理由を公表して欲しい。市役所も市民に周知させる努力をしていません。広報のトップページに掲載して意見公募を募るなりしないと。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
99	景観を壊すだけでなく、取り返しのでない損害を地中や周囲に及ぼす恐れのある風車建設に反対します。	ご意見ありがとうございます。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。 また、地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も丁寧に行なってまいります。
100	風車設置に伴う搬入路や設備設置のための改変が周囲の環境に与える影響が大きいと思う。アクセス林道が災害時に破損した場合の復旧費用負担先が地元負担となるのではないのか。事業者負担とする明記が必要。	ご意見ありがとうございます。 搬入路については既存道路等を活用し、影響の低減を図る方針です。本事業のためのみに使用する管理用道路の災害時の復旧については、弊社で対応いたします。
101	風車入れると、鹿角のきれいな風景が破れると思います。再エネは大事と思いますが、鹿角はたくさんあるし、自然環境の中ではなく、放棄された農地や、街の中と周りで設置すべきです。地主の許可をとるのが大変とかもありますが、それを言い訳にして諦めるより、住民や政府と協力して、その問題を早く解決すべきだと思います。このような問題が続ける一方です。私はクマの専門家ですが、一方で、放置された農地や街の周りで再エネを行えば、昔人間の里山でのアクティビティを模倣し、街に迫ってくるクマなど野生動物を怖がらせて追い払いのような役割も果たせる可能性が高いと思います。国、県、市町村や住民の協力が得やすくなるし、再エネの会社が社会に寄与するつもりであれば、どこでも行	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	うのではなく、ちゃんとみんなと話し合っって他の社会問題も共に解決する可能性を考えていただくといいのではないのでしょうか。最初は話し合いがながくなり、大変かもしれませんが、一度通ったらその先は楽になるはず。が、そのためには再エネの会社だけではなく、行政も前向きに考えて、社会のために協力的に動いていただきたいのです。住民、地主や地主の家族の協力も必要です。	
102	ここで発電されるエネルギーは地元ではなく、都会で消費されるものではないかと思われます。これから人口が減っていく中で、原発再稼働含めて、豊かな恵みをもたらしてくれる山林を壊してまでウインドファームをつくらなければならない理由は？地元で暮らす人たちにとっては、慣れ親しんできた景観が変わり、それは水源や生き物たちにも影響します。その変化は人にも影響を及ぼします。生き物がいなくなればどんなにエネルギーがあっても人も生きていけなくなります。再エネという聞こえ(響き)は自然に良いことのように思われがちですが、私たちはここで立ち止まって再考する必要があると感じます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
103	事業所は風車を設置するために行き交う大型車やそれに伴う道路の整備等が生態系や環境にどのくらいの影響をもたらすのか他地域の例等を子どもたちや若い方にも分かりやすく示してほしい。漠然とした不安では事業所の計画は進んでしまいそう。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
104	渡り鳥が風車に巻き込まれたり、山が串刺しになり水源が止まるのでやめてほしいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
105	水源の森とは、動物だけでなく私達人間の生活にも無くてはならない物です。水源の森が無くなると人間生活にも大きな影響を与えます。今に水道を捻ると水がいつでも出てくる日常が当たり前でなくなる日が来てしまいます。水源の森は人間が触ってはいけないと思います。山は緑のダムとも言われる様に沢山の雨水を吸い込み木々が地中深くに根ざし、水を吸い上げ蒸散させ大気を冷やしているのです(地球温暖化を食い止めている)。山頂部で山を削られ木を切られると、岩が乾いて落石が止まらなくなります。そうすると土中環境が悪化し大きな木が枯れたり倒れたりし森の崩壊の連鎖が始まります。しっかり土中環境調査をして下さい。土中環境の第一人者の●●●●●●●●に依頼してください。 風力発電は二酸化炭素を削減できる発電設備とのうたい文句がありますが、超高層ビル並の基礎工事が必要であり、地中深く掘削工事することにより何万年もかけて蓄積した土中の炭素が排出され始める事となり風力発電でうたうよりはるかに膨大な二酸化炭素が大気中に排出させることとなり、本末転倒です。 また風車から出る音波で虫や鳥が周囲からいなくなるのはご存知ですか？環境に優しいと言えますか？虫や鳥がいなくなると言う事も私達の食べ物が無くなったり文化が消えたりと人間生活にも悪影響を及ぼします。	ご意見ありがとうございます。 今後の手続において、専門家等の助言を踏まえつつ、適切に調査、予測及び評価を実施し、必要に応じて最新の知見を踏まえた環境保全措置を検討することで自然環境の保全に努めます。 風力発電は、建設段階では基礎工事や輸送などにより一定の二酸化炭素排出がありますが、ライフサイクル全体(部材の製造、輸送、工事から運用まで含めた全行程)で見れば、その排出量は化石燃料に比べて極めて少なく、総合的には二酸化炭素削減に大きく貢献することが、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告書等でも示されております。ご意見ありがとうございます。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	良かれと思って進める事業ならば、今一度立ち止まり、本当に地球温暖化対策として適切な事業かどうか日本の未来のための事業かどうかを考えてみて下さい。 水道水が飲める国は世界で8カ国らしいです。日本はその中の一国です。それは奥山の恩恵です。奥山は守って下さい。よろしくお願いいたします。	
106	（仮称）上沼風力発電事業、（仮称）鹿角東部市民ウインドファーム、両計画に反対します。 再エネ事業を全否定するつもりはありません。きっとそれぞれ、エネルギー問題の解決、豊かな生活の為等のお考えがあつての計画であろうと思います。 しかし、秋田県の美しい山々、そこで生活を営む、様々な生き物達の暮らしを奪ってしまうこの大規模な計画には撤回を求めます。 私達人間は、自然のものを、自然の許可なく、私達のお金や生活の豊かさの為に、搾取してきました。 自然（植物、動物、昆虫、様々な生き物）は、私達人間から、お金の支払いも求めず、怒ったり、苦情を言うこともせず、ただただ、人間沢山の豊かさを与えっぱなしで今日に至ったのです。 私達人間は、そろそろ気づかなければいけないのではないのでしょうか？ 戦国日本は大きな発展を遂げましたが、その裏で、沢山のものを失ってきたのではないのでしょうか？ 自然から離れ、今の生活を送る私達人間は、本当に幸せを感じて生きているのでしょうか？どうか、私達の大切な仲間である自然と調和する方向に、舵を切り直して下さいようお願い致します。 人間だけの視点じゃなく、自然の視点から物事を眺めて、大切なことにお気づきになって下さるようお願い致します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。一方でご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要と考えていますので、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
107	風車、大反対です。環境にどんな影響があるのかもはっきり算出してないのに、この大規模な計画は怖すぎます。ただでさえ、里山に降りてきてる熊もさらに増えそうだし、有名な湧き水もダメになるかも。土も水も生態系も必ず影響うけます。 環境を守るための自然エネルギーのはずが、逆に悪影響与えるってどうなのでしょう。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 また、クマ等の動物の行動の変化については餌量や出生数の年変動等も想定され、一概に要因を特定することは困難と考えておりますが、ご指摘のように、餌場環境の減少については動物への影響要因となりますので、改変面積を低減できるように検討してまいります。
108	一度崩した環境を取り戻すことは出来ません。政ごとというものは八代先まで見据えて行わなければ。子孫に胸張って言えますか？県民を日本国民をガッカリさせないでください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
109	上沼風力発電事業は、目先の業者の利益のため、私たちの命を支える、かけがえのない自然を破壊し、自分たちだけでなく、将来の子供や孫の世代にツケを回す。日本人はいつの間にか、自分だけ、今だけ、お金だけしか考えない民族になってしまい、悲しくなります。こんな計画は絶対に止めないといけないと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
110	私たちの血税を使って環境を破滅するのはやめてください。民意反する行動を繰り返し行うのはやめてください。森の多様性を保ってください。森の生き物たちが住めなくなると、里山に降りてきてそれを駆除する、と言う繰り返しが行われています。動物たちが住める森を残してください。最後に困るのは、必ず我々人間たちなのですから。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
111	上勝も町民が反対したにも関わらず、風力発電が建設されました。その結果、獣害が拡大し以前と比べ物にならないくらい農産物が被害を受けるようになっていきます。地域に被害があるのは確実です。	ご意見ありがとうございます。 他地域の獣害との因果関係については明確なデータや記録が確認できておりませんが、餌場環境の減少については動物への影響要因となりますので、改変面積を低減できるように検討してまいります。
112	どうぞ、地球が長い時間をかけて育んできた沢山の命、豊かさ、恵みを、必要以上に、壊さないでください。大きな構造物を作ること、運搬するための道路整備をはじめ、環境に対して多大な変化と負担を強いるはずで す。 そして、それによってもたらされるのちのちまで続く影響について考えてください。水脈、水源、山、森、川や海、生き物達、全てに影響がある行為だと思います。それは、人にとっても好ましくない影響を及ぼすことだと考えます。それでもなお、風力発電は必要なのでしょうか？ 誰がそれを望み、誰が得をするのですか？地元の方々が望んでおられることなののでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
113	誰のための施設？壊した自然は簡単には戻らないことは承知の上で進めているのでしょうか。自然や景観を壊してまで作るメリットはどのくらいあるのか、検証した上で進めているものなのか？	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
114	一度壊した自然を元に戻すのはまず不可能です。不可能でないとしても相当の時間とお金と労力が必要です。イヌワシなど希少動物の生息地域でもあり、計画は考え直すべきだと思います。景観も無視しており、地元住民の声が反映されているか疑問です。この計画には反対です。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の動物、景観等の項目については、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
115	日本の豊かな自然を守って欲しいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。一方でご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要と考えていますので、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
116	これ以上の自然環境破壊行為は辞めてください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。一方でご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要と考えていますので、環境影響評

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
117	発電事業開発に伴う自然破壊が懸念される。森林伐採による生態系の破壊や土砂災害の危険性の増加、鳥類の飛翔ルートと重なることや、景観への影響などは計り知れない。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
118	この地域森林をこのまま残すことが、次世代の命を育みまた、温暖化を食い止めることに繋がるはずです。貴重な生き物が棲息し、観光資源でもある青垣山。風車を立てれば、ズタズタになり元に戻すことは絶対出来ません。勇気をもって立ち止まって頂けることを強く期待します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、ご指摘の青垣山等の地域の景観保全については、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
119	反対です。	ご意見ありがとうございます。 事業開発の初期段階であり、賛成、反対含めて様々なご意見を頂戴しておりますが、地域からのご理解を得られるよう、取り組んでまいります。
120	再エネには賛成だけど、こんな豊かな山中で事業を行うのはあまりにも環境破壊を伴い本末転倒ではないか！	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。一方でご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要と考えていますので、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
121	結論から言って全く必要の無い施設です。利権の為に建設し、近隣住民の健康被害及び山地に生息している動物達の住処を奪う許されない破壊行為だと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。一方でご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要と考えていますので、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
122	山、山林の活用ですが、あまりに人間本位ではないでしょうか？山の生態系が乱れ、熊も里山に降りて来ています。どうか彼らが健やかに山の中で暮らせるようにご配慮ください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。一方でご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要と考えていますので、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 クマ等の動物の行動の変化については餌量や出生数の年変動等も想定され、一概に要因を特定することは困難

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		と考えておりますが、ご指摘のように、餌場環境の減少については動物への影響要因となりますので、改変面積を低減できるように検討してまいります。
123	昔から森には手をつけるなという言い伝えがあります。人間が森を勝手に切り開いたりすると禍いが起きてきたからです。山の峰という大切な場所に風車を建てるのは危険極まります。そのために大きく幅広く森林を伐採し、運用道路を作る。それは大雨など降れば土砂崩れの要因になるし、また森に棲むクマやいろいろな動植物にも大きな影響を与え、棲むところがなく超低周波音の健康被害にあう動物たちは彷徨います。人間も健康被害を受けることになります。 また山の景観を見ながら日々暮らしている人たちにとっては故郷がなくなるようなものです。是非とも風車を建てるのはやめてもらいたいと思います。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
124	本事業は地元の自然環境を破壊し景観を破壊し容認できない。地球温暖化対策などを名目にしてはいるが実質的には一切貢献していない。本事業の周知度が低く、地元住民の意見が十分に反映されていない。本事業は地域住民が長期間十分に話し合いを重ねたものではない。地熱・小水力等一部再生可能エネルギーには賛成だが、豊かな山中での事業実施は環境破壊を伴い、本末転倒。本事業の騒音、超低周波音、シャドーフリッカー、気流変容、土砂災害、河川汚濁などで、クマなどの野生動物の里山進出などが増える可能性がある。世界遺産である大湯環状列石の景観を損なう。 鹿角市の再生可能エネルギーによる電力自給率はすでに300%を超えており、20年間の発電で得られる地元へのメリットよりも、自然環境の改変とその影響によるデメリットが大きい。本事業計画に反対する。森の活用方法やエネルギー自給のあり方をじっくり時間をかけ決めていくべきでありスピードがあまりにも速すぎる。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も丁寧に行ってまいります。 事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
125	暴風または落雷などで故障、倒壊のリスクについてどうするのか不安です。監視員が常駐するとも思えないので倒壊、火災、羽根部分の飛散など大きな災害になりやすいものを簡単に受け入れる事はできません。まだマグナス式風力発電の方が良いのではと愚考しています。 我が家の場合、2キロ離れた場所に建てられる予定のようですが、恥ずかしながらこのビラで知る事ができました。 知らない内に秘密裏で決まってしまうように思えて気味が悪いです。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
126	まずはそこに暮らす人々の声をよく聞いて協議してください。また、山の大規模な破壊で、そこに暮らすクマの居場所と食べ物に更に減ってしまうと、もっと人里に降りてくるのは明らかで、人身事故が増えかねません。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
127	本当に、それを作る必要があるのでしょうか？大規模に野山を取り壊さなければいけない風力発電を作ってもしなければいけないのでしょうか？取り壊した自然はもとに戻らず、とりかえしがつかないことになると思います。野山は、人間だけのものではありません。目先の必要性だけで、考えてほしくありません。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
128	鹿角市での大型風力発電事業に反対します。再エネと言いながらわずか数十年の発電のためにこのような天恵の環境を破壊していいものなのでしょうか？ 完璧な自然から受ける恩恵を無視して破壊したものを復元できる科学を私たちは持っていません。 数十年後ゴミとなった風車と水源を切られて枯れた山を元に戻すには数百年単位の時間とそこに生息していた動植物の存在が必要です。しかしその動植物らも開発によって絶滅する危険が大いにあります。 米大統領トランプ氏も、”風力発電や太陽光発電はやめる。なぜなら土地の価値を下げるし、環境負荷を減らす効果もほとんどない。動物も死ぬからだ。”と発言し、ニューヨーク州洋上の風車発電施設の建設中止を命令しました。 一部の目先の利権に踊らされた挙句の失敗例が世界で明らかになってきつつあります。取り返しのつかない判断のつけを未来のその土地に住む方々が負わせられませんかようにと願います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
129	環境破壊を続けてしまったら行く末不安しか有りません。どうか未来の子供達に今の日本を残して欲しいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
130	バードストライクで鳥が死ぬのは嫌だし、土砂崩れも怖いし、もし健康被害が起きて家族で暮らせなくなったら困るので風力発電の風車を建てないでください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、ご指摘の鳥類への影響については、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。 ご指摘の風車による騒音と低周波音による健康被害について、環境省が平成29年5月に公開した「風力発電施設から発生する騒音に関する指針について」によると、「これまでに国内外で得られた研究結果を踏まえると、風力発電施設から発生する騒音が人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。また、風力発電施設から発生する超低周波音・低周波音と健康影響については、明らかな関連を示す知見は確認できない。ただし、風力発電施設から発生する騒音に含まれる振幅変調音や純音性成分等は、わずらわしさ（アノイアンス）を増加させる傾向がある。」とされており、弊社として

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		は当該指針の考えに基づき、残留騒音からの増加分を一定レベル以下に抑えることが重要と考えています。
131	一部の人の儲けのために、自然をいとも簡単に破壊する事業に反対します。一度壊された自然は戻らないどころか、連鎖的に地域に多くの障害をもたらします。遂行されるならば、自然を破壊した事業として、半永久的に語り継ぐ必要があると思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。一方でご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要と考えていますので、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
132	現在、私たちが生きていくためのエネルギーは十分間に合っていると思います。この事業は、青森県、秋田県、岩手県の北東北の森やがて日本列島全体に大きな影響を与えてしまうことは予測できます。すぐに中止、撤退を望みます。 人間のまず上には熊、鹿などの野生の鳥獣が住んでいることをどうぞ忘れないで欲しいです。今後私たちが自然にやさしい生活ができ、豊かな森をつくること、守ることを優先に考えて頂きたいという強い思いです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。一方でご指摘のような自然環境への影響も考慮が必要と考えていますので、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
133	将来の子供たち、日本のために自然破壊をやめてください！	ご意見ありがとうございます。 事業開発の初期段階であり、賛成、反対含めて様々なご意見を頂戴しておりますが、地域からのご理解を得られるよう、取り組んでまいります。
134	税金が払えない、管理が大変という所有者の方の状況もわかりますが、緑が豊かな土地を個人の事情で壊してしまうのは疑問を持ちます。自然のサイクルを壊してしまうのはこれからの未来にとっても良い事とは思えません。国や自治体からの自然保護がもっと活発になる事を願っております。	ご意見ありがとうございます。 事業開発の初期段階であり、賛成、反対含めて様々なご意見を頂戴しておりますが、地域からのご理解を得られるよう、取り組んでまいります。
135	建設は必要ないと思います。大前提として、鹿角市の電気自給率が 300%とも 380%ともいわれている状況下で、新たな風力発電を建設する意図が不明瞭です。鹿角市民が求めているのですか、外部に供給するのですか。先人や共生する動植物が守ってきた風光明媚な景観を損なうことはもとより、人口が減っていつている中で新たな開発をすることが人間が目指す未来、人類に与えられた役割とは思えません。 すでに与えられている恩恵を維持存続しようという方を重要視せず、充足しているものを顧みず、それで新たなエネルギーが必要ですか。脱炭素化ですか。国が求めているからですか。 過去の開発が老朽化したら次々と他の土地を切り開いていいのですか。黙認することができない低周波の影響は、どうお考えでどう回避するのですか。なんだか生物が育たなくなったね、鳥が動物の数が減ったね、人口減ったね・・・で終わりですか。鹿角市の一端の開発の影響は、設置範囲に限定されるものではありません。 意見書には「調査中です」や「検討します」、「ガイドラインに則り実施します」という言葉が並んでいますが、全ての質疑への回答を用意し、各種法令やガイドラインに沿ったゾーニングで開発が実施されたとして、一端の環境破壊が近隣だけではなく生態系全体の調和を乱し、その再生には壮大な時間を要することはどこを見ても明確です。希少種の生存を確認しておきながら、人間に	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	は今これが必要なのでどけるという種差別的で傲りのある行為は懸命とは思えません。 開発という自然への新たな介入よりも、与えられているものを生態系のバランスと調和して循環して成り立っているモデルシティとして鹿角市が先陣をきってくれることが、大湯をはじめたくさんの文化遺産や自然遺産に育まれてきた鹿角市の役割かと思います。	
136	東北地方の山々は遠く離れた者にとっても、最後に残された大自然の聖地です。今回、鹿角市の方での風力発電事業計画を知り、そこに棲む多種多様な動植物にとって大きな生息地破壊となる事を大変危惧しております。再生エネルギーの為に大自然を破壊しては本末転倒です。一度壊したら二度と元には戻せません。今最も求められる事は、今有る大自然を保全することだと思います。 近年、鹿角市の方ではクマが出て来て人身事故が起こり、大量のクマ捕殺がされてるとの事。クマが昔のように安心して奥山で棲めるように、これ以上人の手が入らないよう保全して欲しいです。 その事が結果的には水源の森として人々に恩恵をもたらす事になり、そこを破壊して、風力発電事業を行うべきではありません。計画の白紙撤回を強く求めます。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域についての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
137	イヌワシ、クマタカが生きる自然豊かな森を壊すことはやめてください。水源の森を破壊することは、人間を含めて全ての生き物の生存を脅かします。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の猛禽類に関しては、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
138	秋田県は陸上海上風力発電に関し無計画である。送電網においても出力抑制の懸念が生じる。絶滅危惧種の猛禽類や渡り鳥に甚大な影響がある。また、落雷や不具合等で出火すれば大規模な森林火災で環境破壊を起こす恐れがある。風車が回れば乾燥が進み一段と燃えやすくなってしまう。再エネが増えれば賦課金も課せられ電気料金も値上げされる。ここ10年、再エネが増えても地球のCO2は右肩上がりです。下がる傾向にない。危険と無駄でしかない。利権でしかない風力発電は地球にはいらない！！！！	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
139	山を切り崩してしまう事で失われる自然、今までのちを育み続けてきた大自然の営みを、取り壊してまで、本当にこの風力発電が必要なのか？策が尽きるほど対話して、それでも風力発電がないと生きられないほど必要なのか？山を切り崩して失うものの大きさを、切り崩してしまったらもう元には戻らないことを、未来に負の遺産を引き継ぐ選択をするのか？ それとも、先人たちが残してくれた大自然という遺産のバトンを引き継ぐのか？安易な目先の利便性だけではなく、本当に大切なことに、しっかり目を向けて、対話してください。 太陽光パネルで切り崩されている山々を、美しいと感じますか？太陽光パネルから得られた利便性は、未来永劫の有益性を生み出していますか？山からいただいた自然の営みから得る恵みを、壊すことが最善の策ですか？ 今、日本が自然豊かな国で在るのは、先人たちが自然と共に生きること、共存の大切さを育んできたから。私たちの世代が、その豊かさを、切り崩す選択をすることが、今本当に必要ですか？	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 未来に誇れる事業となるよう、どのような取り組みができるか検討を進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	未来に残したいもの、本当に繋ぎたいバトンはなんですか？	
140	再エネには賛成だけど、こんな豊かな山中で事業を行うのはあまりにも環境破壊を伴い本末転倒ではないかという意見に同感です。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
141	風力発電を始め、ソーラー発電が、環境を破壊していると常々思っております。一方的に近隣や周りの人達への配慮も意見も聞かずに、私たちの知らない間にどんどんと木が切り倒され、景観や自然の法則に従った生態系を乱す計画がどんどん進んでいるのはとても悲しい状況です。 個人的な利益だけでなく、もっと大きな視野に立ち、もっともっときちんと話し合い、環境保護を優先して進めてほしいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
142	環境、自然破壊に繋がるのでいい事がひとつもない。	ご意見ありがとうございます。 事業開発の初期段階であり、賛成、反対含めて様々なご意見を頂戴しておりますが、地域からのご理解を得られるよう、取り組んでまいります。
143	意見募集の場を設けていただきありがとうございます。 風力発電事業を進めようとしている土地にはやはり沢山の動植物がいるかと思しますので、電気をもっと使いたいからという理由で(他にも理由はあるかもしれませんが)木々を大量に切り、動物の生活も奪うというのは一度考え直した方がいいのではないかと思います。 森林が減る事で土砂災害が起きやすくなったり、山の保水力低下により豪雨の時の洪水リスク増加、雨の降らない日が多い時は渇水リスクの増加が考えられますし、動物の棲み家や食糧が減る事で野生動物が人里に出没する頻度も高くなる可能性も考えられます。 他にも風力発電設備が発する低周波音による健康被害、バードストライクなどの問題もある事からあまりにデメリットが大きいのではないかと思います。 森林を一度無くしてしまうと元に戻るのに非常に長い時間がかかりますし、元に戻らない可能性も考えたら一時の電気よりも今ある自然環境が大切であると思います。 単に電気が足りないというのであれば節電したり、他の発電方法を検討するという事もできるはずですから風力発電事業は中止してもらいたいという思いです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復(緑化植栽等)を行う予定です。
144	鹿角市に旅しに行ったことがある者です。大阪のコンクリートに固まれた町に住む者からすると豊かな自然溢れる宝庫の山だと思います。昨今、北から南までどこに行ってもソーラーパネルと風力発電の光景を見て疑問を感じます。景観を損なうだけではなく、まずは弱い立場の貴重な野鳥、動植物に影響を与え、先々に生命の循環も損なわれて行き、人の健康にも支障をきたすことになると思います。果たして自然を壊して建設する意味があるのでしょうか？イヌワシ、クマタカ等希少猛禽類が生息する秋田県、鹿角という素晴らしい土地、水源地である山々の重要性を知り守って下さい。子孫に残して下さい。海外では気付き始めています。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境、猛禽類を始めとした動植物、景観への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
145	30 年前、登山同好会に入部して日本アルプスの神々しい山々に登頂し、その偉大な自然に包まれて心が震えるような感動を覚えました。ここ数年あまりにも速いスピードでその素晴らしい自然が次々と破壊され、日本が日本でなくなっていくのをこれ以上黙って見てはいられません。鹿角市の再エネによる電力自給率はすでに 300% を超えています。にも関わらずなぜまだ自然を破壊し続ける必要があるのでしょうか？明らかに間違った道を進んでいます。この事業計画には反対です。 地元のことは地元の人が一番よく分かっていますので地元の人の言葉を聞きじっくり話し合って、目先の利益ではなく自然の恩恵をどのように子孫に残すかを考え、森のあり方やエネルギー自給のあり方について決めていくべきだと思います。あまりにも事業者の計画進行スピードが速すぎて不自然であり、不都合な真実が隠されているように思えてなりません。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
146	この計画は誰の為の風力発電でしょうか？誰が先ず始めに考えたのでしょうか？その方々はこの事業で「みんなの幸せ」をイメージしたのでしょうか？自分達の使命だと、心が昂ったのでしょうか？まさか住民達に永久的な電力補給が出来る！なんて、妄想はございませんよね？まさかこの事業で莫大な利害が一部の方々に渡されるなんてそんな愚かさはあり得ませんよねこの時代に於いて。わたしは関西の便利さを確かにいただいて暮らしています。けれど！けれど！上沼の豊かな自然のちからは、わたしのいのちを守ってくれています。わたしのいのちも、上沼の豊かさと繋がっています。わたしの心とからだが生きる歓びをくださっている、上沼の自然界のいきもの達を絶滅させることは、貴方に与えられていません。この事業にかかわった方々は、この愚かさをやがて、身をもって知ること体験することになると思います。 わたしは宗教家でもありません！思想家でもありません！保育の現場で未来の子どもたちと時間を大切にしている者です。 上沼風力発電事業を見直してください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 上沼の豊かな自然を守り、未来につながる事業となるよう、どのような取り組みができるか検討を進めてまいります。
147	もう少し地元の方と話し合い、双方が納得する形で進めたほうが良いのではないかと感じる。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
148	世の中再生エネルギーにシフトしていく傾向は大いに理解出来る。原子力発電よりかは安全であるし、エネルギーを生む原料は自然の力を利用しているからだ。しかし風力発電建設は自然破壊を伴うことと、騒音や周波数が人間に悪影響してしまうことも良く耳にする。地域住民と十分に話し合いの場がないことは非常に残念。 また秋田県は全国 2 位の風力発電でもある。隣の青森県がトップだ。何を競い合っているのかは分からないが、一極集中はリスクが大きいと感じる。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
149	①秋田市には最近熊がよく出ていて、大人も怖いですし、登下校の子供たちの心配があります。風力発電ができれば、秋田市や周辺の地域に熊が移動してくる可能性はないでしょうか？ ②①のこともあるので鹿角市だけではなく秋田県民で話し合うことは必要ないのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	③熊被害が出て補償も大事ですが、失ってしまった身体 の部分や命は戻ってこないです。それが、ご自身の子供 や親族でもこの決断になりますでしょうか？ ④他に代わる案はないのでしょうか？よろしくお願い 致します。	後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最 新の知見を収集してまいります。
150	電力は足りないという事はないと思います。これ以上 熊、動物が住む山を破壊しないで下さい。風力発電は地 下 20 メートルも掘り起こし、尾根まで物資運ぶのに道 端を幅広く破壊する。水源が破壊されてしまいます。 益々熊・猪・鹿などの動物が生きていけなくて街に降り てきて殺されてしまう。風力発電は弱い風では動かな い。強い風では止める。動いてる間は熱を冷ますために 電力を使う。すぐに壊れるし結局は使えてない。そんな 物のために山、水源を破壊しないで下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
151	日本各地、至るところ再エネのために自然破壊が急速に 進んでいて、生態系のバランスが崩れている。動物たち は、餌がなくなり里へと降りてくる。動物が増えたわけ ではない。餌場や、住む場を人間が、奪っているのです。 風力発電から出る音も人体に健康被害出しています。動 物が逃げ出すのも当然です。破壊された自然は、元には 戻りません。豊かな自然あってこそ、人が生きてこれま した。自然破壊進めないで下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
152	大自然とは、このありのまま完璧なのです。配慮した からいいというものではなくて、少しでも壊すと、全て のバランスが崩れる。「熊が出てこまってる」って、秋 田県知事何度もメディアで訴えておられたとおもいま す。親子ぐまを、何匹捕殺しましたか？なのに、また大 規模に熊の棲家を破壊するのですか？そして、また私た ちの税金をつかって、クマを殺すのですか？それは、納 税者として、許せない矛盾です。熊に困っているなら、 クマの棲家を整えることに国税をつかってください。そ れには、喜んで税金を払いますが、こんな、矛盾した、 政策をする政府や地方知事に、私たちの血税を使うこと は納得が行きません。どうぞ、次世代のために、豊かな 水源をまもる活動に、国、地方自治体が、積極的に動い てくださる、そんな政治家、官僚、公務員の方々が私た ち日本の水先案内人でいてくださることを心から願っ ております。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、 計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識し ております。一方で、クマの行動の変化については科学 的に実証されていないことも多いと理解しています。今 後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最 新の知見を収集してまいります。
153	再エネ賦課金なし・独立採算で実施できますか？風力発 電は一切不要です。日本の火力発電技術は世界一です。 火力発電に限らず、日本は世界を良くできるたくさんの 技術を持っています。日本を減ぼそうとする方に舵を切 らず、日本が世界を救う方に舵を切ってはいかがでしょ うか。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としております。 再生可能エネルギー導入を通じて地域に対してどのよ うな貢献ができるか引き続き検討を進めてまいります。
154	風車の騒音により熊が凶暴になったとされる研究も聞 いた事があり、熊が里に降りてくるのは明らかだと思い ます。田代平の風車群がいい例です。秋田には洋上風力 発電があるのに、わざわざ山を削ってまで作る必要は無 いはずです。山菜が採れなくなるのも困ります。再エネ 賦課金も上がって電気代も高くなるでしょうね。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、 計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識し ております。一方で、クマの行動の変化については科学 的に実証されていないことも多いと理解しています。今 後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最 新の知見を収集してまいります。
155	10 年 20 年の小さなビジョンで山を切り崩さないで欲し い。景観や一度壊してしまった水源地環境や山を元に戻 すことができるのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
156	日本の自然と生態系を守る活動。どうぞよろしくお願い致します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
157	壊れた自然は、元には戻りません。自然破壊という、持続可能な開発がなぜ進められるのでしょうか。目を覚ましてほしいです。また、巨大な風力発電が倒れた場合、それは巨大なゴミとなります。どこがエコなのでしょう。北海道の風力発電による健康被害をご存知でしょうか。そちらもまたとても残念なことに、健康よりも人間の身勝手な自分の利権だけを求め、事業が進められてしまっています。勇気をもって、計画をとめてほしいと思います。	ご意見ありがとうございます。 事業開発の初期段階であり、賛成、反対含めて様々なご意見を頂戴しておりますが、地域からのご理解を得られるよう、取り組んでまいります。
158	鹿角市での風力発電事業について、地元で暮らす一主婦として不安を感じています。山が壊されることで、熊が里に降りてくるようになるのではないかと心配です。私たちのような田舎の暮らしは、自然とともに成り立っていますが、それが脅かされるような開発にはとても抵抗を感じます。小さな子どもやお年寄りも多い地域です。安心して外を歩ける暮らしがなくなってしまうようなことは、どうか避けていただきたいです。地域の声を大事にして、慎重に進めていただけるようお願いしています。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
159	再エネには賛成だけど、こんな豊かな山中で事業を行うのはあまりにも環境破壊を伴い本末転倒ではないか。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
160	・市街地からの景観が破壊されるのはイヤだ。 ・超低周波による健康被害が心配だ。 ・渡り鳥のバードストライクが心配だ。 ・鹿角市の水源の森を破壊する計画には賛成できない。 ・県外の人間だが、鹿角市民のことを考えるとやるせない。 ・地元住民の意見を反映してください。 ・これってみんなで話し合って決めたんですか？ ・再エネには賛成だけど、こんな豊かな山中で事業を行うのはあまりにも環境破壊を伴い本末転倒ではないか。 ・もっと里にクマがおりてくるのでは。 ・世界遺産である大湯環状列石の景観を損ねるのでは。 ・鹿角市の再エネによる電力自給率はすでに300%を超えており、たかだか20年間の発電で得られる地元のメリットよりも事業を通して受けることになる自然環境の改変とその影響によるデメリットがあまりにも大きいと感じます。この事業計画には反対です。 ・もっと時間をかけて地元の人同士じっくり話し合っ てこれからの森の活用方法やエネルギー自給のあり 方を決めていきたい。あまりにも事業者の計画進行ス ピーが速すぎると思う。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も適切な対応をしてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	・工事の際に重機が入って豊かな生態系を壊すのが心配だ。 ・森は海とつながっていて漁業にまでも影響を及ぼします。 ・一度壊してしまった自然環境を元に戻すのは何年もかかると思います。 ・水を汚してしまったらなかなかきれいな水には戻せない。 ・この工事が決行されることによって山の保水力が無くなり災害が起きることは目に見えていると思う。そうになったら人災。その責任を取れるのか伺いたい。	
161	わざわざこんな風車作らなくてもいいだろう。ビジネスの為というのであれば、別な手段があるだろう。何も大切な自然を壊す必要がどこにある？	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
162	風力発電は、土地の開発の問題だけでなく、飛んでいる鳥への影響だけでなく、音が聞こえる聞こえないだけの問題ではなく、その振動や周波数まで生態系に広く影響します。再考をお願い致します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、ご指摘の動物への影響等については、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
163	1、地域住民や地元自治体へ、本事業が引き起こす自然破壊をもってしても本事業を行う価値があるのかどうかを説明すること。地域住民だけの問題ではないため、全国民を対象にした説明会を開くこと。 2、生態系を含む自然破壊への影響について、事業者と利害関係のない複数の機関または個人によって調査・評価が行われること。 3、計画通りに事業が行われる場合、想定しうる災害や事故が、事業者と利害関係のない複数の機関または個人によって想定され公表されること。被害に対する補償金を事業者が施工前に都道府県に対し担保すること。原因或いは時期を問わず使われなくなった資材が生じた場合の処理方法を明記し、処理に関わる想定される費用額を事業者は施工前に都道府県に預けること。 4、何よりも、労力や時間、経済的負担を要する調査をするまでもなく、明らかな大自然破壊に間違いのないため、本事業計画を中止すること	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
164	風力発電施設の建設が、単に建設予定地だけの森林破壊に留まらず、資材調達のための広範囲な森林破壊につながる可能性があると感じます。特に、風力発電のブレードに使用されるバルサ材の需要増加が、アマゾン熱帯雨林の違法伐採を助長している事例は、再生可能エネルギー導入における倫理的な課題を地球規模レベルで残すことになっていることをご承知でしょうか。 山岳地域の森林は、水循環において重要な役割を果たしています。森林が伐採されると、蒸発散量が減少し、地域や広範囲の降雨パターンに変化が生じ、干ばつや洪水の原因となる可能性があります。また、森林の保水力が低下することで、雨水が地中に浸透しにくくなり、地表を急速に流れ出すため、洪水のリスクが増大します。森林破壊による土壌浸食は、河川や湖沼への土砂流入を増加させ、水質を悪化させることへつながります。山の切	ご意見ありがとうございます。 アマゾンの熱帯雨林が伐採される主な理由は、農地や牧草地への転用、木材や燃料の採取、鉱物採掘、大規模農業開発、道路建設などによる開発圧力が挙げられます。特に、牛肉や大豆などの食料品需要の高まりに伴い、大規模な農地を確保するために森林が伐採される傾向が強いといわれています。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	り拓きは河川や湖沼だけにとどめられず海へも影響がでるのは明らかですので全世界へ通じている海・海洋は、地球上の生命の大部分を占める広大な生態系であり、その中には、巨大な哺乳類であるクジラから、肉眼では捉えられないほど微細な微生物まで、驚くほど多様な生物が生息しています。わたしたちの生活への影響も大きいであろうことが懸念されるため、現状の建設計画のままに進めることはリスクを軽視している状態にあると感じます。 建設計画をゼロにして1から練り直し、政治的癒着のない観点から見直しを図るよう要望いたします。	
165	再生エネルギーは必要であると思いますが、それは大規模な事業のものではなく、地元主体の送電ロスの少ない方法であるべきだと思います。また大型の風力発電による猛禽類への影響を始め、工事による山の生態系の破壊が起こります。耐用年数も短く、壊れやすい、なおしにくいとも聞きます。 以上のことなど、もっと地域の皆さんとの話し合いが必須です。事業者の計画のスピードが速すぎることに疑問を感じています。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
166	生態系への悪影響、低周波数による健康被害が心配です。自然を壊してほしくない。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の動物、低周波については、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 風車による騒音と低周波音による健康被害について、環境省が平成29年5月に公開した「風力発電施設から発生する騒音に関する指針について」によると、「これまでに国内外で得られた研究結果を踏まえると、風力発電施設から発生する騒音が人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。また、風力発電施設から発生する超低周波音・低周波音と健康影響については、明らかな関連を示す知見は確認できない。ただし、風力発電施設から発生する騒音に含まれる振幅変調音や純音性成分等は、わずらわしさ（アノイアンス）を増加させる傾向がある。」とされており、弊社としては当該指針の考えに基づき、残留騒音からの増加分を一定レベル以下に抑えることが重要と考えています。
167	自然と景観の魅力は、地方における暮らしの醍醐味である。それらを損ねる開発事業により人口減少の進む地域に残された、ひとの心や感情に訴える力、幸福感に繋がる要因を奪うことになる。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
168	原発もそうですが、電気の生産地と消費地があまりに遠い。非化石燃料による発電は大賛成です。しかしなぜ豊かな自然が残っている場所に建設するのか。このような金属や樹脂、コンクリートでできた人工物をいったん造ると、元の自然は再生するのに何百年もかかる。すでに自然がほとんど残っていない仙台や東京など大都市の近くに造れば、もともとかけがえのない自然がとくに破壊されているので、まだましです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
169	母が秋田の大曲出身なので、東京在住ですが、意見を書かせていただきます。前提、私は反対です ①環境問題について ・原生林や生態系の破壊になること ・万が一風車が破損した場合、有害物質が土壌に漏れ出して、土壌を汚染する可能性はないのか？（ソーラーパ	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご質問いただいた内容のうち、有害物質については土質調査を行います。ただし、風車の音による動物への行動の影響に関しては、科学的に実証されていないことも多

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	ネルはカドミウムなどの物質が、、、という話をよく聞きます) ②健康被害 ・風車の振動や騒音、低周波などにより、生態系や人体への影響があるのではないか。(風車病など)	いと理解しています。今後、専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。 ご指摘の風車による騒音と低周波音による健康被害について、環境省が平成 29 年 5 月に公開した「風力発電施設から発生する騒音に関する指針について」によると、「これまでに国内外で得られた研究結果を踏まえると、風力発電施設から発生する騒音が人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。また、風力発電施設から発生する超低周波音・低周波音と健康影響については、明らかな関連を示す知見は確認できない。ただし、風力発電施設から発生する騒音に含まれる振幅変調音や純音性成分等は、わずらわしさ(アノイアンス)を増加させる傾向がある。」とされており、弊社としては当該指針の考えに基づき、残留騒音からの増加分を一定レベル以下に抑えることが重要と考えています。
170	秋田出身(旧：雄和町)で現在は結婚して千葉県海の町の町で、自然体験ツアーのガイドをしています。東北の自然には、こちらの関東圏にはない「奥山」とも言える存在感ある深淵な自然があります。山が変わるということは、そこにある水が変わるということ。近年、秋田ではハタハタが激減しているとのことですが、それは山一川一海という一連の流れの中で、山から供給される栄養素が少なくなったことも少なからず関係しているのではないのでしょうか。千葉でも近年、年を追うごとに海では海藻が少なくなり、反比例するように貝類や魚類の多様性が失われてきています。温暖化プラス人間の開発による水の変化が、その場所だけにとどまらない流域全体へ及ぼす影響をとっても懸念しています。1992 年にブラジルの「地球サミット」でセヴァン＝スズキの伝説のスピーチを聞いて、私は地球環境問題への一つの解決策というより「していけないこと」を学びました。「大人のみなさん、どうやって直すのかわからないものを、壊し続けるのはもうやめてください。」何万年の歳月をかけて作られた源流の森、いったん壊してしまったら、人間はどうやって直すのでしょうか？その答えがわからないことは、本当にやめていただきたいです。切にお願いいたします。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
171	秋田の美観が損なわれます。人間は自然の中の一部であって、自然の中で生かされていることにまずは感謝だと思います。動物と自然と人間は調和して共存することではないのでしょうか。住民からの風力発電に伴う健康被害に対してデータが出ているにもかかわらずその声を無視して風力発電計画を推し進めるその裏には利権が絡んでいるのでしょうか。 一度環境が破壊されたら元には戻せません。人間の浅はかな欲で熊達の居場所や自然界の生態を狂わせることは犯罪です。環境保全と環境破壊の意味をもう一度お考えください。 風力発電が再生エネルギーで、あることの根拠を住民にわかりやすく説明してください。住民は納得できないものは進めないでください。秋田から自然も米も奪われたら何も残りません。よって風力発電計画には断固反対いたします。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
172	建設現場となる場所は、秋田県でも特に自然豊かで、イヌワシなど希少生物が多く生存する場所であり、そして水源の森でもあります。このような場所を大規模に破壊する施設を設置することは、住民にとっても生活面、防災面でもマイナスでしかありません。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	もしメリットがあるならば、住民が納得できるように丁寧な説明をすべきだと思います。鹿角の貴重な自然を破壊することは絶対に反対です。	今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
173	大切な日本の宝である自然を壊さないで！！	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、適切に対応してまいります。
174	大規模風力発電事業計画を進めたら、熊などの野生動物の住む場所が無くなり、もっと人里に下りてくるのではないかと。また、森を削ることで、土砂災害が起こりやすくなるのではないかと。安易に自然を壊さないでほしいです。森を再生するには、相当の時間がかかるそうですので、とても心配です。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
175	鹿角市は美しい自然に恵まれた土地だと思います。夏に花輪ばやしのお祭りを見に行ったことがあります。他にはない独特の祭事で非常に印象に残っています。それが美しい山々を背景とした場所で行なわれているからこそ、一層素晴らしい印象を私達に与えるのだと思いました。その山の美しさとは、単に美しい景色というのではなく、山がそこに住む多くの生き物たち（動物のみならず植物も）の住処になり彼らを包み込んで守っていること、これにもあるのではないのでしょうか。巨大風車の建設は多くのものを傷つけ失わせるのではないかと危惧しています。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
176	秋田県内には年々風力発電が建てられ、自然の景観が失われています。風力発電の近くに住んでいる方の中には、その振動や音に体調を崩されているとお聞きしたりします。人間だけでなく、音に敏感な野生動物たちはもっとその悪影響を受けている事は明らかだと思います。昨今のクマ被害はその最たるものなのではないのでしょうか？今の子供や孫達に安心した未来を繋げて行く為には、自然環境をそのままに残して行く事こそが大切なプレゼントになるのではと考えます。風力発電の建設の取り止めに希望致します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
177	大切なみんなの宝物の青垣山に人工物で手を加えて欲しくありません。失ってからでは取り返しのつかない事になります。お金儲けならもっと他の方法でやって欲しいです。	ご意見ありがとうございます。 指摘いただいた青垣山の眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。また、地域住民等の皆さまに対し十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
178	低周波と電磁波で、動物も人間もヤラれてしまい、環境は根底から破壊されてしまうでしょう。そんな未来を子どもたちに手渡すわけにはいきません。風力発電会社が作っている、イメージアップの動画にだまされてはいけません。一部の人間の利益のために、自然が取り返しのつかないことになる前に、みんなで、自然環境を守り育てることが、今、いちばん大切と考えます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
179	鹿角市での大規模風力発電事業について、反対の意見を表明します。私は、風車建設によって山が壊されることで、熊などの野生動物の生息環境が変わり、人里への出没が増えることを強く心配しています。特に近年は、各	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	地で人身被害の報道も増えており、安全面への不安はとても大きいです。 地域の暮らしと命を守るためにも、このような開発は慎重に判断すべきだと考えます。	ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
180	鹿角は昨年、会議で訪れ、私の住む町と似ているなど感じたので、意見いたします。誰のための電力供給か？設置される場所には到底使われる必要のない発電量。そのために人間の利益だけを考えた設置により、森の循環は破壊されないか？森に住む命を無視してまでも人間は電力が必要？誰に売る電力？人口は少なくなるのに電力が膨大に必要ななら、次世代の子ども達の未来には森も海も豊かな営みはなくなるのでは？今、生きる大人が知恵を出して自然環境を変えることなく地方だけに皺寄せない世界を作っていくべきか？	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
181	木を広範囲で伐採し、森の形態を崩すことにより、鹿角市の水源の森を破壊する計画には賛成できません。山や森を一旦破壊すると、800年以上、もしくは、もう2度と元に戻らないと有識者から聞いています。日本の自然を破壊する行為は、いくら再生エネルギーといっても、結果一過性のものとなります。再生エネルギーと言いつつも、森や自然を再生できる活動ではないため反対します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
182	もう人間中心の開発をやめましょう。今だけの事を考えるのでは無くて 100 年後の日本の自然環境を考えましょう。地球は今の私たちが未来の人たちに渡す義務があるんです。未来の次世代の人たちのものなんです。今の私たちのものではないのです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
183	悲しくて涙がでます。いつから私たちはこんな無謀なことを思いつくようになったのでしょうか。エネルギーとしては頼りにならないような風力発電を、森をなぎ倒してすすめる必要があるのでしょうか。火力発電の方がCO2排出が少ないです。風車病ってご存じですか。税負担を皆に課すことにもなる、何か良いことがあるのでしょうか。ずっと前から先人たちが守り育ててきた自然を破壊し、人にも動植物に悪影響を与える風力発電をたてたら、ご先祖や多くの先人や子孫に顔向けができないのでしょうか。どうか計画の白紙をお願い申し上げます。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施してまいります。
184	山を壊し、環境を壊してまで風力発電を作る計画に反対します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
185	影響の評価の範囲、特に時間軸についての配慮、が必要だと思います。この森の中に生息する命、そこから生み出されるポジティブな影響についてもっと考慮したうえで、慎重な判断をお願いしたいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
186	自然史第3期の自然植生が地球上に唯一残る奥羽山脈。豊かな水源の森は文明の発展には必要不可欠です。1000年も2000年も続く本当の豊かさを子孫に繋いで参りましょう。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
187	一部の人間の利権の為に大切な自然を壊す事に反対です。自然を壊すから熊をはじめ山に住んでいる動物達の住む場所が奪われます。そうして街に出て来た熊は殺されていきます。人間が壊したのに熊が殺されます。風力発電による電磁波の影響で山に住む動植物に影響もありますし、山を開拓し山の環境も悪くなります。風力発電の機械を作る、壊れたら直す、破棄する時に膨大なお金が掛かりますし処理は安全にできるのでしょうか？ 百害あって一利なしだと思います。断固反対です。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域についての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
188	自然破壊を進めることになるので反対です。ぜひ見直しを検討してください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
189	秋田市や能代市の会場や十和田湖の周りの人がいない所ならわかるが、市街地でやるのはどうかと思う。クマも生息しているので、工事関係者の人身被害も懸念される。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域についての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
190	近頃、サキガケの記事になっている「管理ゾーン(対熊の)」とのからみはどうなっているのか。 もしかしてゾーンの設置を害することにならないか。	秋田県は「第2種特定鳥獣管理計画(第6次ツキノワグマ)」(2025～29年度)の一環として、クマのゾーニング管理においては、健全なクマ個体群の維持を担保するうえで重要な奥山等の地域を「コア生息地域」、人が日常生活の中で利用する住宅地や農地など、クマの侵入を許さない地域を「防除・排除地域」、両者の間を「緩衝地域」と区分することとしています。加えて、緩衝地域のうち、特にそこにクマが定着・増加することで出没や人身被害が多発するリスクが高いと考えられるエリア(人口密度の高い市街地と距離が近いエリア等)については、対策を重点的に行うエリアとして「管理強化ゾーン」と区分しています。「管理強化ゾーン」は、クマの出没状況や地形、人の土地利用等、地域ごとの詳細な状況を踏まえなければ配置が難しいことから、市町村が主体となり、地域住民等と合意形成を図りながら設定できることとしています。 これらのことから、本事業の対象事業実施区域は「特にそこにクマが定着・増加することで出没や人身被害が多発するリスクが高いと考えられるエリア」ではないことから、ゾーンの設定に影響はないものと考えております。
191	設置にあたり、不安なことが沢山あります。 ・海よりも風のない山になぜ立てる意味があるのか？	ご意見ありがとうございます。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		対象事業実施区域においては、風況調査を実施しており、良好な風が吹くことを確認しております。
	・風車の出す電磁波の影響がある。多大な被害。	送電線や変電所などの電力設備のほか、身のまわりの家電製品（電気カーペット等）からも 50Hz または 60Hz の電磁界が発生していますが、これらの磁界の強さは、いずれも電力設備を対象とした日本の規制値に比べて十分に低い値であることがわかっています。経済産業省の電磁界と健康に関するパンフレットも参照ください。 (https://www.meti.go.jp/policy/safety_security/industrial_safety/sangyo/electric/files/denjikai_pamphlet.pdf)
	・山を切りひらいたことによる熊やいのしし等の出現増加。 ・生態系が壊される。してはならない事。人間だけの地球ではない。 ・景色の異常。国立公園として守るべき景観。	本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。
	・何十年後に使用済みの風車が巨大ごみになる恐ろしさ。	風力発電機の撤去費用については積み立てを行う予定であり、適切に撤去する予定です。
	・雇用促進につながらない事業の意味はない。	本事業の実施に伴う地元への経済効果としては、税収増の他、建設期間および運転期間中の地元雇用の創出が見込まれます。
	・市民に説明が不足している中で進める事業に歯止めをかけたい。 以上ですが、他にも書ききれない憤りを感じています。市民が電気に不足しておらず、自然豊かな景観や歴史的名所があり、おいしい山水やおだやかな暮らしを望み、鹿角に誇りを持っています。	今後の検討にあたっては、関係機関等と調整の上、地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 なお、これまでに事業計画のご説明は、「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法」（主に周辺地域の住民対象）に基づく説明会、「環境影響評価法」に基づく説明会、鹿角市主催の説明会の他、事業計画地周辺の自治会の総会等において実施しています。 また、鹿角市の観光において重要な位置づけにある世界文化遺産の大湯環状列石への事業の影響については、事業者としても重要な事項であると認識しています。今後、景観に関する影響評価を行うとともに、世界遺産の価値への本事業への影響を客観的に影響評価する必要があります。関係機関と協議を行い、世界遺産への影響についても回避又は低減するよう努めてまいります。
192	鹿角の宝である、大湯環状列石、北東北の縄文遺跡群の風景にふさわしくないとします。自然破壊、健康被害を心配しています。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も適切な対応をしてまいります。
193	山に余計なものを作らないでいただきたい。木や土からでる養分で川の栄養が豊かになり、最後に海へ流れてゆく。何のために植林していると思っているのか？	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。一方でご指摘のような自然環境

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		への影響も考慮が必要と考えております。今後、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
194	環境に甚大な影響を与える乱開発で生物種の絶滅が続いています。森は命を育む場所です。希少猛禽類や奥山に棲む熊を守ることは、私たち人間が生き続けるためにもとても大切なことです。保安林は、森の保全と自然災害を防止するために指定されてきました。保安林解除が前提となっている鹿角市の大規模風力発電所計画を許してはなりません。計画の撤回を強く求めます。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域についての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
195	・そもそも山の自然を崩してまでの風力発電を住民の方々が望む事なのか、またその影響を議論して頂きたい。 ・世界遺産・大湯環状列石の景観を損ねるおそれは無いのかを熟慮して頂きたい ・昨今の風力発電開発による環境破壊に伴った水害土砂災害の被害が多数散見され問題になってきている事をよく認識して頂きたい。 ・鹿角市の再エネによる電力自給率は300%を超えていると聞けが、それでも尚開発が必要なのかを論議して頂きたい。 ・事業者の早急すぎる計画には応じずに地元民とじっくり話し合って、納得の上で結論を出してほしい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。 地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も適切な対応をしてまいります。
196	風力は生態系の育成に大きくかかわっており、巨大な風車で発電に用いることにより、本来必要な大気の循環が大きく損なわれることは環境保全にとって甚大なリスクがある。よって風力発電設置に反対する。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
197	山の尾根を崩して立てる風力発電には百害あって一利なしです。耐用年数も20年と短く環境破壊をするだけで全く自然環境に優しくありません。低周波問題で森の動物たちも里山へと逃げ降りてきます。くま問題も悪化してしまいます。さらに風力発電はバックアップ電源を作らなければ機能せず環境に優しくありません。さらに、作られた電力は関東へと送電され、送電によるロスも大きく、東北民にとって何のメリットもありません。山を切り開いて作る太陽光発電と風力発電には断固反対です。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
198	環境破壊、動物に影響はないか心配。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の動物を始めとしたさまざまな項目に関しては、環境影響評価を通じて環境影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
199	写真見ました。美しい山々、この、自然を守らないと日本人じゃない、と思います。2度と元に戻すことの出来ない山、地球を守るのは、今、生きている私達の役目です。破壊しないで下さい。自然、野生動物の共生、共存は私達の命の源です。遺伝子に組み込まれたヒト、未来にも続きますように。	ご意見ありがとうございます。 事業開発の初期段階であり、賛成、反対含めて様々なご意見を頂戴しておりますが、地域からのご理解を得られるよう、取り組んでまいります。
200	もうこれ以上山を切り崩さないでほしいです。動植物守らないと私たちの暮らしにも影響します。水源の確保、環境破壊による土砂災害など秋田は人工林率が高く再	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	エネ事業は十分であると思います。由利本荘市では健康被害を訴えている方も多くそこで暮らす人たちのためにも必要がないと思います。	我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
201	生態系が必ず壊れます。風車を動かす外部電力が必要なら風車の意味って何でしょうか？日本ではまだ作れないので海外から輸入になりますよね。何か不具合出た時すぐ対応出来るのでしょうか？裁判になってる所もありますね。風車の音も近くに住んでる動物たちは聞こえますよね。山を切って動物が山から降りて来たら殺すんですよね。人間がしたことなのに自分勝手過ぎます。あちこち乱立してます。迷惑です。再エネって全くエコではない。日本の狭い国土で自然破壊しないで下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
202	自然破壊反対	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、適切に対応してまいります。
203	この事業計画に反対です。豊かな自然環境を保全していくためには、要らない事はしないこと。この計画は、ただの人間のエゴの為す勘違いであることを認識する必要があります。取り返しのつかない行為であり、計画を実行してはなりません。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
204	調和のとれた美しい自然を壊さないでください。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、適切に対応してまいります。
205	大規模風力発電事業計画に反対です。昨年の、一般の意見の概要及び事業者の意見を拝見しました。一般の意見には、開発によっておきる災害、つまり、この事業自身が人の命を奪いかねない可能性が十分にあると、述べています。 事業者の見解、の中の最新の知見、専門家、関係者、とありました。そして、一般の意見に対しての事業者の見解は、全て馬耳東風であり、このまま事業が進めば、今後も土砂災害などによる被害をより多くしてゆくことは確実です。 災害による国土の崩壊、そして人命をこれ以上無駄に奪われるようなことがないよう、その専門家の中に、此方から推薦する専門家、そしてその方々の知見を入れていただきたいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
206	自然に寄り添い、最低限の暮らしを見直すことで発電施設の建設の見直しをしてほしいと考えます。	ご意見ありがとうございます。 事業開発の初期段階であり、賛成、反対含めて様々なご意見を頂戴しておりますが、地域からのご理解を得られるよう、取り組んでまいります。
207	この地域に、風力発電を作る事は反対です。世界遺産の景観への配慮は考えてますでしょうか？動植物への安全性は大丈夫でしょうか？もっと市民と対話して進めるべきだと思います。検討をお願いします。 2～30年ではなく100年、200年と先の未来の事は考えましょうか？企業がこの地域に与える影響力、責任を真剣に考えていただきたいと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットと

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		デメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 また、地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も丁寧に行ってまいります。
208	水源を再起不能にする、風車建設反対。太古の昔から人は動物と共存で生きてきてます。風車により動物も被害にあってます。どうか、人間の私利私欲のためだけの開発はやめて、動物との共存の道へ立ち戻り、人としてどうあるべきかを考えていただきたい。よろしくお願いします。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
209	事業者の方々へ。大切な山の水源地を開発して、なにか良いことがひとつでもありますか？山に行ってみて、よく考えてみてほしいです。こんなかんじで大丈夫だべかな。私は毎年、鹿角の桜を見て喜ばせてもらっています。よろしくお願いします。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
210	景観、環境保全、地域住民への利益還元の様々な視点から考えて本事業に反対です。200メートル、22基もの風車を立てるということはそれだけ深く掘削が必要となり、水脈や生態系に与える影響はとても甚大です。地震などの災害時、豪雨の時などを考えると倒壊や土砂崩れなど、風車建設によって被害がより大きくなる可能性が考えられます。近年特に野生動物が人の住居圏に出没し、農作物や住居、人命への被害も出ています。こちらへの影響も考えられます。このような大きな計画の実施は、じっくりと地域住民と話し合う必要があります。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
211	秋田は人口減少が止まらない地域です。だからこそ目先のお金ではなく長い目を持って環境保全していくことが大切だと思います。この事業は真反対でありこれによって若者が戻ってくるのでしょうか？戻らないと思います。視点をぜひ変えてほしいと思います。	ご意見ありがとうございます。 事業開発の初期段階であり、賛成、反対含めて様々なご意見を頂戴しておりますが、地域からのご理解を得られるよう、取り組んでまいります。
212	上沼風力発電について十分な周知がなされているのでしょうか？鹿角の発電力を生かしたものであること、経済的効果があること以外にも、環境がどう変容していくのか、どのような経済的支出があるのか、今ある鹿角の豊かな土地を壊してまでする必要があるのかを市民は理解・賛同しているのでしょうか。豊かだった土地は一度壊してしまったらどのように再生するのでしょうか失ってしまったものを取り戻すことはそう簡単ではないと思います。今あるものを壊し、崩してまでやる意味があるのか、あるならば納得が得られるまで働きかける必要があるでしょう。理解・賛同がないまま押し進めるのは果たして正しいのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
213	啄木が「鹿角の国を憶ふ歌」に詠じてるように鹿角の自然は市民にとって素晴らしい宝である。なかでも大湯環状列石は長年の市民の働きかけによりやっと世界遺産登録がされた鹿角の貴重な遺産である。そこに風力発電が建設されることにより自然景観が損なわれ、結果世界遺産登録取り消しに繋がる。このような事態は避けなければならない。鹿角の自然の素晴らしさを後世に伝えていくためにも青垣山の自然景観保全は市民の責務と考える。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、指摘いただいた青垣山の眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も適切な対応をまいります。
214	鹿角は再エネの宝庫、電力は余っていると聞いています。なのになぜこの自然豊かな景観を風力発電で壊してまでやらなければならないのかと思います。そして世界遺産である大湯環状列石もしかり取り消される可能性もあるのではないのでしょうか。この事業は反対です。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も適切な対応をまいります。
215	昨年のち進められている事業計画についてほとんどの市民が知らないうちに計画がどんどん進んでいるようで驚いています。工事関係の一時的利益のために貴重な鹿角を取り囲む山脈を破壊してしまうことは許されません。再エネの自給率が300%を超える鹿角にあって、たかだか20年間の発電のメリットよりもいったん壊してしまうと元に戻せない自然環境のデメリットの方が大きいと思います。“青垣山”と親しまれてきたこの景観を是非後世に残すためにも、今回のこの計画は断固反対します。	ご意見ありがとうございます。 指摘いただいた青垣山の眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。また、地域住民等の皆さまに対し十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
216	上沼風力発電がどんなモノであるか、地元の人は知りません。どのような工事をしてどのように風車を建てるのか、もっと周知して地元の人々の意見を聞くべきだと思います。 この自然豊かな土地を開発して風車を建てたとして、今回の予定の25基が20年で劣化した後、どうするのですか？新たに別の場所に建てるのですか？例えば役目が終わった風車を取り壊すとしたらどれだけの経費をかけるのですか？そこまでの責任は負わないのでしょうか？建てっぱなし？600mの山の上に200mの風車を建てるのに土台の深さはどれ程必要なのでしょう。こんなに人里に（山からの恩恵で生きている土地柄、食や風土が脈々と続く土地に）風車を建て水源が破壊されたら、米や酒の恵みも恵られなくなるのではないのでしょうか。健康被害に関しても調査検証されぬまま風力発電が進められている土地、由利本荘などもあり、不安が大きいです。しっかりと現在、鹿角に住んでいる人たちに周知し、意見を言い合えるようにして欲しいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
217	鹿角盆地の東側に連なる通称「青垣山」は私にとって癒しの景観です。夜明けを待って登ってくる太陽、夜空が澄み渡って月が少しづつ顔をのぞかせる山際は慣れ親しんでいる筈なのに感動させられます。また、晩秋の晴れた早朝に「馬の背」に登ると眼下の街は雲海に覆われてまさに「鹿角湖」のようです。この自然の恵みは山菜だけでなく風景も含めてまるごとありがたいと思っています。そんな中突然降ってわいたような「青垣山」に風力発電施設が建設するというニュースはかづの広報の2025年2月号の説明会の知らせで知りました。あの時の説明を聞きおどろいてしまいました。「青垣山」がズタズタにされてしまう計画でした。あの山脈を壊してほしくないと切に願います。	ご意見ありがとうございます。また、2025年2月の説明会へもご参加頂きありがとうございました。 指摘いただいた青垣山の眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。また、地域住民等の皆さまに対し十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
218	西暦915年の十和田湖の大噴火により上沼地域ばかりでなく鹿角県北一帯は火山灰に被われた。それから1000年以上をかけ草木は繁り動物を生息させてきた。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	今の美しい青垣山ができたのである。この青垣山の尾根一帯に風力発電の風車が林立することは自然環境を壊し景観を壊すのでやめてほしい。奥羽山脈の背骨であるこの青垣山は猛禽類渡りの経路でありバードストライクの懸念があり、工事による地面の地表地下のえぐりによる土砂崩れ、地下路植物の生息の変化、希少動植物へのダメージははかり知れない。そして市民が朝な夕なに仰ぎ見る尾根の風車の林立にはたえられない。この尾根に巨大な風車を建設することに反対です。	我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。指摘いただいた青垣山の眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。
219	I. 大型風力発電施設は、建設のために大規模工事が行われ、動植物への影響、景観の変化も大きく、近辺住民の少なからずの健康問題なども生じる。地域経済効果も乏しいと思う。 II. 鹿角は特に地産地消のエネルギー率も高い。省エネ対策の事業や個々の消費を減らす努力をしつつ小規模でも過疎や高齢化対策、事業によって雇用が生まれるような地域経済活性化を目指す方が良い。 III. 住民の意見、自治体の意思を尊重し、知恵を出し合い地域づくりができるように、エネルギー問題を考えて行ければいいのではと思う。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
220	私は秋田県の大自然が大好きで移住してきました。鹿角の青垣山の尾根部に風車という人工物が設置される計画があることを知って、幼少期から季節を通して遊びに来ていた風景に風車が立ち並び、自然や動物たちの居場所が失われることに心が引き裂かれる思いです。地元住民も秋田県民もほとんど知られていない情報ですよね。世の為、人の為、大義という使命感の為に大切な日本の自然に対して今一度立ち返ってください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
221	とても素晴らしい自然を壊さないでください！！大反対です！！	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、適切に対応してまいります。
222	反対します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
223	反対。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
224	環境破壊	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、適切に対応してまいります。
225	大規模な森林伐採が与える影響に大きな不安があるので反対します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
226	反対します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
227	1. 縄文の世界遺産である「大湯環状列石」から風車が見えるのは、考えられません。 2. 毎日国道 282 号を通過して、青垣山を見ながら仕事に行っている私にとって、青垣山の景観は元気の源です。事業をやめて欲しいです。	指摘いただいた青垣山の眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。 また、地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も適切な対応をしてまいります。
228	今、日本の電力事情で一番熱いのはペロブスカイトだと思います。これはフィルムに印刷するだけで太陽光発電ができるものです。壁、曲面、ガラスなどで発電できます。一番のメリットは送電線が必要なくなるということで、真の意味の電力地産地消を可能にするものです。これは日本人の発明になるもので世界を変えるものです。今この時に巨大施設を作り景観、環境、生態、生活を破壊する必要がどこにあるのでしょうか。風車が稼働する頃には発電事情はかなり変わっているものと思います。シリコン太陽電池が環境を破壊し始めていますが、風車がどんな形で地域環境を破壊しているか想像もしたくありません。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
229	自然は長年かけて創りだした偉大な創造物であり、見る人の心を豊かにするものです。壊されると元に戻ることは難しいことを私たちは長年の歴史で知っています。それは本当に必要なものなのでしょうか？誰かの権力、金儲けのために犠牲になるのも同じ人間です。今あるものを大切にすることがこれから生まれてくる未来の人々の財産になります。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
230	自然破壊を伴う電源開発は人間の生活環境の破壊にもなる。直ちに風力発電計画を中止し、白紙撤回して欲しいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
231	環境破壊、景観破壊を招く本計画に明確に反対します。方法書が 700 ページと膨大な量であるにも関わらず、印刷・複写もできないということに、事業者側の不誠実な態度が表れていると思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
232	大自然とは、このありのままで完璧なのです。配慮したからいいというものではなくて、少しでも壊すと、全てのバランスが崩れる。おかしいでしょう？熊が出てこまってるって、知事何度もメディアで訴えていませんか？たか？そうですよね？親子熊を何匹殺したのですか？秋田県なのに、大規模に熊の棲家を破壊するのですか？そして、また私たちの税金を使って、クマを殺すのですか？それは、納税者として、許せない矛盾です。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	熊に困っているなら、クマの棲家を整えることに国税をつかってくださるなら、喜んで税金を払いますが、こんな、矛盾した政策をする政府や地方知事に、私たちの血税を使うことは納得が行きません。 どうぞ、次世代のために、豊かな水源をまもる大人を増やす活動に、国、地方自治体が、積極的に動いてくださる、そんな政治家、官僚、公務員の方々が私たちの水先案内人でいてくださることを心から願っております。	
233	私の住むにかほ市には既に多くの風車が建設されており、建設された場所は自然環境が失われています。この風車が立ち並ぶ景観に対しては賛否両論が存在するように感じますが、鳥海山や日本海の素晴らしい眺望の中に風車が入り込むことを残念に感じる声も多く耳にします。また、風向きによっては夜間に不気味な大きな音が住宅街の中にある我が家まで聞こえ、せっかく静かな田舎に移住したのにと残念に思いました。寿命になったのか稼働していない風車と、新しく建設される風車でどんどんその数が増えていき、不要になった風車がどう扱われるか市民には分からない状況です。他の地域で使用するエネルギーを生み出すためにここの自然が破壊されるということの皮肉も感じます。作ってしまうともう元に戻すことは難しいものなので、もっと慎重に議論を重ねて進められた方が良くと思います。この表面上のことだけでなく、大地の中の繋がりも考慮の上、土砂災害などの要因になる危険性など十分に検討いただきたいと思います。土中環境などの専門家の意見も確認され、その上で最適を検討していただきたいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
234	土木を専攻する学生です。開発計画の検討にあたり、私達市民が声を上げられる機会を頂きありがとうございます。	ご意見ありがとうございます。 本事業による環境への影響については、今後の環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言を踏まえて科学的に予測・評価を実施いたします。 また、今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。
	秋田県環境影響評価審査会での議事録を読む限り、現状で有害物質の影響を深く精査していないと見受けられました。計画の施工予定地は松尾鉱山跡地に近いです。松尾鉱山は、開発よってヒ素を含む強酸性の地下水を北上川に流し、今も国が毎年5億円以上を投入して百年規模の期間で中和施設を運営しています。今回の施工も有毒物質を地下に含有する可能性のある土地近辺の水源林を開発するものですので、深刻な水質環境汚染を誘発しないのか非常に心配です。計画の是非の判断を行う前に、徹底的な調査を実施して欲しいです。	有害物質の影響については、対象事業実施区域及びその周囲に鉛等を含む鉱床や鉱山（現在は休廃止）が分布し、造成等の施工に伴い有害物質による影響が生じる可能性があることから、環境影響評価項目として選定しています。適切に調査・予測・評価を実施します。
	また、秋田県知事の意見書を読む限り、カモシカ保全林における開発の是非を、管轄の違う林野庁からの言及の有無で判断していたと見受けられました。適切な関係者にヒアリングをして、カモシカの生息に影響を最小限に抑えられるよう開発計画を修正して欲しいです。施工には、山間部の森林の伐採を伴うかと思います。森の保水機能の低下に伴い豪雨の際に土砂崩れ等が誘発されないか、それに伴い生態系や水質汚染に予想以上の影響が出ないか心配です。土壌の安定性や土中環境の変化に伴う将来的な災害リスクを慎重に検討して頂きたいです。	カモシカ保護地域については文化庁、環境省、林野庁の調整に基づき設定されています。本事業による生活環境やカモシカ等の動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 災害への対応に関して、林地開発や保安林等の各種許可基準にもとづき、防災を考慮した造成計画を検討いたします。本事業の実施により土砂災害や水害等が発生することのないよう、関係行政機関等とも協議し、慎重に対応を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	環境への影響が十分に考慮された、100 年先の東北に誇れる事業となることを願っております。	
235	山の木々達が喜ばない不自然な波動を出すものは、結果として人間に悪影響を及ぼします。山が喜んでこそ、人間の暮らしが守られるという太古の昔からこの民族が大切にしてきたものを思い出すべきです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
236	命に必須の水源の森。それを守り全体でバランスし全て必要な野生動物。それらを破壊する風力発電事業計画に疑問を感じています。私達人間も住めない日本になってしまいます。豊かな日本の自然と命を守って下さい。これ以上必要ない発電計画は取り止めて下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
237	本当にその場所に必要ですか？先に事業があつて場所を選定していくやり方はやめていただきたいです。それこそエネルギーの無駄遣いです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
238	風車は景観を壊すだけでなく、200m の建造物を建てるにあたって、その重量物を支えるだけの地盤改良や土木造作、また土木作業に伴う作業道造成、ヤードの設置など、周辺環境に与える影響が著しいことは想像するまでもない。また、そこに住まう様々な動物、植物、樹木など人以外の生き物、生態系への影響はいかなるものか考慮されているのだろうか。水脈への影響は？この建造物を建てた分だけ、地中に流れる伏流水の水脈が遮断させることは目に見えている。それゆえ、近年多く見られる、山中での公共事業をはじめとする土木工事による周辺環境への影響、土中の環境変化に伴い発生する液状化や土砂災害などの人災等、これまで起こっていなかったものが起こる可能性を作り出す要因となりうるのではないのか？ また、その風車で得たエネルギーはいったいどこの誰のために必要なものなのか。地球沸騰時代と叫ばれ、樹木の伐採に警鐘をならされ、自然環境の保護がより強く注目を浴びつつある今、あえて自然環境を破壊してまでもそのエネルギーを集める必要が本当にあるのか？エネルギーが足りない、必要だというのであれば、まず先に注目すべき問題点はどこにロスが生じているか、無駄遣いが発生していないか、その問題点を絞り出した上で、解決する方が先ではないか。 地域住民、ひいてはその環境に住まう数多のいきものと水脈、土中の環境を犠牲にし、果ては未来の子供たちの故郷の景色を奪ってまで、なぜ、エネルギー確保を名目に、新しい土木建築でお金を回さなくてはならないのか。全く必要ではないと考える。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
239	難しいことはわかりません。でもやめてほしいです。地球にはたくさんの生き物たちが共存しています。人間は自分勝手に自然を変えずぎていると思います。今あるものでどうやって暮らしていくかに考えを巡らせたなら良いと思います。今あるもので充分豊かに暮らしていけま	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	す。次から次へと他の生き物達の暮らす場所を奪わないで欲しいです。	を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
240	森林を皆伐、また建設の為の作業道を入れる事の影響が、建設地のみのらず広大な流域全般に及ぶ事は古くから森林・生態学の視点から指摘されてきた事です。加えて当該地は保安林や水源林に隣接しております。これらの制度は森林乱伐の歴史への反省から生まれた国民の叡知・財産と言えるものです。従って、保安林や水源林に影響の及ぶ事業を限られた権益者のみで議論し拙速に進める事は、貴重な生態系を喪失するに留まらず、林野・環境行政に関わる人々や現場作業員、地域住民から流域住民さらには広く国民に至るまで、広く人心への禍根を残す事となるのではないかと存じます。正しい情報公開と広く国民がこの事業の影響に関して学ぶ機会を設け、熟議し、自然とあまねく生き物の未来へ対しての思い遣りと責任を以て仕事を進める事を切に願います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
241	今のことだけを考えず、未来の事まで考えて行動していかないと、我々の先の子孫までもが苦しむのではないかと。立ち止まってみるべきだと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。長期的な視点を大事にして取り組みを進めてまいります。
242	水源となる豊かな山こそが、あらゆる生命と人間の命と健康を繋ぐ基本であることが分かっていたからこそこの水源涵養保安林であり、生物多様性重要地域を含む自然林であるにも関わらず、大規模風力発電事業を優先するのは、諸外国が失った貴重な自然を未だ保有している日本にとって、正当性がある計画とは思えません。取り返しのつかない損失を生む、この計画の撤回を求めます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
243	生態系豊かな森に建築物、構造物をつくることでの環境の劣化は明らか。もう二度と豊かな森は戻らなくなるし、水をも失うことにもなります。それは地域にとっても大きな損害となりますので、今回の工事の計画の中止を強く求めます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
244	自然界の存在はすべて繋がっています。CO2による温暖化・SDGsなどの検討は本当に科学的根拠によるものかどうか。自然再生エネルギーの大切さは分かりますが、大自然を破壊する行為、動植物との共生、風車による健康被害等などもっと検討をなさり、地域住民ともっと議論すべきだと思います、地元の電気など足りているとするならば中止すべきです。未来の負の遺産とならないように。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
245	私達の暮らす雄大な阿蘇でも大規模な太陽光発電パネルが敷かれました。見た目も異様で動物たちの住処はなくなり、土砂崩れの温床です。一度作ってしまったのは取り返しがつきません。本当に地球上に必要でしょうか？自分の子供、孫その先の子孫に必要でしょうか？ただの人間としてではなく、地球人として考えて欲しい。何より大切なものを失わないで欲しい。神様が作った大自然	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	をこれ以上破壊することは人間の滅亡にも繋がります。目先のことだけ考えるのはやめてください。	や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
246	これ以上海外に日本を売り渡すな。	弊社は 100%国内資本の企業として、計画を進めております。また、発電事業の実施にあたっては、発電所の運営に特化した国内の特別目的会社（SPC）を設立し、責任をもって管理・運営を行う方針です。
247	地球は、人間だけのものではないはずですが。これだけ温暖化で環境破壊が原因とか言っているのに、まったく本末転倒なことをやっているようにしか思えません。この事業で誰が得をするのでしょうか？そして、この風力発電機は、いつか壊れます。後世に負の遺産しか残せないと思います。壊れた時はどうするのか、処理は誰が責任を持ってやるのか、それは話し合っているのでしょうか？安心できないまま見切り発車で進み、結局地元の人に負担がかかります。こんな素晴らしい自然は破壊したくありません。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご不安、ご懸念を払拭するよう努めてまいります。
248	日本の自然を守って欲しいと思います。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、適切に対応してまいります。
249	大小の規模に関わらず、開発をしたい側は、地元民の意見に対し時間に制限をかけず、話し合いの場を設けて、真摯に向き合う姿勢を示して欲しい。一度壊した自然の回復には、どれだけの時間がかかるのでしょうか？風車を建てるために、重機が入る道をつけたりするのかなと想像しています。その開発された大地周辺にも膨大な影響が伴うのは、明らかなです。健全な山があつてこそ、山でじっくり浄化された飲み水が得られ、私たちは生かされていることを忘れてはいけません。この様な開発も私たちが生きる上で本当に必要なことなのでしょうか？疑問です。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
250	豊かな森が失われることで、各地で増加している災害の被害が加速していると感じています。自然が失われることはとりかえしがつかず、だれもが無関係ではられません。だれもが幸せにいられる未来をとともに考えることが、すべてのいのちに必要なことだと感じます。地元はじめ人々に周知し、十分に感じ、考える時間がもっと必要なのではないかと思います	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
251	風車のメリットとデメリットを天秤にかけて進めていくものだと思うので、きちんと判断材料となる情報を市民に広く周知しながら進めていただきたいと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
252	計画予定地全域が水源涵養保安林でイヌワシやカモシカの生息域に丸蔽りする豊かな広葉樹を伐採、土地改変による土砂災害など大いに懸念あり、また熊の町への出	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	没を誘因が大いに懸念される。ここは、事業を行つてはならない聖域であり、計画の中止を強く求める。	ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
253	自然は近代的な開発をしてしまうと簡単に元には戻らない。これまで積み上げてきた自然の月日を犠牲にしている事を考えてどう自然を使うのか考えて欲しい。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
254	もっと、地元住民の意見を、尊重してください！	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
255	青垣山をめぐるこの美しい土地に、風車が並ぶ未来を想像したとき、胸がきゅっと締めつけられました。鹿角の自然、そこに息づく人々の想い、そして重ねられてきた歴史や文化に触れるたび、「こんなふうに大切に守られてきた場所がある」ということに、深く心を動かされてきました。自然とは、ただの「景観」ではなく、そこに暮らす人々の心の拠りどころであり、魂が根をおろす場所でもあると思います。 短期的な経済効果や「再エネ」という響きの良い言葉に隠れた大きな代償を、ほんとうに未来の子どもたちに引き継いでしまっても良いのでしょうか？ どうか一度立ち止まり、この土地に流れる”いのちの記憶”に耳をすませてほしいと願っています。 ひとりひとりの声は小さいかもしれませんが、それが集まることで、「ここには守るべきものがある」という、確かなメッセージになると信じています。どうかこの場所の本当の価値を見失わないでください。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 指摘いただいた青垣山の眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。
256	地元住民の意見を反映してください	ご意見ありがとうございます。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
257	これ以上、人間の利便だけを考えた環境破壊は止めてください。どうか自然のままに、植物や動物たちと共存共栄していくことを考えてください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
258	環境保全の見地からの意見を求めるならば反対意見ばかり集まる。何の利害関係も持たない大仙市の方がこの問題に首を突っ込むのはおかしいと考える。再エネによる地域振興の側面を無視し、山に手を付けてはいけないという考え方は望ましくない。そもそも景観というが、世界遺産登録に影響が出るならともかく、多少風車が立つことに過剰反応しすぎている。そういう人たちが、花輪から見える花輪スキー場や水晶山スキー場のグレンデに文句を付けないのはなぜか。矛盾していないか。	本事業によるメリットについてご理解いただき大変ありがとうございます。眺望景観の変化をはじめとする環境への影響につきましては、引き続き慎重に検討を進めてまいります。また、地域の皆様には丁寧なご説明を行い、ご理解をいただけるよう誠意をもって対応してまいります。
259	大自然とは、このありのままで完璧なのです。配慮したからいいというものではなくて、少しでも壊すと、全てのバランスが崩れる。「熊が出てこまってる」って、秋田県知事何度もメディアで訴えておられたとおもいます。親子熊を、何匹捕殺しましたか？なのに、また大規模に熊の棲家を破壊するのですか？そして、また私たちの税金をつかって、クマを殺すのですか？それは、納税者として、許せない矛盾です。熊に困っているなら、クマの棲家を整えることに国税をつかってください。それには、喜んで税金を払いますが、こんな、矛盾した、政策をする政府や地方知事に、私たちの血税を使うことは納得が行きません。どうぞ、次世代のために、豊かな水源をまもる活動に、国、地方自治体が、積極的に動いてくださる、そんな政治家、官僚、公務員の方々が私たち日本の水先案内人でいてくださることを心から願っております。	ご意見ありがとうございます。環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
260	人類は、地球、自然の一部であり自然の循環を破壊する事は許されません。破壊するという事は、人類も滅びるという事です。	ご意見ありがとうございます。本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
261	この計画でこれまで先祖代々守られてきた自然は同じように守られますか？この開発をする事で、山の動物たちやわたしたち人間に悪い影響は起きないのですか？その影響とはここ数年の事ではありません。未来永劫、わたしたちの子どもたち子孫たちにとって悪影響はないのですか？心配でたまりません。この先、こんなはずではなかった、と後悔しでも遅いです。数十年、数百年先までの影響を考えていらっしゃるのでしょうか。目先の利益だけ考えていませんか。どうか、わたしたち一般市民に納得が行く説明をお願いいたします。	ご意見ありがとうございます。本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
262	クマが街中に出ている状況もある中で自然の中に私たち人間が入り込み過ぎているかもしれないと懸念しています。もっと住民と市民と県民と話し合う機会があればと思います。みんながみんな反対な訳でもないでしょうから。対話をしながら進めていけたら良いのではないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
263	熊の棲家、大自然をこれ以上壊さないで下さい。電力は充分足りてます。自然と共存する取り組みをお願いいたします。	ご意見ありがとうございます。本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
264	景観を損なう点、ならびに周辺住民への低周波音による健康被害の点から、風車建設は不要と考えています。鹿角市は八幡平地区で 300%を超す地熱発電自給率を備えていることから風力発電による恩恵は効果は薄いと思われます。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
265	昨年からお話しは聞いておりましたが、これだけエネルギーが豊富な土地になぜ風力発電まで必要なのか疑問に思います。風景や自然を変えてまで必要だと思えません。一時的に雇用は増えるかもしれませんが、人口減少の中人材確保が難しい状況で継続し安定した雇用が見込めるとも思えません。維持管理にかかる費用はどかがどうするのでしょうか？この事業を進める会社の実態もはっきりせず不信感しかありません。鹿角の山並みと自然、そしてその恩恵を受けて育つ農作物が大好きです。それを守るためにも風力発電の設置は必要ないと考えています。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 また、本事業においては、地域の方を雇用して運転管理を行っていただく等、地域の雇用創出も想定しております。なお、維持管理費用につきましては、事業計画の中で適切に見込んでおります。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
266	自然はとても多様なものを育んでくれます。動植物はもちろん、たくさんの水やミネラルの貯蔵庫です。これらはすべての生命の礎です。これこそが自然エネルギーです。開発すればこれらが汚され、失われます。その環境を壊すのは現代の技術では一瞬のことですが、もともとある自然本来のシステムを作り出す（取り戻す）には100年単位の時間を要します。電気は足りています。どうか、余計なこと（労力、コスト、自然破壊）をしないでいただきたいです。こういった事業はごく一部の人の、ごく短期の利益にはなりますが、もっと多くの人に対して、もっと長期にわたる利益ある事業を考えていただきたいと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
267	再エネの乱立はおかしい。地元の景観と環境を変えてまで望まれることではない。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
268	全国各地で山を切り拓いて風力発電や太陽光パネルが張り巡らされていますが、それによる災害や、自然破壊、野生動物の住処を奪うなど、大変由々しき事態となっています。このような自然の山々を切り拓いて、2社が競い合うようにして、山を破壊することは、私たちの自然と言う先代から受け継いで来たものを破壊する行為です。そもそも再エネは、私たちの再エネ賦課金と言う税金で成り立っているもので、それがなければ成り立たないもので、私たちにとってそれが必要であるかどうかは、企業が決めるべきものではないと考えます。これ以上、自然を破壊しないでください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
269	山を削らず、どう生きていけるか。未来世代の子どもたちは、風車を望んでいるのでしょうか？もしかして、そういうものだ、しょうがないんだ、と子どもたちに言い聞かせてはいませんか？経済のあり方も変わります。地元経済のためにと考えていてくれているのかもしれませんが、環境アセスメントありきで話が進んでいくのは、	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットと

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	話が違うと思います。まずは地元の意見を聞く。そして、地元の小さなコミュニティや、偏った意見ばかりを聞くのではなく、広く知識を求め、学んでください。大規模開発に頼らない生き方を実践し始めた人は多くいます。環境アセスメントのストーリーは即刻やめていただき、話し合いをしてから、進めるべきだと思います。どうかよろしくお願いいたします。	デメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
270	日本では1cmの土ができるのに100年かかります。栄養のある土だとなおさら。豊かな森を切り開いて、巨大風力発電を建設する理由がありません。保水力のある森が水を蓄え長い年月をかけて濾過して、綺麗な水を与えてくれます。多種多様な生命をバランスを保ちながら育む森を、土を人間が作ることはできません。わずか20年の電力を得るため、森を破壊するのは割にあいません。奥羽山脈はたくさんの動物達が行き交います。しかし、開発により動物達の生息域を分断する可能性があります。低周波（人間の可聴周波数帯より低いものも含めて）に敏感な動物が、生息できなくなり、人里に降りてくる可能性があります。北海道では、そのようなことが起きていると聞きました。人も同じです。また、低周波の振動がゆっくりと山を崩して、土砂崩れや土石流を引き起こす危険性があります。私たちの次の世代、またその先の世代まで、せっかく日本に残された深い森を、豊かな生態系を、水を残して、つなげていただきたいと思います。よって、風力発電の中止を要望いたします。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
271	微妙な振動数による人間や生き物たちや植物への影響が心配です。工事による自然破壊、日本希少動物のイヌワシの生息地の破壊、土砂災害の危険、水質汚染ははかりしれない。 たくさんの配慮すべき問題があり影響を受ける地域住民の方との時間をかけた話し合い、合意のもとに進められるべきだと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
272	秋田県民だった●●●●●さんの著書を読みました。戦後、関東地方の復旧の為に秋田県の山林の木々伐採がありました。木々を伐採された山は保水力が無くなり、大雨が降ると直ぐに土砂崩れが起き、河川が氾濫、橋は流され田畑や家屋に甚大なる被害が起きました。風力発電や太陽光発電で山の木々の伐採は、地元の方の安全を脅かすことに直結します。 過去の事例を参考に、●●●●●●●●●の●●●●●さんや●●●●●の●●●●●さんの様な専門家の意見を聞いて、より良い解決策を皆さんで充分話し合っ欲しいと節に願います。	ご意見ありがとうございます。 今後の手続において、専門家等の助言を踏まえつつ、適切に調査、予測及び評価を実施し、必要に応じて最新の知見を踏まえた環境保全措置を検討することで自然環境の保全に努めます。 地域住民等の方へのご説明とその意見への対応は非常に重要と考えております。関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
273	賛同します	ご賛同の声を頂戴し、ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
274	山を切り崩し、風力発電を設置することは自然を破壊することであり、秋田の魅力を壊すことになる。メリットは何もない。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
275	短期的な経済を優先し、一旦開発し破壊された自然は戻ってきません。それよりも、今ある自然・森の利活用を進めませんか？遠く離れた地ではありますが、森・自然豊かな日本をこれ以上破壊しないでください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
276	自然に配慮した生活になれば良いです	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、適切に対応してまいります。
277	再生エネルギーのための風力発電と思っていられしやると思いますが、大規模な建設のためにそこに住む野生動物の生きる場所や自然破壊を大きく伴います。一度自然が壊れたら人間には元に戻せません。短絡的に施設を作ってしまうばいいという考えはとても危険だと思います。今一度踏み止まりお考え直しをお願い致します！地球は人間だけのものではありません。私たちを含む全ての生命体が地球という存在の細胞の一部と考えます。大きな生命体とイメージしてみたらどうでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
278	地元住民の意志を尊重してください。省エネは大事ですが、秋田の自然を壊さないでほしいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
279	世界遺産でもある大湯環状列石の景観にも影響し、観光へのデメリットも想定されます。何より、鹿角市の再エネによる電力自給率は既に 300%を超えておりたった 20 年間の発電で得られるエネルギーより、大規模な自然破壊による動植物への影響と、事業が終了後に生み出される産業廃棄物処理に関して全く見えません。分からない方々も沢山おり、説明会を開くなり、地元住民の意見を吸い上げて下さい。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 また、地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も丁寧に行ってまいります。
280	誰のための開発でしょうか。どの企業と政治家が得しているのでしょうか。その奥にどんな弱みを握られ、どんなうまいがあるのでしょうか。日本は森があるから、豊かな水があり、生態系がある程度守られてきましたが、これ以上森林を破壊しては子孫に豊かな資源を残せません。砂漠化は本当におきます。安易なこのような開発に反対します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
281	動物、植物の生態系を人間の私欲の為に破壊しないでほしい。	ご意見ありがとうございます。 ご指摘の動物、植物、生態系の項目については、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
282	すでに予期されない環境破壊が多く見て取れます。(鳥などの野生生物、植物の生育、川の氾濫など) 美しい景色は心を癒すけれども、違和感のある景観は心を乱します。 今までの歴史を振り返っても、これ以上に山を切り開き、自然を破壊することは、文明の存続の危機を招きます。どうか山を切り開くことなく、自然を守っていただきたいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復(緑化植栽等)を行う予定です。
283	風力発電機は市場理論に沿ってますます大きくなっていますが、これが日本の豊かな山の中に建てられることの不効率性と不自然性に私たちは気づくべきだと思います。これから長くとも30年の寿命の発電機を目先の利益(再生エネルギーというグリーンなイメージ、電力発電)のために長期的に山々の自然環境を壊しながら建設することの意義がみあたりません。重機の重みで山を痛めつけ、無機質の発電機を何十メートルも有機質の土中に埋め込んでいく。山を人間の体に例えたら、そんなことをされたら壊滅的な被害を受けます。未来の世代のために良い世界をつくるのであれば片づけに莫大な費用と環境破壊をもたらす風力発電所計画は負の遺産にしかありません。 よって事業計画に反対いたします。多くの方々が全国あちこちで立ち上がるウインドファーム事業の根本的に矛盾に気が付かれることを祈ります。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
284	風力発電という名前は聞こえが良いですが、現地にて行うことは木を切り地を削り野生動物たちの住処を奪うこと、ですよね。相手が人間でなければ何をやってもいいのでしょうか。本末転倒。事業を行わないでください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
285	自然破壊になります。処方箋は足るを知る生き方が大事。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、適切に対応してまいります。
286	自然のまま豊かな山を壊さないで欲しい。綺麗な水が飲める環境を残す為にも、人が余計な手を加えず動植物が安心して生きる環境を守って欲しい。自然に還る事ができないゴミを増やさないで!!	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
287	鹿角市民ですが全く情報が開示されていません。景観、生態系、健康リスクを懸念しています。景観は損なわれることが必至ですし、人間・生物・動物にどのような影響があるのか? どれくらいの範囲で影響があるのか? 農産物への影響は? 災害時の影響は? 客観的で公正な数値を提示していただきたいです。 青垣山の尾根部分ではなければならぬ理由は为什么呢? 美しい自然の中に、突如人工物が出現することで、せっかくの景観が台無しになってしまいます。世界遺産の意味は何でしょうか?	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 指摘いただいた青垣山の眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	収入、雇用でメリットがあるように言われていますが、地元採用でどれくらい採用されるのか？収入がどれくらい見込めるのか？それを何に活用する予定なのか等、市民にわかりやすく提示していただきたいです。アンケートの趣旨から逸れるかもしれませんが、収入増というなら、ふるさと納税にもっと力を入れるべきだと強く思っています。	
288	山の中に風力発電を作ることは、自然環境を大きく破壊してしまうので反対です。ますます、熊が人里に降りてくる原因にもなると思います。もし風力発電が山の中に完成したとしても、20 年程しか建物が維持されないのであれば、その後どうなるのか？負の遺産を残すだけではないか？その後の処理も視野に入れて計画を立てるべきだと思います。自然は何千年、何億年とゆっくりとした時間をかけて、生物多様で調和のとれた豊かな環境を作り上げてきたのだと思います。それを一瞬にして人が開発してしまえば、再生するのに何千年もの年月が必要になるのではないのでしょうか。目先の利益の為に、後世を生きる人が苦しむ選択をしてしまっているのだと思います。電気は充分足りています。一人一人が電気を使いすぎる生活から、電気がなくても楽しめる生活へシフトしていけたら、自然を破壊する必要もなくなります。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
289	海外企業に依る日本の国土の買収が広がっています。北海道の水源や他県のソーラーパネルの設置はほとんどが中国の企業です。このままでは日本のこの豊かな自然は日本人のものではなくなってしまいます。世界の中でも本当に奇跡的に自然に恵まれ気候に恵まれた国はありません。これ以上、日本を壊さないでください。	ご意見ありがとうございます。 弊社は国内企業として責任をもって計画させていただいております。そのうえで、ご懸念の点は自然環境の保全と理解致しました。この点については、環境影響評価を通じて環境を低減できるよう、適切に対応してまいります。
290	自然環境への影響、風力発電施設の維持管理費用や産業廃棄物を考慮し 50 年後、100 年後の未来へ対して本当にプラスとなる事業なのか今一度皆で考える必要があると感じます。	ご意見ありがとうございます。 地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
291	自然破壊は止めて下さい！	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、適切に対応してまいります。
292	私は花輪で生まれ、周囲をぐると山に取り囲まれたこの盆地で育ちました。 一度は故郷を離れましたが、今は戻り家を建て子育てをしています。 家を建てる時、東山が見え朝日を拝められ、茜色の夕焼け空がよく見える場所を条件の一つとしました。 今も、桜山で遊び、東山の公園で遊び、子供が幼い頃は花輪越の道路をドライブして「雲にさわれたねー」など、周囲の山を通してたくさんの経験をしてきました。 その原風景が、風車により崩れてしまうのは容認できません。 また鉱毒の問題、残土処理などはどうなるのか、低周波による健康被害など未知数のことが多すぎることで、私自身近隣でオジロワシと思われる個体と、ガン類と思われる鳥類の渡りなどを見ているのでバードストライクの問題が起こることは確実であること、また大湯ストーンサークルという世界遺産は周辺景観も含めての価値であり、鹿角市にとって非常に貴重な遺産であり資産であることなどを踏まえ、この景観を守るためにも絶対に風車の建設はしてはいけなとを考えます。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境、猛禽類を始めとした動植物、景観への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 特に、地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も丁寧に行なってまいります。 ご指摘の風車による騒音と低周波音による健康被害について、環境省が平成 29 年 5 月に公開した「風力発電施設から発生する騒音に関する指針について」によると、「これまでに国内外で得られた研究結果を踏まえると、風力発電施設から発生する騒音が人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。また、風力発電施設から発生する超低周波音・低周波音と健康影響については、明らかな関連を示す知見は確認できない。ただし、風力発電施設から発生する騒音に含まれる振幅

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	風車建設後、仮に健康被害などが起きたときには、私は暮らす場所を失います。こんなにも不確定な要素が多い中で、たくさんのデメリットが見える中で、建設計画を推し進めないでください。地元住民への周知が不十分です。風力発電建設に反対します。	変調音や純音性成分等は、わずらわしさ(アノイアンス)を増加させる傾向がある。」とされており、弊社としては当該指針の考えに基づき、残留騒音からの増加分を一定レベル以下に抑えることが重要と考えています。
293	私が鹿角に移住してからの日々、周囲を巡らす青々とした山々に心落ち着かせて貰ってきました。 この美しい自然の姿、また動植物の生命溢れる営みを奪ってしまうような破壊をこれ以上してはならないと考えています。 今後のことを思えばエネルギーはもう充分と考え、欲を持たず自然に感謝しながらの素朴な生活を取り戻すこと、そんな生活に思い切って切り替えることも大切ではないでしょうか。 特に馬の背周辺は僅かに残されている貴重な動植物の宝庫であり、人の生活にも大きく関わってきた大切な地域です。 この計画を是非とも白紙に戻されるよう願っています。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
294	鹿角の大型風力発電本当に必要なのでしょうか？県民には情報が届いていません。 メディアを入れた公開説明会をしてください。 大切な事を知らないまま物事が進められてくところがとても不安です。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
295	このような大規模風力発電によって秋田県や地元住民だけでなく日本の国民全てが自然という貴重な財産を失うことになります。 地元の人々の水源を奪い、野生動植物の生息地を奪うこの事業に絶対反対です。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
296	秋田県の電力自給率は220%です。年平均の風速は適量ですが暴風と無風が多い上災害時にも役に立てません。また秋田の山は水のでる山で豊かです。木を倒し道を開き水脈をさえぎるとにかほ地区の水害のように土砂崩れがおきます。これ以上増やす必要はないと思いますが、どうしても事業をしたいのであれば小水力発電を作り県内で使える企業を増やし地産地消にすべきです。自然を壊した悪影響は人や鳥や魚にも現れはじめています。このまま進むと秋田は人のすめない所になってしまいます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復(緑化植栽等)を行う予定です。
297	地元企業への経済的な波及がどのくらいなのかといった情報がないと地元のためになるのか判断できないとかいう論点も重要かと	ご意見ありがとうございます。 本事業の実施に伴う地元への経済効果としては、税収増の他、建設期間および運転期間中の地元雇用の創出が見込まれます。例えば、弊社の稼働中の風力発電所においては、運転期間中の除雪や道路補修等のメンテナンス業務において、地元企業様のご協力を頂いております。また、他事業においては、農業振興、林業振興、観光振興等を実施しております。具体的な取り組みの内容については、鹿角市の施策にも即しつつ地域の皆様のご要望をお伺いしながら検討する方針であります。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
298	こんにちは。 環境の保全の見地私は鹿角市に引っ越してきて一年になります。 鹿角の豊かな自然の中で静かに、染めをしながら暮らすつもりでした。 ところが、最近になって風力発電の計画があることを知り大変驚いています。 よくよく調べていくとどうしても賛成出来ない計画であることが判明してきました。 第一に青垣山の自然が壊され、野生動物や鳥類が住めなくなる可能性が大であること、一度壊された自然は簡単には元に戻りません。 土砂崩れや水が出なくなる可能性も多分にあります。 一年中風車が回り、煌々とライトがつくような山に野生動物も鳥も住める筈がありません。 また、青垣山は小白鳥の通り道です。 風車からでる、超低周波による健康被害は国が認めてはおりませんが、実際には沢山の症例があります。 風車から鹿角市街まで最短で2キロ弱です。 鹿角市民の健康の為に、許可をすべきではありません。 風車が建ってからでは遅すぎます。 鹿角市は『健康都市宣言』を出しています。 市民の健康を第一に守ることを考えるべきです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。指摘いただいた青垣山の眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。また、地域住民等の皆さまに対し十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
299	風力発電はエコを装った環境破壊です。 絶対に止めてください！ 多額の税金を使い負の遺産を若い世代に残すようなこと、してはなりません。 利権構造だけが潤うような愚かなことで、何一ついいことはありません。 どうか考え直してください。 よろしくお願いします。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
300	大切な大切な山を切り崩し、風力発電や太陽光パネルを設置し、生態系を壊す行為は、やめて頂きたいです。風力発電はエコでもなんでもありません。これ以上日本の美しい山々を壊されるのは見てられません。 どうか風力発電の計画をやめて頂くことを切に願います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
301	自然は壊してしまったら元に戻せません。多様な鳥類やクマなど多くの生きものが生息する豊かな森を壊さないでください。 鹿角市の再エネによる電力自給率はすでに 300%を超えており、たかだか 20 年間の発電で得られる地元のメリットよりも事業を通して受けることになる自然環境の改変とその影響によるデメリットがあまりにも大きいと感じます。この事業計画には反対です。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
302	山は人間だけの物ではありません。動植物や微生物、水、様々な命の居場所です。その居場所を奪ってでも必要なのでしょうか？土中環境が変わり、生き物が住みづらい環境になること、地盤が緩み、災害のリスクが高くなる可能性は無いのでしょうか？風車を建てるよりも、人間を含め生き物たち皆が暮らしやすい環境づくりを一緒に考えていきたいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
303	絶対反対。風車のバックは外資。風車は外資がもうける仕組みです。鹿角市の水源涵養保安林を破壊（開発）することは、鹿角市の水源の森を台無しにする自殺行為です。乾燥に弱いブナは枯れ、泥水が流れ出し、川や海の生態系まで被害を受けます。いったん尾根を破壊すると、二度と山は元にはもどけません。目先の業者の甘い言葉にまどわされず、全ての生き物、未来の鹿角市民のために、全市民が勇気を出して声をあげ、絶対に止めてください。風車設置 20 年後の三重県青山高原の山の現状を視察されたいと思います。山崩れが止まらなくなっています。生き物も消えています。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
304	鹿児島県においても、風力発電事業が度々行われています。化石資源の乏しい日本において、風力エネルギーを用いた風力発電は良い方法であるとは思いますが、日本に暮らしているのは人間だけでなく、多くの生き物も暮らしています。 日本の生物多様性は他の国にない魅力を有していると考えています。 どうかそんな生き物と人間がより良く暮らすためにご検討お願い致します。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
305	風力発電や、再エネ事業に反対しているわけではありません。 どうしてこのような守られて行くべき場所が候補地になってしまうのでしょうか。 まずはその土地に暮らす人々やその場所を愛する人たちとの対話を持っていただきたいです。 丁寧に説明し、具体的にどのようなことが起こり得るのかをみんなで納得した上で進められるべき大事業だと思うからです。 失われたものは簡単には戻せません。まして、人為的に破壊された自然は、永遠に再生しないかもしれません。 わたしたち人間には、何でもできると思っているから簡単にこのような計画を進めることができるのかもしれませんが、東日本大震災を忘れたのでしょうか。人の手に負えない事態は必ず起こります。震災後に作られた巨大な防潮堤も本末転倒なもので、いずれそれらも超えた津波が来てしまうでしょう。 自然への畏敬の念を忘れた人間は愚かです。生かされているという謙虚な姿勢をもう一度みんなで見直す時に来ているのではないのでしょうか。 計画の見直しを要望いたします。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
306	反対です。 自然を守りたい。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、適切に対応してまいります。
307	東北の豊かな自然環境を破壊して、脱炭素という目的のために巨大な風力発電事業をすることで、本当に地球の気候危機を解決できると考えているのでしょうか。風車を稼働すれば CO2 排出はしないで電力を生み出しますが、風車を設置するまでの工程・鉱物資源を採掘して輸	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	送して、更に風車を作るプロセスで莫大な CO2 を排出することは、問題ないのでしょうか。さらに、多くの炭素を貯留している森林の樹々を伐採することは、むしろ温暖化を加速させることにならないのでしょうか。東北の豊かな自然とその景観は、何物にも代えられません。そして、そこに長年居住している住民の生活・健康・生業に与える影響を、真の意味で assessment で評価しているとも思えません。このような巨大な風車を建て、そこで出された電力を売電する目的なら、単なる事業者の利益にしかありません。北海道や東北の自然資産をこれ以上破壊しないでください。数千年の歴史と文化、風土で織り成された自然景観を破壊することは、そこに住む人たちのアイデンティティを破壊することと同じであることを想像できないようならば、地域共生はできません。白紙撤回を求めます。	今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
308	山の尾根を広範囲に削ることで環境を破壊して水源に多大なるダメージを与え、川にも泥水が流れ生態系を破壊していくような事業は中止して頂きたいです。 沢山の木を切って益々温暖化が加速するような事は誰も望んでいません。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
309	大きく環境を変える危険性のある風力発電の建設に反対です。 電力を作り出すことだけでなく、電力をなるべく消費せずに自然と共生できる方向性を考えたいところです。 私たちの暮らしそのものが変わらなければ、場所はいくつあっても足りないし、生きる場所を奪われる生き物達も増える一方と思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
310	健康への影響を回避するには、2 キロメートルでは近すぎるから、中止すべき。	ご意見ありがとうございます。 騒音等に関する生活環境への影響のご懸念と解釈し回答させていただきます。騒音等に関しては環境影響評価を通じて影響の低減できるよう、検討してまいります。 ご指摘の風車による騒音と低周波音による健康被害について、環境省が平成 29 年 5 月に公開した「風力発電施設から発生する騒音に関する指針について」によると、「これまでに国内外で得られた研究結果を踏まえると、風力発電施設から発生する騒音が人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。また、風力発電施設から発生する超低周波音・低周波音と健康影響については、明らかな関連を示す知見は確認できない。ただし、風力発電施設から発生する騒音に含まれる振幅変調音や純音性成分等は、わずらわしさ(アノイアンス)を増加させる傾向がある。」とされております。 弊社としては当該指針の考えに基づき、距離が近い・遠いに関係なく、残留騒音からの増加分を一定レベル以下に抑えることが重要と考えております。
311	全国各地で山を切り拓いて風力発電や太陽光パネルが張り巡らされていますが、それによる災害や、自然破壊、野生動物の住処を奪うなど、大変由々しき事態となっています。このような自然の山々を切り拓いて、2 社が競い合うようにして、山を破壊することは、私たちの自然と言う先代から受け継いで来たものを破壊する行為です。そもそも再エネは、私たちの再エネ賦課金と言う税金で成り立っているもので、それがなければ成り立たないもので、私たちにとってそれが必要であるかどうかは、企業が決めるべきものではないと考えます。これ以上、自然を破壊しないでください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
312	利害関係だけで勝手に計画が進められる事に憤りを感じます。 森を豊かに保って欲しい。 自然の営みを壊さないで欲しい。 切に願います。 この計画には大反対です。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
313	環境にやさしいエネルギーを作るという名目で、環境を破壊するのは矛盾していると思う。 一昨年の熊の大量出没など、野生動物との共生は現代の大変な問題となっている。風力発電は設置時の環境破壊による野生動物への影響だけでなく、継続的な鳥類の被害も発生することがすでに分かっている。また東北は仏教信仰などもアニミズムを根底とした文化が残っており、全ての山が霊山と言っても過言ではない。現在の自然環境を保全していくことが、現在のため、未来のためになると信じている。東北の人間として、作らないでほしいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
314	風力発電の設置に関してよくないと思います。 理由は3つあります。 風力発電機 1 基あたりに伐採される木の本数は数本～数十本であり、大変環境によくないと考えます。大規模風力発電なので、相当の木が伐採されるでしょう。また、逆に温暖化が進んでしまうことも考えられます。 近年、人間が森林伐採をした結果、クマや他の動物の家や食料が無くなり、里山に降りてきたクマが殺されることが多くなりました。これでは動物への配慮がなされていないことになります。このままでいいのでしょうか。身近な動物も我々と同じ尊い命であり、地球という小さな星に生きてるものなので、森は動物の「家」であることを忘れてはいけなと考えます。 また、風力発電機の近くの住民は頭痛に悩むことになる可能性もあります。風車が発する可聴域が低周波数を生み、睡眠の質が下がることで翌日、頭痛が起こるという事例もあります。 近未来への創造物は今を生きる私たちにとってワクワクしますが、それとは裏腹に起きる悲劇もあるので今一度お考えになってはいかがでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
315	昔ながらのこの景色を変えないで欲しいです	ご意見ありがとうございます。 青垣山の眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。また、地域住民等の皆さまに対し十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
316	風車より発生する低周波の影響調査は充分なのか？ 近年秋田では熊の出没が頻繁なのも関係あるのでは？	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
317	風力発電事業によって失われるものが多すぎると思います。 景観、希少動物の絶滅、熊の人里への出没、さらに水源の山が荒らされることにより、人間への悪影響は否めないと思います。 日本の国土、国民の命を脅やかす風力発電事業を速やかに凍結してください。 もっと地域住民をはじめ国民の声に耳を傾けて、自然環境も含めた大局的な観点からの事業にしてください。 これ以上国土を破壊しないでください。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
318	美しい自然環境、景観を壊してしまう事業には賛成できません。また、地域の住民の意見を十分尊重してほしいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
319	この風力発電事業は、地元住民の十分な理解を得ているとは思えません。私たちが次世代に残すべき自然環境は、ひとたび破壊されたら元には戻りません。この事業がもたらす負の影響について、くれぐれも慎重に検討していただきたいと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
320	山や高原の自然はいちど破壊してしまうと元に戻すことは不可能に近い。 目先の小さな利益の為だけに自然破壊するのは止めるべきです！！	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
321	再エネには賛成だけど、風力発電は健康への弊害も言われている。そして、こんな豊かな山中で事業を行うのはあまりにも環境破壊を伴い本末転倒ではないか。山を破壊すると、もっと里にクマや、他の動物がおりてくるのではないか。人間が追いやって行き場をなくして里におりてくるのに、それを今度は害獣だと殺すのはおかしい。もっと時間をかけて地元の人同士じっくり話し合っこれからの森の活用方法やエネルギー自給のあり方を決めていきたい。あまりにも事業者の計画進行スピードが速すぎると思う。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多いと理解しています。今後、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。
322	22 機の風車が建てられたら環境が破壊され永遠に森が失われかねません。熊と共存できる自然を残してください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
323	これ以上日本の山の自然を破壊しては行けません水源を守ろう	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
324	市民が知らないうちに話が進んでいる感が否めない。メリットとデメリットの中身が分からないまま進めるべきではない。市長の意見書に書いてある内容を具体的に調査したのか。まだしていない又は途中なのであれば、時期尚早なのではないか。鹿角市は地熱発電所があるため、再エネは十分足りている。無理をして風力発電所を新設する必要はない。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
325	水源が破壊されるのが心配。撤去方法が確立されていないのも気になる。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
326	鹿角の自然の景観を壊さないでいただきたいです。この計画は、周りの市民に全く知られておりません。もっと周知させ意見を聞いていただきたいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。青垣山の眺望景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。また、地域住民等の皆さまに対し十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
327	風力発電により発生する低周波音の健康被害は人だけでなく動物にも影響し、山に棲むイノシシや熊が低周波音から逃れるために里に降りてくる危険もあります。本当に風力発電をそこにつくる必要があるのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 クマ等の動物の行動の変化については餌量や出生数の年変動等も想定され、一概に要因を特定することは困難と考えておりますが、ご指摘のように、餌場環境の減少については動物への影響要因となりますので、改変面積を低減できるように検討してまいります。
328	本事業計画地は、貴重な動植物が生息する自然豊かな地域であり、生態系への影響が懸念されます。特に、希少種の生息地や渡り鳥のルートへの影響は、将来的に回復困難な自然破壊を引き起こす可能性があります。また、地域住民の生活環境に対しても多大な影響が予想されます。風車による騒音や景観の変化、さらには健康への影響を心配する声も多く聞かれております。地元住民の理解と納得が得られないまま進行することは、地域の持続的な発展に逆行するものと考えます。自然環境および地域住民への配慮を欠いた形での事業には強く反対いたします。つきましては、本事業の計画を再考いただき、地域と自然が調和した持続可能な代替案の検討を強く要望いたします。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
329	継続可能な世の中の実現と銘打って、森林を切り崩し、太陽光パネルや風力発電を設置する事は矛盾してはいませんか？ また、生息する動物に対する影響だけでなく、近隣住民への健康についても配慮が必要だと思えます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
		を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
330	私は生まれてからずっと建設予定となっている山々に抱かれて生活してきました。私と同様にまるで息をしているように当たり前に見てきた風景が人工物で変わることを望んでいる人はいません。ましてや住民への説明があまりにお粗末で真剣に環境保全を行うつもりが無いと受け止めています。人の手によって生態系を破壊すること、生活に溶け込んでいる景観を変えることには反対です	ご意見ありがとうございます。景観の変化をはじめ、環境影響の観点については、慎重に検討してまいります。また、地域住民等の皆さまに対し十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
331	計画予定地全域が水源涵養保安林にかかっており、環境省が定めた緑の回廊とも近接している。奥羽山脈の中心部に位置し、ブナ、ミズナラなど広葉樹林が豊かな場所に開発を行うことは、多様な鳥類やクマをはじめとするたくさんの生物の生息地を奪うことになるので、断固として反対である。もっと住民の意見を聞いてほしい。住民の意見を聞かずに計画を進めることは、非常に横暴なやり方と言わざるを得ない。	ご意見ありがとうございます。本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
332	環境保全の為、風車建設反対です。 自然をまもろう。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
333	秋田の自然豊かさを守りましょう。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
334	計画予定地全域が水源涵養保安林にかかっており、生態系に影響し、環境破壊を招きかねないと思います。しっかりと地元住民と話し合って決めてほしいです。	ご意見ありがとうございます。 地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
335	水脈や環境の破壊につながるのではないですか。 地域住民の意見を十分に聞いていただきたい。	ご意見ありがとうございます。 地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
336	大切な自然を壊さないで欲しいです。時代が変わり新しい開発も大事なことはわかりますが、自然の力が、生命に関わること、本当に大切にしたいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
337	自然豊かな山々を切り開いてまでも、お金が欲しいですか？ 自然の中を開拓すると言うことは、自然ではなくなるということ。 これを見ている開発の方も人ですよ？ あなたたちも毎日食べて生きてますよね？ 食べ物がどこからきますか？ 自然豊かな山々があり、川の水があり、土があり、食物があります。 やっていることは必ず自分に返ってきます。 胸に手を当てて、自分の心に聞いてください。 「これが本当にやりたいことなのか？」と。 会社や上司の言ってることだから、しごとだからではなく。 個人としてどうなのか。 自然を壊してはいけません。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 頂戴したご意見を個人としても真摯に受け止め、今後の取り組みを進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
338	あまりにも事業者の計画進行スピードが速すぎると思う。もっと時間をかけて地元の人同士じっくり話し合っ てこれからの森の活用方法やエネルギー自給のあり方 を決めていくべきです。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今 後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂 きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行 い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットと デメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見 を踏まえながら進めてまいります。
339	先祖が大切に守ってきた山がどんどん削られ、心を痛め ています。東成瀬のダムを見学に行って、たくさんの木 が斬られ、削られ、埋められ、コンクリートで塞がれた ダムはいつまで持つのでしょうか。秋田の山をダムや風車 で破壊しないで欲しいです。もっと、自然環境にも動物 にも優しい方法がないのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今 後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂 きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行 い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットと デメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見 を踏まえながら進めてまいります。
340	再エネそのものを反対はしないが、自然環境の改変によ って引き起こされる環境破壊とその影響によるデメリ ットは、本計画においてあまりにも大きいと感じており、この事業計画の多角的かつ長期的な展望をもとにした見直し、変更・転換あるいは中止を求めます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
341	風力発電事業を進める話が出回ったところで市民が反 対運動を起こす、近年の日本各地でよく耳にする現状で す。そこに住まう人々の地域資源を奪う行為に、何故こ うも秘密裏に話が進むのか理解できません。 海外で風力発電はもはや時代遅れ。もう令和なのですか ら、目先の金儲けにとらわれず、多角的に考える必要が あると思います。 自然と動物との共存は、秋田が誇る文化です。それを自 ら壊す行為の代償は計り知れないと思います。もし電力 の供給が早急に必要なのであれば、より、今の環境に寄 り添ったものを開発して頂きたい。電力はいつでも作れ る、けど、自然も人も失ったら戻ってはきません。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今 後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂 きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行 い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットと デメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見 を踏まえながら進めてまいります。
342	工事作業によって広範囲に自然が破壊されることや、掘 削などにより水脈が変わり自然が大きく変わってしま うことを危惧しています。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
343	山や森を削ってまで風車を設置する必要があるのか。一 度削ってしまった山を元には戻すには相当な年月が必要 です。再エネのために自然を破壊するのは間違ってい るように感じます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
344	山を切り開くことで水源の枯渇や居住地域の野生動物 被害などに繋がるのでは？ 風量発電施設も経年劣化で発電能力が落ちたあと廃棄 や新たな建設を続けるサイクルを行うことを環境保全 とは程遠いと思われる	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
345	地元の人の気持ちを無視した計画に反対します。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
346	山中に巨大な風車を建てるのは自然を破壊する行為だ と思い反対です！ 青森県の八甲田にも風力発電計画がありましたが青森 県知事の反対により中止となりました！ 英断だと思います！！ 東北道を走ると両脇には太陽光発電パネルがびっしり と山の斜面を埋め尽くしているの気がつきます。 一般道を走っていても気が付かないような事がある という事に驚きです。 山奥の事であれば一般の方々の方が付かないうちに工 事が行われているという現実。 伐採された森は元通りにはなりません。 古から守られてきた自然を破壊する事は決して許され ることではありません。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
347	事業区域周辺では、イヌワシ・クマタカ等希少猛禽類の 生息が確認されていること、また鹿角市の山は秋田県内 でも有数のクマの生息地で、予定地周辺の林内での人身 事故もこれまでに多く発生していると聞きました。 このような環境下で、風力発電を作るために自然を破壊 し、動植物の棲家を奪い、どのようにしてイヌワシやク マタカを守り、熊と人との接触を減らしていけるのか、 お考えを教えてください。	ご意見ありがとうございます。 環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、 計画を検討してまいります。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識し ております。一方で、クマの行動の変化については科学的 に実証されていないことも多いと理解しています。今後、 獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新 の知見を収集してまいります。
348	現在、温暖化期において世界各地で驚異的な早魃が起き 水不足が深刻になっています。山の稜線は山の形状を維持 するために大変重要な部分になっており、今回の計画 において山の形状を変えるほど広範囲に山が削られる ことで土砂崩れ、保水力の低下、地下水脈の変化が起 こると思います。水は万民にとって貴重な財産であり、周 辺農業にとって先祖代々多大な恩恵をもたらしてきた ものであります。私の住む地域の山林が補助金によって 皆伐が進行しており、裸地になった部分が局所的な大雨 で表土が流失し、鹿の被害も相まって草木がなかなか育 たず、降った雨が浸透せずにすぐに蒸発しています。そ れに伴って川の水位が減り、水田に引く水が不足して米 作りが困難になっています。また、腐植の減った山の水 は栄養が乏しくなり川も海も海藻、魚が激減して漁業に も多大な影響を与えています。このような状況が各地で 見られる時勢に不用意に森林を切り開き、森を共に創造 している野生動物を追い払い、酸素供給源さえ失い、地 球温暖化ガスを増やす行為は愚行だと言わざるを得ま せん。破壊は一瞬ですが、再生には数十年から数百年か かります。事業者、地権者にお金が一時的に入ったとし ても、災害が予測され、農業生産が儘ならぬ地域に魅力 を感じずさらに過疎化が進行し、移住者を呼び込む材料 も品薄になるでしょう。日本の未来のこどもたちに残す のはお金ではなく、豊かな森という財産であると気づき もっと長期的な目線を持って計画を改めて考え直さ べきだと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを 供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、 我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目 標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資すること を目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境へ の影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査 や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調 査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応を する方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、 土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原 状回復（緑化植栽等）を行う予定です。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
349	再生エネルギーに関しては賛成ですが大規模に森林を伐採することは風土を壊してしまいます。風の流れも変わります。それは長年土地や人を守ってきた循環系を崩し、すべての生き物の棲家を失ってしまいます。 また、目に見えない振動が生き物の健康に影響を与える危険があります。誰かのエネルギー消費のために私達や他の生き物の健やかさを奪う可能性もあるものはもっと議論されるべきです。 経済がまわり、金銭で豊かになるお話は再三聞いてきましたがお金に換えられない生き物のいのちが優先であることを1番に考えてほしいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。金銭的な価値に換算できない側面についても十分に認識した上で、今後の検討を進めてまいります。
350	持続可能なエネルギー政策は日本においても重要な課題ですが、菌類も含めあらゆる生命にとって最も必要かつ重要なエネルギーは水源ではないでしょうか？これほどまでに大きく自然の生き物たちや水環境や保全環境に甚大なダメージを与えてまですべき事業でしょうか？水源の山の尾根筋を削って開発するエネルギー事業は持続可能ではないと考えます。環境保全の観点とは真反対です。 この事業計画区域ほぼ全てが国有林で水源涵養保安林と土砂流出防備林であり、自然度 9 以上の所もあります。 秋田県での電気エネルギーは既に 300%を越えているとのことです。この事業は既に必要なくなっているのではないですか？ 大規模な自然破壊をやめ、二酸化炭素を吸収する自然の山を生物多様性丸ごと保全して、むしろさらに自然を再生していくことが秋田県で取り組めることであり、持続可能な二酸化炭素削減になるエネルギー政策であると考えます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
351	再エネ自体は良いと思いますが、そのために山や森を大規模に破壊する方法は本末転倒だと思います。 山や森は、わたし達が生きる上で欠かせない水や酸素をたくさん生み出してくれる場所です。 破壊を伴う再エネの推進は、本来の SDGs に沿っていないものと思います。 地元の人たちの意見を尊重して欲しいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
352	風力発電建設に反対です。なぜなら元々生息する動物たちの棲家が破壊されるからです。人間の利益だけを求めている生態系が壊され、いずれ人間も住めなくなります。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
353	事業計画地のほぼ全域が水源涵養保安林等に指定される地域と聞いて、ただただ愕然としています。人間が生きていく為に絶対不可欠な水に対する評価や価値を低く見積もっていませんか？ そこに馬鹿でかい風車を運び、建立するのにどれだけの山草木が削がれてしまうのでしょうか？ これからの人の営みにこのような風力発電事業は無用です。建立するメリットは皆無でしょう。有害でしかありません。この計画に大反対です。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
354	・配慮書に対する意見への回答に目を通した。地域の自然を知悉したうえで事業の撤回を求める多くの方々の意見に対する具体的な回答は見られず、「検討する」、「努める」、「可能な限り適切に対処する」、「今後の調査で実	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	態を把握する」等、多くの方々の生活権を奪うおそれの高い事業に対し不作為としか言いようがない。 ・単に、努力はしますよ、と逃げ道を用意しているに過ぎない。 ・準備書に記載される環境保全措置は、所詮、貴社が行い得る対策の中で一番ましと思われる内容のものを用意するに過ぎず、真に地域住民の生活や地域の生態系を守れるものではないことは自明である。 ・奥山の水源の森、地域住民の生活や営みに密接した二次林、農地、ため池、草地等の里山、源流域から沿岸に至る流域等の全てに配慮し、水によって人と人が繋がる文明を保つことこそ、真の意味でのSDGsである。 ・上っ面だけの法解釈、法の不備や抜け穴を利用して、確たる根拠もなく安全を主張する無責任な姿勢しか見えないのが、昨今の再エネ開発事業である。 ・政府の愚策・無策に便乗した国土破壊を伴う投機と言えよう。 ・先人たちが編み出した知恵と工夫は何百年にわたる歴史の試練を経て現存し、地域の生活を守っている。 ・公的資料だけではなく、学校や民間の資料館等に保存されている古文書、民話、民間伝承、各家々に代々伝わっている口伝等を丹念に掘り起こし、地域社会を支えてきた自然の深淵を知ったうえで、事業撤退を決意するのも事業者のあり方である。	標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。御意見の冒頭で記載いただいたように、現時点で反対のご意見を頂戴していることも理解しておりますが、事業の初期段階であり具体的な回答ができない内容ももちろんございます。今後、風況調査、環境調査、各種許認可の動向を踏まえて事業の実現性を見極めたいと考えております。
355	風力発電事業により林道が造られ自然と景観が大規模に破壊されます。更には土砂崩れなどの災害の危険性が発生しやすくなります。騒音、低周波音による被害も発生し、熊やイノシシ、鹿等の動物が市街地に降りてくるでしょう。 地元が一番期待？？する雇用・仕事が増えることはほとんど無理でしょう。メリットは「固定資産税と法人税が入る」ということだけ。それと引き換えに自然破壊。誘致には絶対反対の立場です。 この計画とは、そもそも地元からの請願でしょうか。又、なぜ鹿角市がねらわれたのでしょうか？ 風力発電所建設の目的とは。発電だけではなく。固定買取価格と、利権がらみの低利融資、優遇税制、そして自然エネルギー利用というイメージが良くなる事。発電実績が悪くても増設だけはする。これは税金と電気料金（再エネ賦課金）の無駄遣いにすぎないと考えます。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
356	風力発電の建設、絶対に駄目です、反対します。	ご意見ありがとうございます。 事業開発の初期段階であり、賛成、反対含めて様々なご意見を頂戴しておりますが、地域からのご理解を得られるよう、取り組んでまいります。
357	バードストライクで鳥が死んでしまうと、鳴き声が聞こえなくなるのでやめてください。 ママが元気なくなるとお家で暮らせなくなるので、風車はやめてください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
358	風力発電の建設、絶対に駄目です、反対します。	ご意見ありがとうございます。 事業開発の初期段階であり、賛成、反対含めて様々なご意見を頂戴しておりますが、地域からのご理解を得られるよう、取り組んでまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
359	再生エネルギーという響きは一見良い様に見えますが、結局環境破壊や電気代が高くなるばかりです。他国に発電していただかなくても、日本は水力、地熱、火力の技術があります。無駄な税金を省いて、正しく税金を使って欲しいと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
360	秋田県鹿角市の貴重な景観資源である「青垣山」に巨大な風車を建てる事は大反対です。世界遺産の大湯環状列石からも見えるとの事。絶対にやめてください。関西方面でも巨大風車の設置により大切な山が削られ景色、環境、動物と人間の生活に多大な被害が生じており、なぜ、こんな不要な物を建てるのか理解出来ません。国からの補助金目的としか考えられません。こんな計画は白紙撤回してください。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地域の資源として重要な位置づけである「青垣山」や大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も適切な対応をしてまいります。
361	・尾根部は山にとってとても大切な所です。尾根を崩すことは生態系の破壊が始まることを意味します。豊かな自然なくして人類は生きてはいけません。将来世代への責任として尾根を崩すことはやめていただきたいです。 ・事業計画地のほぼ全域が水源涵養保安林などに指定されている場所です。その木を切るということは水が少なくなる、出なくなる、洪水が起こる、渇水が起こる、土砂崩れが起こる、生物多様性が失われる、景観が失われることを意味します。そこに住む住民は大変困ってしまいます。このような危険を冒してまで風力発電をする意味はないと思います。 他の方法で発電することもできるのです。また、一旦開発してしまうと元の自然に戻るまでに何十年、何百年という時間がかかります。そのような開発はやめましょう。中止していただきたいです。 ・山の木がなくなると、そこに住んでいた動物たちが里に降りて来て獣害が発生します。動物も人も困ります。事業は中止して下さい。 ・住民の安心、安全な生活を今まで通り続けることができますよう事業を中止していただきますようお願いいたします。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
362	今回の建設予定地は広葉樹を中心とした森で野生生物のすみかになっていると知りました。鹿角市ではツキノワグマが里に出没し、人身事故もおこっています。鹿角の山々は、バイオマス発電事業のため相当の木を伐り、再造林は、ほぼされていないと聞きました。生物のすみかの森林を、一気に大きく伐り開けば、生物たちが街や里に出没してしまうと思います。今回の風力事業でさらに山林が大きく削られ、建設するために大きな林道が通ることさらに野生生物のすみかが減り、里へ出て農業や人身事故をひきおこすと思います。鹿角市ではすでに地熱と水力発電があり電力は余っていると聞きました。風力発電の電力は本当の地元のためではないと思います。地元のためというのであれば今までの発電事業を持続し伐られた山林を再造林し野生生物のくらす森を育てながら人も森のめぐみを頂く持続可能な事業をつく	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	り、人を雇用してほしいです。それが未来の人たちへ伝えていくことではないでしょうか。 私たちも電気を使います。どの発電がいいのか、自分も模索しています。電気も水も石油やガソリンも全て資源をひとりひとりがもっと大切に感謝をもって使うことも意識していかなければと思います。 これ以上、大きな山や森、自然を破壊する事業は中止すべきだと思います。 以上	
363	・なぜ自然豊かな国立公園近くの八幡平や鹿角の奥羽山脈に風力発電を設置しようと考えたのですか？ ・森林伐採をし、土地を壊すことは生態系を考えていない行為です 森に住まう「くま」「うさぎ」「きつね」「たぬき」「カモシカ」など多くの命を奪う行為です たとえば、「くま」ですが森林豊かな環境を壊すことにより、「くま」が人里へ逃げてくる・・・そして殺処分される。 絶滅のおそれのある野生生物の危機状態にある、ツキノワグマはレッドリストに登録されております 命を奪う行為に連結しています。風力発電の設置の撤回を強く求めます ・自然のゆたかさを破壊してまで鹿角や八幡平、十和田の奥羽山脈に風力発電を設置しようとしています、東京や千葉神奈川など都心部に設置しないのはなぜですか？ ・国立公園近くの秋田県鹿角市～岩手県八幡平、十和田付近には風力発電の設置は水源の汚染にもつながり環境破壊にしかありません 住民にとってメリットはゼロです。 設置について断固反対いたします ・奥羽山脈の環境は、後世に伝えていく必要があるほど自然ゆたかです 一度失った自然環境や生態系は現在のように戻りません。 風力発電の設置は簡単でしょうが、自然は簡単ではありません 断固撤回を強く求めます 多くの住人がこの風力発電の設置のことを知りません。 私は、昨日 Instagram で知りました 「日本熊森」さまなどにも情報拡散のお願いをされたりして、 環境や熊や動物、希少な鳥やゆたかな木々や水源を守りたいと思う人たちに意見を求めています 地域の高齢者の皆さまも、全くと言っていいほど設置の情報をご存じありませんでした テレビなどメディアにも働きかけて、断固反対を求めています どうぞよろしく願いいたします	ご意見ありがとうございます。 風力発電施設を導入し、安定して運用する上で恵まれた風況を有することが国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構の風況マップにより確認されており、また、その他の条件(地形、法規制等)も踏まえて、対象事業実施区域を選定致しました。 本事業による環境への影響については、今後の環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言を踏まえて科学的に予測・評価を実施いたします。 また、今後の検討にあたっては、関係機関等と調整の上、地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
364	古来から熊や鹿、そして木にいたる多くの自然の恵みを、日本のご先祖さま方は神として護っていらっしゃったことをお聞きしたことがあります。 なぜか、わたしなりに、ご先祖様たちへの感謝とともに湧き上がるのが、自分たち、つまり子どもたちや人間の子孫を守るためがあったのではとおもいを寄せる時、ありがたい気持ちでいっぱいになります。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	風力発電は、これまで山や海の恵みで暮らしてきた人のおもいを受け継ぐものではないこと、私たち子孫へのおもいやこれからの子らへのバトンへはどうやらないばかりか、その電気量も風力発電以外に頼りながら稼働する例や、もちろん動植物や山や水の恵みにいかされているわたしたち人間や自然環境の存続に関しての多大なる負荷になることはこれまでの例を挙げるまでもなく、現時点では明白で、それは、わたしたち人間の存続に直結することにもなるでしょう。もちろん、その観光資源や、そこに住まう方々の生きる力を奪ってしまうことにもなるでしょう。そして、その奪ったことは必ず、誰かに言われたとかということではなく、残念ではありますしそうならないことを願いますが、現実的に、推進されたお一人お一人にかかります。つまり、子らに必ず負荷がかかることになります。 なので、わたしたちにはもちろんですが、計画をすすめておられる方々の、もし、お子様たちやご友人、親御さんへの影響は少なからずおありになることは確かです。なので、今は、こういうことに私たちが意識を向けて、気がつかせてくださるお役目を買って出てくださいているのだと認識しております。 仮に、人間が少しでも生き延びる、生存することを望まないのであれば、すすめられていくのでしょうか、まさか、かようなことはないのでしょうか。 私たちは、人の子として生まれ、計画を進めていく方々も人の子である。目に見えない誰かや友人ではない誰かの話を進められる時には、一緒に、子らの未来と共に、こちらの計画に一度たちどまってくださるのでしょうか。私たちが、水や土や自然の生態系を失ったとしたら、そのバランスをとるために宇宙の力学は、人間にとってあまり良い方向にはいかないのでしょうか。もちろん、縄文の遺跡に関しても、観光資源を失うことにはつながり、地元の友人も危惧されています。かような立ち止まる機会や、人間がまだ生きていてもよいという判断の機会を設けて下さり、そして、計画は立ち止まらないと人類の存続に関わることになることに気がつかせて下さり、本当にこころより感謝申し上げます。ありがとうございます。	頂戴したご意見を真摯に受け止め、将来にわたり誇れる事業となるよう、長期的な視点を大切にしながら検討を進めてまいります。
365	・環境にどのような影響をおよぼすと予測されるか、具体的な数値で説明でせよと言われると、ごく一部の学者・研究者・技術者でないと無理ではないでしょうか。ただ、こんな巨大な構造物を山に建てて、また、それを建てるための付帯工事もあるでしょうから、影響ないわけないのは幼稚園生の子供でもわかります。「木を伐ったらその分補植すれば土0だ」という言い分は風力発電に限らず、街中の開発の現場でもよく聞くパターンですが、「環境」というのはぱっと見て数えて説明できるものではなく、目に見えない、無数の生物・無生物の無限大の関係性で成り立っていると思いますので、これはもう、絶対に影響あります。 ・「環境」の定義にもよりますが、人が暮らす、人生の舞台としてそこで生きていくための環境という意味では「美しさ・心地よさ」といったものを指標としてもっと重要視するべきではないかと思ってます。「景観」というと個々人の生々しい気持ちの間にワンクッションを置いた、例えば観光価値のような経済の問題に捉えられかねないですが、要は、それを毎日見て暮らして幸せかどうか、良き人生と感じられるかどうかだと思います。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	す。もし私が鹿角市に生まれ育ち、ここで生きてい死ぬのが私の人生だと決めていて、ある日このようなものが建ち始めたら、これはもう、人生の舞台を強姦されたと言っても過言ではないのではないのでしょうか。少なくとも、わいせつ物陳列罪に等しいです。踏みにじられた、それまで過ごしてきた大切な時間と場所を茶番にされた、そんな気持ちになると思います。私であれば、故郷を捨てて出ていかざるをえません。ましてやわざわざUターンやIターンしたいとは思いません。 ・論点はずれますが、「再生可能エネルギー」という呼称、誰がどういう意図でつくったのかわかりませんが、変えることはできないのでしょうか。この呼称のせいで、関心の薄い方、この手の知識の乏しい方をますます議論から遠ざけてしまっているように思えます。 私は、原発に賛成しているわけではありませんが、少なくとも「再生可能エネルギー」は再生可能ではないと思っています。そうそう人間に都合のよい、便利でクリーンなエネルギーなど存在しないと思っています。本当は、牛馬や焚火、小さい水車、風車であれば、絵本に出てくるような可愛く小さなものでぼちぼちやっている程度が一番いいと思うのですが、もう私たちは簡単には文明を手放せません。 風力発電事業による利権も、一般市民の知りえぬところで色々からんでいるのではないのでしょうか。 そのあたりをクリアにして、市民が進みたい未来を決めていくべきではないでしょうか。	
366	数年前から あっという間に海に山につくられた 風力発電、太陽光パネル 再生可能エネルギー事業に 不安と疑問ばかりがつのります。 この事業により私達の生活にプラスになった実感が全くなく むしろマイナスにはたらいっているように思えます。 自然に優しい？ 経済効果がある？ 持続可能？ どれも疑問ばかりです 自然は壊れる一方 山は削られ、動植物を犯し 生態系は崩れていきます 山の機能が失われて災害が多くなってます 山が死ねば街も海も死んでいきます 海を犯してそこでもまた 生態系が崩れていきます 自然からの恩恵を受けて 人は生きているのに 我々はそれを忘れているのでしょうか？ 私達は未来に大きなツケをかしています 子供達の未来を奪っています それは 経済の為に犠牲にしている範囲なのではないでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	経済効果も疑問です 莫大な予算を投じて その恩恵はどこにいつてるのですか？ 地元経済は豊かになりましたか？ 逆に再エネ賦課金？私達の電気代はどんどん上がって いつて家計を圧迫しています 持続可能？ 数年後には 使われなくなったゴミの処理に困ることにはなりません か？ これらの疑問の答えはどこにあるのでしょうか？ この疑問と不安を抱えながら 開発後の山々を眺めるのは 生きていくことさえ辛くなるのは わたしだけなのでしょうか？ 自然もお金も奪われる未来とは？ なんなんでしょうか？	
367	自然環境への悪影響：想定区域のほぼ全域が水源涵養保安林であり、分水嶺になっている。太平洋に注ぐ馬淵川、日本海に注ぐ米代川の各支流の水源が存在し、ブナ、ミズナラなどの原生林が貴重な生命の水を守っている。風力発電の建設工事による影響で、土砂崩れや濁流が発生しやすくなり、水環境を悪化させ、水生動物の生態が失われかねない。一度衰退した森林植生の回復は困難である。原生林は動植物の生命の循環により守られてきた。わたしたちはその恩恵を受けてきたに過ぎない。麓で暮らす人々は、古より、森から恵みをいただき、清冽な水で田畑を潤し、生業を営んできた。この尊い自然環境はわたしたちの守るべき風土であり、将来の世代に繋げていく責任がある。 風力発電の健康被害：狭隘な山間部は、形状上超低周波による健康被害が発生しやすい。風車の建設が予定されている尾根筋は、鹿角の市街地と距離が近く、工事に伴う深刻な問題が懸念される。風力発電機と民家の距離が2km前後しかなく、超低周波による健康被害が心配である。A特性音圧レベルの測定では、耳に聴こえない超低周波音域は調整されてしまう。WHOの環境騒音ガイドラインでは、A特性騒音レベルによる評価は不適切であるとしている。風力発電の施設から発生する超低周波の健康へのリスクは、主に高速で風を切るブレードに起因する。問題は騒音のリズム。ひとつは純音で、もうひとつ	ご意見ありがとうございます。 本事業による環境への影響については、今後の環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言を踏まえて科学的に予測・評価を実施いたします。 また、今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。 自然環境への悪影響：対象事業実施区域は米代川の支川となります。改変は既存道路等を可能な限り活用し最小限に留めるようにする方針です。今後の手続においては、専門家等の助言を踏まえつつ、適切に調査、予測及び評価を実施し、必要に応じて最新の知見を踏まえた環境保全措置を検討することで自然環境の保全に努めます。 風力発電の健康被害：WHO欧州事務局が公表した「欧州地域向けの環境騒音ガイドライン」では、風車騒音の評価指標として、A特性単発騒音暴露レベルを時間帯によって重み付けした L_{den}（時間帯補正等価騒音レベル）を採用しているものと認識しています。 超低周波音については、環境省が平成25年に音響学や医学等の専門家で構成される「風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会」を設置し、国内外のこれまでの風車騒音に関する科学的知見を整理してとりまとめた「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」の中で、風力発電施設から発生する超低

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	は振幅変調だ。長期間睡眠不足になると、基本的に全ての身体システムに影響を及ぼし、精神的健康にも、肉体的健康にも影響を及ぼす。欧米に比べ、日本は超低周波の健康に及ぼす疫学的調査に消極的である。すでに多くの地域で健康被害を訴えている実態があるにもかかわらず、国も企業も、風力発電と健康被害の因果関係を認めようとしなない。これは、風力発電における新たな公害と言える。 20年後の風車の撤去、解体について：まず、工事以前の自然環境、元のような生態系の回復は可能だろうか？否、一度失った自然界は戻ってこないであろう。いかに多くの被害をもたらしてきたか、わたしたちは世界中で嫌というほど目にしてきた。風力発電機が建つ峰々は、数万年前、陥没カルデラ湖である十和田湖ができた、数度にわたる火山活動、火砕流の堆積物にできたものである。白いシラスの崖で縁取られた火砕流台地が、青森県十和田市や、この鹿角市で見ることができる。この軟弱な台地に、50階建てビル相当の風力発電機を建設することは無謀だ。そもそも、パイル工事が可能なのか。撤去後も、数十メートル打ち込んだ杭は抜かず、そのままにして置くと言うではないか。あまりにも無責任だ。風車ブレードのシェル部分はGFRP（ガラス繊維強化プラスチック）、CFRP（炭素繊維強化プラスチック）などの樹脂で固めた複合材料であり、リユース、リサイクルが困難である。風車の解体撤去作業は、最終的に、金属スクラップ業者や廃棄物中間処理業者へと委託され、埋め立てによる廃棄となるだろう。ヨーロッパでは風車ブレードの埋め立てによる廃棄を2025年までに禁止することを提唱している。マイクロプラスチックの汚染が深刻だ。 以上、上沼風力発電事業に対し、環境保全の見地から反対意見を述べた。	周波音と健康影響については明らかな関連を示す知見は確認できなかったと整理しています。超低周波音については発電所アセス省令の参考項目ではありませんが、本事業においては対象事業実施区域の周囲に住居等が存在し、超低周波音に対する住民の不安や懸念があることから環境影響評価項目として選定しており、こちらも適切に調査・予測・評価を実施いたします。また、風車騒音は超低周波音ではなく、通常可聴周波数範囲の騒音の問題であるとされ、騒音レベルが周期的に変動する振幅変調音や、特定の周波数が卓越した音（純音性成分）によってわずらわしさに繋がるがあると指摘しています。このため、これらの知見を基にして策定された「風力発電施設から発生する騒音に関する指針」を踏まえ、風車騒音による影響をできる限り低減するように計画を進めてまいります。 20年後の風車の撤去、解体について：事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。なお、風力発電機の埋め立てによる廃棄については、ご指摘のとおり課題でありましたが、メーカーによりリサイクル技術の開発が進められており、弊社としても積極的にリサイクルを進めたいと考えております。
368	計画予定地の大部分が水源涵養などの保安林に指定されている。発電方法は風力発電以外にもあり、保安林を解除してまでこの場所に風力発電施設を建設しなければならない公益性はないと言える。 計画予定地は、鹿角市一円の水源の森となっており、建設予定地の稜線上は水源の源頭部となる。そのような場所に風力発電施設を建設すれば、鹿角市の水量が減少すること、水質が悪化することが懸念される。稜線上に風力発電施設を建設するためには、林道（作業道）を新設または既存の林道（作業道）を拡幅する必要がある。その工事に伴い、盛土、切土した場所からの土砂崩れなどの災害発生が懸念される。また、斜面を削ることで、水脈を切ることが予想され、水源寛容の機能が低下し、残された森林の生育に悪影響が出る恐れがある。	ご意見ありがとうございます。 水源の保全については、今後検討させていただきます。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	計画予定地は鹿角市街から近距離であり、市街地からも風車群を間近で眺めることになる。鹿角市街からの景観を著しく損ねる。特にブレードが回転している時には、非常に目障りになることが想定される。また、近隣の集落からは2～3kmしか離れておらず、ブレードが回転する風切り音や超低周波による健康被害が発生する可能性が極めて高いと懸念される。 野生動物は振動、音、超低周波などの刺激に対して、人間よりも敏感である。風車が稼働することで生じるそれらの刺激を避けるため、ツキノワグマなどの野生動物が市街地に降りてくる可能性が高い。鹿角市はツキノワグマによる人身事故もあり、ツキノワグマに対して強い恐怖心を持っている市民が多い。ツキノワグマと人との共存を図るためにも、ツキノワグマが市街地に降りていくという事態を極力避ける観点からも、計画予定地に風力発電施設を作ることはふさわしくない。 計画予定地は奥羽山脈の核深部にも近い。奥羽山脈は東方地方の水源や生態系を支える中心的な森林地帯である。その奥羽山脈に傷を入れるような計画は、東北地方の水源確保や生態系保全の観点からあり得ない。 計画予定地は多くの渡り鳥の渡りのルートになっているため、バードストライクの危険性が高い。また、予定地にはイヌワシやクマタカのような保全しなければならない鳥の生息地にもなっている。このような希少種の生息を脅かす計画は、認めることはできない。 この計画を問題している鹿角市民による市民団体ができたと聞いている。市民の声を最大限に聞いてもらいたい。	ご指摘の風車による騒音と低周波音による健康被害について、環境省が平成29年5月に公開した「風力発電施設から発生する騒音に関する指針について」によると、「これまでに国内外で得られた研究結果を踏まえると、風力発電施設から発生する騒音が人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。また、風力発電施設から発生する超低周波音・低周波音と健康影響については、明らかな関連を示す知見は確認できない。ただし、風力発電施設から発生する騒音に含まれる振幅変調音や純音性成分等は、わずらわしさ(アノイアンス)を増加させる傾向がある。」とされており、弊社としては当該指針の考えに基づき、残留騒音からの増加分を一定レベル以下に抑えることが重要と考えています。 ご指摘のクマについては地域にとっての課題と認識しております。一方で、クマの行動の変化については科学的に実証されていないことも多く、クマ等の動物の行動の変化については餌量や出生数の年変動等も想定され、一概に要因を特定することは困難と考えております。当然ながら、餌場環境の減少については動物への影響要因となりますので、改変面積を低減できるように検討してまいります。また、獣害に詳しい専門家への意見を聴取する等により最新の知見を収集してまいります。猛禽類、渡り鳥への影響についても、今後の現地調査を踏まえ、影響を予測・評価いたします。
369	市外からの意見です。美しい山並みが続く景色、その地に住む市民にとって大切な財産とも言える景観です。その地に風力発電が建設されることに反対いたします。 国内希少野生動植物種に指定されているイヌワシの生息地になっています。バードストライクの心配があります。北海道で被害が増えています。 山間部の環境を変えることは昨今の気候変動による大雨などの影響から土砂流失など災害の懸念があります。住民の生命と安全はきちんと評価されているのでしょうか。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復(緑化植栽等)を行う予定です。
370	風力発電のエネルギーは、風のみですか？ メガソーラー同様に、自然を壊して成り立つ不自然だらけの再エネ事業に関しては不信感しかありません。 人間だけの経済の為に、多くの生き物の命を犠牲にすることは人類の首を自ら絞めているようなものです。 持続可能な選択をどうか宜しくお願い致します。	ご意見ありがとうございます。 本事業で検討しております風力発電機は風の運動エネルギーを利用して発電するものとなります。弊社は、再生可能エネルギーの普及拡大を通じて持続可能な環境と社会づくりに取り組むことを重視しております。そのために、予め適切な調査、予測および評価を真摯に実施して、事業が環境に与える影響を十分に把握し、必要な対策を講じながら、自然環境および社会との調和を図ってまいりたいと考えております。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
371	はじめまして以前近くの山でガイドをした時にこの風車が建てられる予定の山林の上を犬鷲が旋回して飛んでおりました。 そしてその山林に熊鷹も生息しております。もしよろしければ山をご案内出来ます。 風車は人にとって風という自然エネルギーを利用してとても良い発電だと思いますが 3つの羽を持つ従来の形の風力発電だと確実に沢山の鳥達の命が犠牲になるのが予想されます。風力発電の下や横に鳥達が亡くなっているのを沢山見してきました。森吉山八幡平を中心に1000年以上の森が沢山残っており日本の宝です。 秋田岩手県北地域を中心に様々な生き物が生息しています。 ソーラー発電や風力発電が悪いわけではなく今はもっと改善された風力発電もあります。 あの形の風力発電は沢山の生き物達の犠牲を出しすぎです。 資料を拝見しましたが人間中心に考えすぎです。 諸外国から見てもとても遅れています。 自然環境を壊しています。 もし詳しく知りたければ岩手大学の東先生が鳥や熊の研究をしているので、もし進めるとしても一緒に行く事が住民からの反対運動も起きにくいので良いと思います。 山を案内や近辺の植生の解説については山林と人との間に立つ環境再生医の畠中がご案内出来ます。 何かわからないことがあればご連絡下さい。 東先生もご紹介出来ます。 ちゃんと良い仕組みを一緒に考えていきましょう。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。
372	私は、本計画に対して反対の立場を表明いたします。その理由は以下の通りです。 1. 【採算性に乏しく、事業として持続性がない】 近年、日本各地で計画された風力発電事業の多くが採算性を理由に撤退・縮小しています。とくに福島沖の洋上風力事業では、巨額の税金が投入されながら発電効率の低さ、維持管理費用の高騰、送電インフラの未整備などが原因で撤退に至りました。 本計画も、過去の失敗例から学ばなければならず、「風が強い」「自然が豊か」という理由だけで安易に建設されることは、公共資源の浪費につながります。 2. 【再エネ政策は補助金依存であり、民間主導とはいえない】 本計画に限らず、風力発電事業の多くは、以下のような補助制度に依存しています。 再エネ特措法による固定価格買取制度（FIT・FIP） 国の導入加速事業補助 地方自治体による税制優遇	ご意見ありがとうございます。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。 1. 【採算性に乏しく、事業として持続性がない】 事業性については、風況調査や造成計画等を踏まえて、安定的な事業運営が可能となるよう、事業計画を検討いたします。 2. 【再エネ政策は補助金依存であり、民間主導とはいえない】 近年の異常気象の要因の一つに、温室効果ガスが挙げられます。この温室効果ガスの排出を抑えるために、国際社会では、低炭素社会への移行が求められています。我が国では、「第6次エネルギー基本計画(2021年10月22日閣議決定)」で2050年までに排出を実質ゼロとする「カーボンニュートラル」の実現を目標に掲げていま

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	これらはすべて国民の税負担によって支えられており、採算性が乏しい発電を国民負担で補う制度設計になっています。民間企業の投資と見せかけて、その実体は補助金頼みの「官製プロジェクト」です。 3. 【自然環境・生態系への長期的影響が未評価】 計画地にはイヌワシなど希少猛禽類の生息域が重なることが指摘されています。また、風力発電所による騒音や景観破壊、伐採などの行為は、一度破壊されれば元に戻らない生態系への深刻な打撃となります。累積的影響（周辺の他事業と合わせた生態系への影響）を評価することなく、個別に環境負荷が小さいかのように見せかけるのは誤りです。 4. 【火力発電（特に高効率天然ガス）の方がCO2排出は少ない】 再エネが”クリーン”であるという印象は強いですが、建設時・維持管理時・送電網整備などで大量のCO2が排出されるのが実態です。とくに山岳地帯での大型重機搬入や、送電線敷設のための道路建設は甚大な環境破壊を伴います。 それに比べ、最新のLNG火力発電では、単位あたりの発電に対するCO2排出量は圧倒的に少なく、安定供給も可能です。この点からも、風力は脱炭素政策の有力な手段とは言えません。 5. 【行政の「再エネ推進方針」に盲目的に従うべきではない】 政府のエネルギー基本計画や地方自治体の再エネ推進計画は、あくまで「方針」であり、地域住民の実態や環境との調和を前提とした修正・撤回もあり得るべきです。	す。この基本計画において、再生可能エネルギーは、主要電源として導入に取組む方針となっており、風力発電は2030年度に2,360万kWの導入目標が掲げられていますが、2024年末時点の導入量は584.0万kWと、より一層の導入拡大が求められています。本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としております。 3. 【自然環境・生態系への長期的影響が未評価】 希少猛禽類の生息域への影響に関して、専門家の意見も踏まえ、現状の対象事業実施区域の利用状況を把握し、適切に影響の予測評価を行い、回避・低減、必要に応じて事業計画について検討する方針です。 また、生活環境、生態系への影響に関しても、今後の調査を踏まえ、影響の予測評価を行い、必要に応じて回避・低減策を検討してまいります。 累積的影響について、方法書段階では、特に最も近隣の事業者の事業計画についての確度が低いと考えられたことから、「事業の対象事業実施区域及びその周囲では現在複数の風力発電事業計画があることから、各事業の進捗や計画熟度に応じて環境影響を受ける可能性がある項目（騒音、風車の影、動物（鳥類）、景観）を対象として累積的な環境影響についても予測及び評価を実施する。」との言及に留めております。今後、適切に調査、予測評価を実施する方針です。 4. 【火力発電（特に高効率天然ガス）の方がCO2排出は少ない】 石油火力発電のライフサイクル二酸化炭素排出量が738g-CO2/kWh、石炭火力発電の排出量が942.7g-CO2/kWhであるのに対して、LNG火力発電の二酸化炭素排出量は473.5g-CO2/kWhと低いですが、再生可能エネルギーと比較すると高いです。なお、国際エネルギー機関(IEA)の資料によると、風力発電はCO2を発生せずに電力を供給できますが、シェアが高くなると需給調整のために火力発電の出力変化が急峻になり、起動と停止の頻度が高くなります。火力発電が起動したり出力を増減したり部分負荷運転したりすると、連続定格運転した場合に比べて効率が悪化し、CO2の排出量は増加します。しかし、風力発電が大量に導入された電力系統でも、需給調整が増えることによる追加的な排出量はさほど多くないことがわかっています。例えば、年間消費電力量の33%を風力と太陽光エネルギーで賄う場合、需給調整のために増加する排出量は、燃料使用量が減少したことによる排出量削減の2%未満との報告があります。 (https://www.nedo.go.jp/content/100923375.pdf も参照ください。) 5. 【行政の「再エネ推進方針」に盲目的に従うべきではない】 事業性については、風況調査や造成計画等を踏まえて、安定的な事業運営が可能となるよう、事業計画を検討いたします。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	中央の計画に沿えば地域が潤う、という単純な論理は、現実には成り立ちません。むしろ、地域が長年守ってきた山林や景観を壊し、わずかな地元雇用と引き換えに巨大な負債（維持費・解体費）を残すだけになる恐れがあります。 【結論】 上沼風力発電所計画は、環境的・経済的・社会的持続可能性の面で多くの疑問を含んでいます。脱炭素化を名目としつつ、実際には税負担の押しつけと自然破壊につながる事業であることから、私はこの計画に反対いたします。	
373	私は全国の山や環境の調査に参加させて頂く機会に恵まれたのですが、秋田の環境は全国的にも世界的にも極めて稀少性の高い、宝石の原石のような印象を覚えています。 開発をするならばそれを活かす戦略的選択をとられることを望みます。 風力発電は、その貴重な財産の無限の可能性や永続的利益を生む源泉を不可逆的に破壊してしまいます。 全国の山腹崩壊や災害地の調査に関わらせて頂いた経験から、崩壊の大きな要因となっているのが林道であることが分かって来ました。 その林道周辺の住民の利便性や、林業者の効率のために良かれと作られた道が、かえってその生活や資源を取り返しのつかない形で破壊してしまっている事実があります。 災害箇所を歩いて驚くのは、幅1メートルの散策道でさえも崖崩れの原因となり、幅十数m、長さ数十メートルにも渡って垂直に崩れ続けている現場が多々あります。 山の健全性を保つには、私たちが想像する以上に繊細に対応しなければならないのが見て取れます。 風力発電は、環境上乾燥しやすく最もデリケートな箇所である尾根近くを掘削し、基礎をつくり、建設後の本体の荷重がそこにかかるため水脈に甚大な影響を与えますが、その本体以上に、建設に必要な重機や資材の運搬用の作業道の影響の方が比較にならないほど甚大です。 山が荒れると生活の安全性が損なわれると同時に文化も崩壊して行きます。 例えば、世界に認知されている観光地の京都ですが、その現状は惨憺たるものです。 その観光地の華やかな文化を支えるバックボーンは自然の循環にあります。 それが今、山が荒れ、神社仏閣の水源は濁り、庭園の木々にも影響し、木々や苔が枯れ、その美観の崩壊を止める術がなくなって来ています。 美の本質、文化の本質が失われてきているのが現状で、全国的にそれは止められない流れになってしまっています。 それに比べ、長い冬に雪に閉ざされ急峻な山々に囲まれた秋田の自然は、その特性上ゆっくりとした水の循環を保ち、全国的な自然と文化の崩壊の流れからは秋田は少し距離が取れている、守られている、自然の機能がまだしっかり保たれているのを感じます。 その特性を守りながら、開発するのであれば、その自然の利を活かす開発が未来に大きな力となると考えます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 本事業用地の特性を踏まえ、測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、慎重に事業の検討を進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
374	本事業による環境への負荷とその後の影響は計り知れないものがあると危惧しています。 まず山林の掘削により、その森に住む熊並びに野生動物の生息地が減少し、食料を求め人間の居住地に出没する可能性が高まり、更なる人身事故が起こると予想されることです。また、もし熊が減少し熊を起点とする自然界の循環機能が破壊された場合、奥羽山脈の生態系に及ぼす影響は計り知れません。 さらに大規模な掘削により米代川源流への負荷並びに米代川流域において今後深刻な水害を発生させることも予想されます。米代川源流の自然環境を保護することが、事業を行うことよりも長期的な視点に立つと大事であると考えます。 以上のことから、本事業に対して廃止を求めます。日本に残る豊かな自然環境を守り、この地に住む人や動植物にとって優しい社会になることを切に願って止みません。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。
375	秋田県鹿角市で計画されている大規模風力発電事業について、以下のようなことが考えられます。 1 豊かな自然環境と生態系への深刻な影響 ・十和田八幡平国立公園隣接地への影響 ・希少な動植物への脅威 ・水質汚染リスク ・土砂災害リスクの増大 2 世界遺産・歴史文化と観光への打撃 ・世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」への影響 ・温泉地・観光資源への悪影響 ・景観の変化がもたらす伝統文化への悪影響 3 地域住民の生活環境と安全への懸念 ・騒音・低周波音による健康被害 ・シャドーフリッカー（影のちらつき）が与える不快感 ・災害時のリスク ・交通への影響 ・地域コミュニティの分断 4 事業の経済性・効率性への疑問 ・豪雪地帯特有の課題 ・費用対効果 ・将来的な撤去費用の問題 結論として 鹿角市の貴重な自然環境、世界遺産を含む歴史文化、そして住民の平穏な生活と安全を守るため、この大規模風力発電事業計画には強い懸念を表明し、反対します。事業者には、計画の白紙撤回もしくは根本的な見直しを求めます。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。 地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も丁寧に行ってまいります。 ご指摘の風車による騒音と低周波音による健康被害について、環境省が平成 29 年 5 月に公開した「風力発電施設から発生する騒音に関する指針について」によると、「これまでに国内外で得られた研究結果を踏まえると、風力発電施設から発生する騒音が人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低いと考えられる。また、風力発電施設から発生する超低周波音・低周波音と健康影響については、明らかな関連を示す知見は確認できない。ただし、風力発電施設から発生する騒音に含まれる振幅変調音や純音性成分等は、わずらわしさ（アノイアンス）を増加させる傾向がある。」とされており、弊社としては当該指針の考えに基づき、残留騒音からの増加分を一定レベル以下に抑えることが重要と考えています。 事業開発の初期段階であり、賛成、反対含めて様々なご意見を頂戴しておりますが、地域からのご理解を得られるよう、取り組んでまいります。
376	（仮称）上沼風力発電事業環境影響評価方法書を拝見させていただきました。 方法書記載内容のうち、今回は特に「建設によって土砂災害などのリスクが高まるのではないか」という点にしばり、現時点での疑義事項と意見を申し述べます。 鹿角市地域防災計画の災害年表によれば、平成 19 年 9 月の集中豪雨では総雨量 260mm、平成 25 年 8 月の集中	ご意見ありがとうございます。 事業実施に伴う改変が周辺の災害を誘発することがないよう関係機関との協議を行い、慎重に検討してまいります。また、今後の手続において、専門家等の助言を踏まえつつ、適切に調査、予測及び評価を実施し、必要に応じて最新の知見を踏まえた環境保全措置を検討することで自然環境の保全に努めます。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	豪雨では時間雨量 108.5mm、さらに土砂災害の目安となる累加雨量が 100mm を超えた事例を見ると平成 29 年 7 月、平成 30 年 8 月、令和 2 年 7 月、令和 4 年 8 月（この年は 1 時間最大雨量が 90mm、降り始めからの総雨量は 444mm とアメダス鹿角の観測史上最高を記録）と 2 年に一度のペースとなるなど、地球温暖化の影響もあってか、その発生頻度は増していると捉えています。 当該事業計画地は、急峻な奥羽山脈のエリアに位置（恐らく傾斜度は 30° 以上が大半かと思われる）しており、山岳部に降った雨は、風力発電施設建設予定地の標高 800m 前後の尾根部から急斜度な沢部を一気に流れ下り、住宅や農地など住民が暮らす居住エリアへと流下します。 しかも、雨雲は偏西風にのり日本海側の西側から東側に移動する頻度が極めて高いため、建設予定山塊の東側斜面に降る降雨量は西側斜面に比べて多いものと推察されます。 風車ヤードは 3000～5000m²、基礎は杭基礎が 19×19m×4.5m、直接基礎が 20×20×4.5m のエリアを占有し、風車ヤードとそれらを結ぶアクセス道路は幅員 5m 以上となり、しかも既存作業道の両端に植生している樹齢 100 年以上の樹木を伐採して拡幅していくとお聞きしています。（造成等の開発予定面積がいくらを予定しているのか見つけることが出来ませんでした。） しかも当該斜面は、火山性岩石が多く、すでに地滑り地形を成している個所も何ヵ所か散見されています。 また流下する河川のうち、乳牛川（一級）のみは秋田県による砂防改修工事をすでに終えていると理解していますが、富士川（一級・施工中で上流部はまだ）のほか、不動川（普通）、根市川、冷水川、間瀬川（普通河川かと思われる）など大半の河川では川幅もせまいところが多く、かつ護岸工事の完工割合も低く、かつ土砂の浚渫工事も行われていないことから河床が高く、集中豪雨が発生した際には堤防から越水して付近の住宅や農地に何度も土砂被害をもたらしている現状にあります（河川は全て調べ切れていませんのでご容赦ください）。 上記に述べた点を総合的に考えると、当該計画の方法書以降で技術的にこれら課題を解決できるのだということを明確に示していただかないと、下流部に生活する私たち市民にとっては非常に心配です。 当該建設予定地は、水源かん養保安林に指定されているエリアです。 一級河川は県が対策工事を、普通河川は市が対策工事を行います。如何せん厳しい財政事業から（特に市の場合は）当該事業にほとんど予算がまわっていない状況にあります。 完成後は事業者からは因果関係がはっきりしないという言い訳がなされるのかも知れませんが、風力発電施設を建設することにより、河川と周辺民家・農地等が災害	なお、地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、関係機関とも協議の上、適切な対応をする方針です。また、事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。ご意見ありがとうございます。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	に見舞われるリスクは確実に高まるのではないかと危惧しています。 そうなった場合、事業者は費用負担することなく、もっぱら県や市だけがその責任を負うことになるのでしょうか。 福島県や宮城県計画予定地では、「国有林を含む建設予定地の土地賃貸契約を締結するためには首長の同意が必要」との観点から、地方自治体が計画に反対する事例も見られます。 令和6年度の事例では、報道によれば、福島市では住民の理解が得られていない、建設によって土砂災害のリスクが高まるとして、市長自らが風力発電事業への反対の意見を述べたということです。 私の知る限り、宮城県加美町や丸森町などの例もあったと記憶していますし、その他にもあったと思われます。 事業者には、技術的に確実に安全だとする専門的見解を求めるとともに、県や市（鹿角市長）においては、決して事業者の言いなりになってゴリ押しすることなく、市民がどのような意見を持っているか、民意をしっかりと把握したうえで、事業の可否について総合的な観点から慎重な判断をお願いするものです。 また、事業者は基礎工事を施工しますが、20年の売電期間が終了したのち、当該基礎部分は解体撤去して、盛土工と樹木植栽を行い、国（林野庁）に返地するのかについても、合わせて知りたい点です。	
377	まず私は秋田県沿岸に30年程前に初めて大きな風力発電の風車が一基立った時から一貫して反対して参りました。秋田の日本の観光資源であり、地元経済の源である自然を破壊し、人、野生動植物、野鳥、海の生き物たち全てに悪影響する事を知っていました。当時から先に再エネを進めていたドイツ、ヨーロッパの実態を現地からのネット発信で知り危機感を強めておりました。県にも代議士らにも話しましたが取り合ってはくれませんでした。日本の豊かな森林は全ての根幹です。森に住む動植物たちは人間にとって必要な大切な広葉樹の森を作り安全で豊かで美味しい水を作り、田や畑や海へ流れてゆきます。野生動物と人との棲み分けをしっかりとすれば、人社会に降りてくる事もなく、おなかをすかせたやせた動物たちを殺処分しなくてもよいはず。鳥獣保護区を含めた森林保護は将来の子供たちの住む世界の為にも大切に残さねばなりません。一度失ってしまうと200年もかかる森の再生です。ほぼ不可能です。 風力やソーラーは再生不可能エネルギーです。ことばを間違えています。 風力発電も、ソーラー発電も、設置する時も稼働してからも現在多くの化石燃料による電気を多く使用し、自立した電源ではありません。天気や、風に左右され多くの電気を使って補助して動いています。 更には再エネ付加金という不可解な名前でごまかした、40円/1KW電力会社の買い取り価格、国民から業者への増与です。利益を独自に作れず、国民からとっているだけ、全くひどいエネルギーです。	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	日本の火力発電は CO2 を 90%以上取り除くことができます。それでも残りの CO2 が気に入らないなら、海へ入れてください。魚の栄養になります。 そして風力業者が秋田県に大きな顔して入ってきても、地元は何もプラスになりません。微々たる雇用でごまかさないで下さい。失う物の方が多いのです。 現実、秋田県沖・沿岸の漁業は振わなくなりました。高齢漁業者に補助金を与えてごまかさないで下さい。 海岸沿いで風車が並ぶ事で海からの風が入らなくなり、内陸の農業に悪影響がおきるそうです。(●●●●物理学者) 県の政治家は県民の代弁者である代議士です。しっかり毅然と秋田の自然と経済を守る為勉強してください。余りにも知らなすぎます。	
378	わたしは 2011 年 5 月に生活の拠点を埼玉県から秋田県へ移しました。生活の拠点を移すことになったきっかけは、当時は子供がまだ小さく、東日本大震災による福島第一原発による放射能汚染、今後起こり得る東京首都直下型地震の影響を危惧し、子供を安全に育てられる場所を求めて妻と 2 人の娘の 4 人で秋田県へ移住しました。 秋田県は自然がとても豊かで空気が美味しい、水も綺麗で、水道の蛇口から出る水をそのまま飲むことができることに、とても感動したことを今でも覚えています。 秋田県の自然豊かな環境は何にも変えることできないと、わたしは思っています。他から来たわたしだからこそ感じることもかもしれません。 そのような自然豊かな地で、豊かな自然を破壊してまで発電事業を行う必要があるのか疑問があります。 県民はそのようなことを望むのでしょうか？県民のための発電事業と言えるのでしょうか？ 秋田県で独自に発電事業を行い、秋田県民の使用する電気は自己の負担がないように使用できるということだとしても、県民は「豊かな自然を壊してまで」とは思わないのではないのでしょうか？むしろ、発電を行う事業者やそこに利害関係のある人のみ、メリットがあるようにすら感じます。 風力発電にかかるコストは売電することでまかなうことはできるかもしれませんが、発電設備を設置するために破壊した豊かな自然はかえってきません。 ただ、脱炭素への取り組みに関しては考えていかなければならないことも理解しています。ですが、豊かな自然を破壊して取り組むことは、プラスの効果よりもマイナスの効果でしかないのではないのでしょうか？豊かな自然を破壊せず、取り組める方法が他にあるのではないのでしょうか？ 秋田県から豊かな自然を取り除いてしまったら、秋田県という場所はなにが残るのでしょうか？ 秋田県という場所、ここにしかないものを大切にしていくことが、いま求められていることではないのでしょうか？	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 秋田県の豊かな自然環境を大切にされているお気持ちを真摯に受け止め、その価値を十分に意識しながら、本事業の検討を進めてまいります。 地域住民の皆さまには、本事業によるメリット・デメリットの双方について丁寧かつ十分にご説明し、ご意見を踏まえて慎重に検討を進めてまいります。
379	・景観が変貌、悪化し、不気味で残念な地域になることを大いに懸念しています。「景観資源調査」の地点が少なく、また偏っているのではないのでしょうか。鹿角市長の意見にもあるフォトモンタージュの作成については、市内の主要道路他、生活道路上での多数地点や、高速道	ご意見ありがとうございます。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。 ・景観資源調査については景観資源自体の改変の影響を見る観点から地点を選定しております。眺望の変化については、眺望点として 26 地点の調査地点を選定しております。フォトモンタージュの作成方法については地

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	路上と鉄道路線上、各学校や公園、観光宿泊施設等からも含めていただき、広く住民や関係者に共有していただくことを希望します。(CG 作成であれば、GoogleEarthなどでどここの地点からの様子も閲覧できるようにならないでしょうか?) ・大湯ストーンサークル周辺からの景観については、事前に関係各所や地域住民らとの景観変化の情報等を十分に開示・共有し協議を重ねていただきたいと思います。鹿角市長がユネスコと事前協議する場を持たれ、解決(世界遺産登録に100%影響が無し)となるまでしつかりと見届けていただきたいと思います。もし発電所が建設されたことで世界遺産登録が大湯だけ除外となった場合に、地域住民や関係者らから訴訟となる可能性があることについても、関係者と事前に十分に協議していただきたいと思います。 ・FIT終了後にもし事業を終了され風車を撤去される場合、現状復帰を謳われていますが、実際は基礎部分等の撤去はなされず、また風車へのアクセス道路についても元の林道の状態に戻す予定はないと伺いました。大きな自然破壊リスクのように思えます。環境アセスメントでは十分に想定できなかった環境負荷が発生している状況が、国内・海外の他地域で既に開発された風力発電の問題点として浮き彫りになっています。事後に訴訟に発展する可能性があることについても、事業の認可をされる国や県、市と十分に協議をしていただきたいと思います。 ・鹿角市だけの問題ではなく、隣県も関係する十和田八幡平国立公園を中心に海外からより多くの富裕なツーリストを呼び込む方針・政策に動線的な理由で影響はないでしょうか。特に欧州などから自然を楽しみに旅行をされる方々には、遅れた日本(秋田県)の環境対策を目の当たりにされることとなり、マイナスの印象を与え、以降のリピートもなくなると懸念しています。環境省や観光庁、隣県の知事、近隣市町村等関係各所ともそのリスクについて事前に十分な協議をしていただき、内容を市民に公開していただきたいと思います。	元住民等の皆さまのご意見を踏まえながら、適切な方法でお示しできるよう努めます。 ・鹿角市の観光において重要な位置づけにある世界文化遺産の大湯環状列石への事業の影響については、事業者としても重要な事項であると認識しています。今後、景観に関する影響評価を行うとともに、世界遺産の価値への本事業への影響を客観的に影響評価する必要があります。配慮書段階から関係機関と協議を開始しており、世界遺産への影響についても回避又は低減するよう努めてまいります。 ・事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復(緑化植栽等)を行う予定です。 ・本事業による環境への影響については、今後の環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言を踏まえて科学的に予測・評価を実施いたします。また、今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
380	ご担当者様 私は山形県に実家があり、月に1週間ほど帰省し、山や土地の手入れを通じて自然と向き合っている者です。今回、秋田県奥羽山脈地域で計画されている風力発電施設の大規模な設置について、自然と3年間少なくとも自然に触れてきたものとして懸念と願いを込めて意見を申し上げます。 私はこの3年ほど、土地に手で穴を掘ったり杭を打ったり、溝をつくり水や風の流れを調整しながら、生き物たちが心地よく過ごせるような環境づくりを続けてきました。 すると、本当に不思議なことに、今まで見なかった植物が芽吹き、虫や鳥たちが戻ってきました。 少しずつ、その場所が「再び息をしはじめた」ように感じられました。 最初は草刈機を使うのもちょっとこわさがあったので手刈りでやっていました。後に草刈機をつかってみて、その便利さと怖さ一後戻りできないくらい大きな力を感じ、やはり最初に手刈りをして感覚を養うことは大切	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。人と自然との関わりを十分に意識しながら、本事業の検討を進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	であったと思います。同時に機械の便利さ、ありがたさもわかりました。 風力発電と「切れてしまうもの」 もちろん、再生可能エネルギーの推進は大切なことです。 しかし、大型の重機で山を切り開き、数十基の風車を建てることで、 命のつながりが断たれてしまうのだとしたらーそれは“再生”とは呼べません。 しかも、その断絶は自然界だけで起きているわけではないように思うのです。 生き物たちの繋がりが切れていくことと、私たち人間が自然に、他の人間にまで興味を持たなくなっていくこと、感じる力を失っていくことー これは一つながりの出来事なのではないでしょうか。 山や森の音が聞こえなくなったとき、人の心の中にもまた、“空白”が生まれてしまうのだと私は感じています。 人と自然の関係を、壊すのではなく、結び直す方向へどうか、数値や効率だけではなく、その場所で生きている命と、自然の声に目を向けていただきたいと願います。 本当に環境によいとはどういうことか、それは自然と人のつながりを取り戻すことから始まるのではないのでしょうか。 今、静かに、しかし確実に断たれようとしている繋がりに、もう一度、光を当てていただけたらと心から願っております。	
381	1. 景観への影響 ・風車が自然景観を損なう。 2. 騒音問題 ・風車の回転によって発生する低周波音が「耳鳴り」「不眠」などの健康被害を引き起こすと訴える住民がいる。 3. 自然環境への影響 ・鳥類やコウモリが風車に衝突して死亡する「バードストライク」が問題視されている。絶滅危惧種もその中に含まれる。 ・森林を伐採して風力発電を設置する場合、生態系への影響も懸念される。熊が里に降りて来る問題は風力発電と関係があるのではないか。 4. 地元住民との対立 ・計画が住民に十分に説明されないまま進むことで、信頼関係が崩れている。 ・地元に利益が少なく、むしろ外国企業の日本現地法人の会社を作り隠れ蓑にし、リスクや負担だけが大きい。 5. 発電の不安定性 ・風まかせの発電なので、出力が安定しないという問題もある。 6. 産業廃棄物化 風力発電はクリーンエネルギーとして注目されていますが、産業廃棄物の問題も避けては通れない。 6-1. 風車ブレードの廃棄 ・風力発電機のブレード（羽根）は、ガラス繊維強化プラスチック（GFRP）やカーボン繊維強化プラスチック（CFRP）といった複合材料で作られている。 ・これらは非常に頑丈で腐食しにくい反面、リサイクルが困難で、現在は埋立処分されることが多い。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	・一部は切断されてセメント原料などに使われますが、量が多くなると限界がある。 6-2. 寿命の問題 ・風力発電機の寿命は約 20～25 年とされ、初期に建設された施設がすでに廃棄時期を迎えつつある。 ・特に海外（欧米）ではすでに廃棄ラッシュが始まっており、日本でも将来的に同様の問題が発生することが予測されている。 6-3. 基礎構造物の処理 ・陸上風車の土台は数百トン規模のコンクリート基礎が使用されており、撤去には莫大な費用と労力がかかる。 ・撤去せずに放置されるケースも懸念されている。（いわゆる「残置」問題）。 6-4. 廃棄にかかるコスト負担 ・廃棄や撤去には多額のコストがかかるため、「誰がその費用を負担するのか」 ・現在は発電事業者が負担する前提だが途中で事業者が撤退・倒産すると自治体や地域住民が負担するリスクもある。	
382	長い目で、未来を考えた時に あの頃は水が綺麗だった 温泉がここから出ていた 自然がもっと豊かだったと 今ある自然があこの頃の話に ならないように。 白神山地の水源を守られた話を思い出しました。 本当に、その場所、土地に風力発電が必要なのかを考えて欲しい。 もし風力発電が日本にとって必要ならば、 もっと他に建てるべきところがあるのではないかな？ もうすでに自然が一度崩されて人が住んでいたが もういなくなってしまって荒地になってしまっている ところの有効活用など。 目的が、地域活性化の企業誘致ということであれば 山を削ることなく、風景を変えることなく 今ある環境の中でできることを考えて欲しい。 廃校になった学校跡地や、廃墟跡などを綺麗にして 利活用して欲しい。 町の電線を地下に埋めるなどにお金を使って欲しい。 山を削らないで空き家や廃墟をリノベーションして 町を美しくするなどにお金を使って欲しい。 自分は、鹿角市のこの素晴らしい自然環境と 程よく暮らすことができるライフラインや街の規模が 良いと思い 孫ターンで引っ越してきました。 観光客も、みなこの素晴らしい風景や自然環境を目当て でやってきます。 暮らす人、観光で訪れる人の大きな目的にもなっている そしてそこで暮らす生き物たちのためにも この財産を大事にすることを考えて欲しいです。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
383	再生可能エネルギーの普及という観点からその意義を理解しつつも、以下の点について懸念を表明し、慎重な対応と改善を求めます。 【意見・要望】 1. 住民意見の反映について 計画立案および説明の段階で、地域住民に対する十分な情報提供や意見聴取が行われたのが不透明です。特	ご意見ありがとうございます。 本事業による環境への影響については、今後の環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言を踏まえて科学的に予測・評価を実施いたします。 また、今後の検討にあたっては、関係機関等と調整の上、地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえ、どのように事業計画に反映したのかがわかるよう努めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	に、高齢者を含む全住民が理解できる形式での説明や意見提出の機会が不十分であったのではないかと思います。 説明会が開催されたとしても、一方的な情報提供にとどまり、住民からの意見が計画にどのように反映されたかが不明確です。 今後、定期的かつ双方向的な対話の場を設けるとともに、パブリックコメント等の意見をどのように検討し、反映するかを明示すべきです。 2. 環境への影響について 本事業は、鳥類の渡り経路や希少種の生息地、山林資源など地域の生態系に多大な影響を及ぼす可能性がある懸念されています。 環境アセスメントの報告書には、調査期間や対象が限定的で、長期的・広域的な影響についての評価が不十分です。 また、低周波音や景観の変化による住環境への悪影響、災害時の安全性など、住民生活に直結する事項への説明が不十分です。 以上の点から、改めて包括的かつ第三者による環境影響調査を実施し、その結果を公表した上で、地域の関係者と共有・協議することを求めます。 再生可能エネルギーの推進は重要ですが、それが地域住民の理解と信頼を損なう形で進められるべきではありません。 地域の自然・暮らし・経済に真に寄与する事業となるよう、住民との丁寧な対話と持続可能な環境保全への取り組みを強く要望いたします。 何卒ご理解とご対応を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。	
384	私は、昨年 8 月の環境配慮書についての意見公募の際に、こちらの『風力発電建設事業に反対し、計画撤回を強く望む』という立場で意見を提出させて頂きました。（その際はご丁寧にご回答頂きましてありがとうございました） そして今回も同じく『反対！計画撤回を強く望む』という立場で意見を提出いたします。貴社がこの事業が環境に及ぼす影響を計る方法を専門家からのヒアリングを元にどれだけ様々に検討提案されても、こちらの事業計画に反対の意見は変わりません。 以下に意見内容を記します。 1、計画地に広がる水源涵養保安林は、水資源を蓄え、育み、土砂災害や水害から守ってくれる貴重な森林であること。 そして、ブナなどの広葉樹林が広がる一帯は植生自然度が高く、生物生態系の保全にも大変重要な場所であること。また生態系保全は豊かな森を維持し、その結果、人間の暮らしへも直結する重要事項であること。 2、計画地には鳥獣保護区が含まれ環境省レッドリスト2020に選定されている動物がいる。 中でも、生息域の環境激変により現在生存確認されているクマタカやイヌワシなど生態系の上位性に位置する希少猛禽類への影響は計り知れないこと。 （※回答では、鳥獣保護区から風車設置場所は4km離れているとあったが、クマタカの飛翔範囲は10～25km²と	ご意見ありがとうございます。 本事業では、風力発電事業により再生可能エネルギーを供給することで地球温暖化の抑制に貢献するとともに、我が国、秋田県が掲げている再生可能エネルギー導入目標の達成並びに鹿角市のさらなる活性化に資することを目的としておりますが、環境影響評価を通じて環境への影響を低減できるよう、計画を検討してまいります。 地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては踏査や測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、適切な対応をする方針です。また事業終了後の原状回復に関しては、土地権利者との貸付契約に基づき設備撤去や土地の原状回復（緑化植栽等）を行う予定です。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	いう観測データもあるので鳥類の生息範囲は断定できないと思われる) 3、鳥類のバードストライクへの危険性が高いこと。 先述の大型希少猛禽類だけでなくコハクチョウなど渡り鳥もバードストライクの危険度が高いと予想されること。 風車のブレード先端の回転スピードは、新幹線の時速並みの速さゆえにそのルートを飛翔する鳥類たちからは確認が困難で衝突の危険性は極めて高いと猛禽類医学研究所の調査でも明らかになっている。 4、木々は空気中の二酸化炭素を吸収し内部に炭素を蓄える役割があり、脱炭素地球温暖化対策にも森林の役割が重要なことはもはや承知の事実。 それなのに、何故に奥羽山脈の尾根を切り崩して森林を破壊する事業を推進するのか…全く理解できない。 以上のことから 森林破壊、生物多様性崩壊、次世代のために守るべき自然を壊すこのような事業計画には断固反対いたします。 風力発電による再生可能エネルギーが地球に優しい温暖化対策とは到底思えません。 人工物によって土中も地上も自然破壊が進めば、もう二度と自然からの恩恵を受けることはできないでしょう。 目先の利益にばかりとられずに未来に向けて何を守るべきかを再考頂きたいと心からお願い申し上げます。	
385	この鹿角市山中での風力発電事業については、突然、知人から昨年の7月に配慮書が出ていると言われ、知りました。 まさかこんな豊かな山の中で、とすごく驚いて現地を見に行ったり、説明会に参加したり地域の方の話を聞きにいったりしました。 僕はこの事業計画の進め方について「地域住民の皆さんの意見が十分に反映されているのか」というところを一番疑問に感じています。 僕も参加した3月の方法書の事業者説明会は、鹿角市民でなくとも誰でも参加可能な説明会にも関わらず、参加者は前日が4人だったそうで、僕が参加した回は7人でした。 鹿角でお話しをお伺いしていると、なにかよくわからないまま事が進んでいて「まずちょっと待ってほしいんだ」そういう想いの地元市民の方もたくさんいらっしゃいます。 計画自体中身もよくわからない、とか 鹿角市民の方からも地元への周知や関心がまだまだ薄いといった声もお聞きする中で、地元ではない事業者が法律上の手続きをこなし鹿角の山に過去なかったような土地・景観の変化が予想される事業計画のプロセスが進んでいっていることに違和感を覚えています。 事業者は地域の理解を得るとか地域の皆様とのコミュニケーションを大切にしたいと言いつつ、そのために広く市民に周知することが必須な配慮書や方法書といったものは印刷もコピーもダウンロードも事業者によって禁止されている。 わずか1、2ヶ月だかの期間で	ご意見ありがとうございます。 本事業による環境への影響については、今後の環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言を踏まえて科学的に予測・評価を実施いたします。 地元への周知につきましては、法令に基づく説明会、鹿角市主催の説明会の他、事業計画地周辺の自治会等に対し、事業についてご説明させて頂く場を設けておりますが、さらに多くの地域住民の皆様が本事業についてご認識頂けるよう、適宜、行政にもご相談しながら説明の機会や情報提供の方法を工夫・拡充することを検討してまいります。 なお、本事業は検討の初期段階であり、今後、現地調査を含めた詳細設計および許認可手続き等を進めていく中で実現可能性を見極めていくこととなります。今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行うとともに、地域住民の皆さまに対しても丁寧かつ十分な説明を行い、ご質問やご懸念を真摯に受け止めながら、対話する機会を増やしてまいりたいと考えております。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	まず事業計画の存在自体を知り、数百ページ以上にわたるそういった膨大な図書をパソコン画面あるいは縦覧場所のみでそれを読みこみ意見を書く、日々の暮らしをこなしながらそこに行き着く方がどれほどいるのか、大変疑問です。 そんな中でも現状の法律に則り、意見募集の期限が過ぎれば事業者は一般の方から意見を受け付けたとして、計画が進んでしまう。 全国で進んでいるこのような大規模再生可能エネルギー事業をみていていつも感じる根本的な問題の一つは、企業の進める事業スピードと市民同士の議論が熟成し価値観の共有できるスピード感が全然違いすぎることです。 市民はそれぞれ日々の暮らしに追われながらも、なんとか忙しい合間を縫ってこれからの地域の森の活用方法やエネルギー自給のあり方をじっくり考えたり話しあったりする時間やその声を事業者や行政が拾ったりする間もない現状があると思います。 地元市民の方からも多くの懸念点や疑問点が上がっています。 事業計画に明確に反対する地元市民の会も立ち上がり署名活動も始める、とお聞きしています。そして当地には世界遺産であり、国の特別史跡である「大湯環状列石」があります。そういった遺産に代表される先人たちや豊かな自然環境によってこれまで何万年と育まれ受け継がれてきた素晴らしい文化・風土があります。 どうか、このわずかな意見募集期間だけでなく、地元市民の声に寄り添って、あがっている懸念点にたいし、真摯に寄り添いそれを払拭する姿勢が何よりも重要であると考えます。 そして、市民の理解が得られなかったり疑問点懸念点があるうちはまず一旦停止、立ち止まっていただくことが必要だと考えます。 どうか、よろしくお願いいたします。	
386	一般市民にとっては、突然環境アセスメントが始まります。 そして環境アセスメントとは何かも分かりません。突然に、期限付きなのは、一方的であります。 住民との対話とはなんでしょう。 環境アセスメントに定められた手続きを進めながらでは、住民には見えないナイフを突きつけながら話すようなものです。 どんな対話をしようが、手続きは進められるのですから。 地域経済、国の施策など、そちらの都合だけの大義名分は結構です。 環境アセスメントの手続きを止めて対話をする姿勢こそだと思います。 そして鹿角市には世界遺産にも登録された遺跡があります。地域の住民だけでなく、広く日本国内だけでなく、世界の知見も視野にいれるべきだと思います。 世界の遺産をないがしろにしないでください。 さらに、対話とは、説明会を何度か開いて質問の時間を設けることではないはずです。	ご意見ありがとうございます。 本事業による生活環境や動植物への影響については、今後実施する環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言も頂きながら適切に予測・評価を実施いたします。 今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し本事業によるメリットとデメリットについて丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 地域の資源として重要な位置づけである大湯環状列石の景観保全に関しては、関係機関との協議を始めておりますが、今後も適切な対応をしてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	グリーンパワーインベストメントは、良い対応をしてくれるとは思いますが、世界遺産のことを軽視しています。 縄文遺跡群の認識が薄く、ただ風況が良さそうだという理由で配慮にかけています。 そのため、かづのグリーンエネルギーの方は岩手県側にも意見を求めているのに対し、グリーンパワーインベストメントは、方法書の段階になって、ようやく岩手県側にも説明会を開催するつもりです。 環境アセスメント対象にはしていないので、意見書は求めないそうです。 どうか、縄文遺跡重要性や生態系の保全の観点からはもちろんのこと、事業者の態度というものも、意見に反映していただきたいと思います。 また、今回のことが、地方にばかり責任を押し付けるような形になってしまっている、環境アセスメントの制度そのものを変えていくきっかけになれば良いなとも思っております。 どうかよろしく願いいたします。	
387	和歌山県で風力発電を考える会の代表をしている者です。秋田県の友人から、この計画を聞き、意見をお送りいたします。 和歌山県では、ご存じのように10年以上前から1500kw～2000kw級の風力発電設備が稼働しており、何人も低周波音による健康被害を被っており、因果関係は立証できませんが何人もすでに亡くなっています。ほぼ全員心筋梗塞による突然死です。風車から発生する音は大きく分けて2種類に分類できます。一つは可聴音である20hz以上の音です。この音は二重サッシがあれば遮音できる音です。ですからもし被害があったとしても、事後対策が可能です。被害宅にサッシをつけてあげればいいのですから。ただこの可聴音は35～40dbという低い音圧にもかかわらず、なぜ住民が不眠を発生してしまうのかという理由を書きます。風車から発生する音は自然界から発生する音と違い約1秒間おきに規則的に発生します。中山間地の静かな地域は夜は本当に静かです。そこに音圧は低いと言っても、規則的な耳慣れない音が一晚中聞こえる人には聞こえてしまうのです。人間には不思議な能力があり、聞こえてくる音を脳が自動的に分類してしまい、耳障りな音を敏感に聞き取ってしまう能力があります。異音は動物にとって危険のシグナルなのです。ですから気になってしまう人はどんなに小さい音だとしても耳障りで眠れなくなってしまうのです。不眠は万病のもとで、ましてや風車の立つ地域はお年寄りばかりで、この人たちにとってぐっすり眠れないという事は死活問題となってしまいます。 もう一つは1hz、2hzなどの超低周波音です。これが風車からの音による健康被害の本質なのですが、実際和歌山では、家の建具などが振動し、超低周波音に晒された家に住んでいる方々は「頭がくらくらする」「頭痛がする」「めまいがする」「体がしんどい」などと訴えており最終的には引っ越してしまっただ方も多く我慢して留まった方々は心筋梗塞で亡くなりました。谷沿いに被害は集中しており、複数の風車からの低周波音が集まり増幅した結果と思われます。1500kw～2000kwの風車で2kmくらい離れていても、このような状況ですから4300kwや6000kwの風車は2～3kmの離隔距離をとっても低周波音	ご意見ありがとうございます。 本事業による環境への影響については、今後の環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言を踏まえて、科学的に予測・評価を実施いたします。 また、今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。 風車騒音については、残留騒音よりも5dB程度高くなるとわずらわしさを訴えるようになるとする知見等を参考に、策定された「風力発電施設から発生する騒音に関する指針」を踏まえ、風車騒音による影響をできる限り低減するように計画を進めてまいります。 風車騒音については、人間が聴覚可能な範囲の周波数に重みづけをしたA特性音圧レベルにより、同指針との比較を行います。超低周波音については、ISO-7196においてG特性音圧レベルが100dBを超えると超低周波音を感じるとされており、これとの比較を行います。また、1/3オクターブバンド音圧レベル（平坦特性）により、建具のがたつきが始まるレベル等との比較を行います。 なお、騒音の予測は、風力発電機のメーカーのデータを使用して実施する方針です。 住民の超低周波音に対するご不安やご懸念を解消するため、今後も丁寧に説明してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	による健康被害は非常に高い確率で発生すると予測されます。この超低周波音は二重サッシ等の防音対策を行なったとしても防ぐ事はできません。波長が 170m や 340m と非常に長い為、その暑さの防音壁以外防ぎようがないからです。実際被害者宅に風力発電業者が稼働後二重サッシを取り付けた住宅もありましたが、窓を閉めるとかえって苦しくなるため、窓を開けっ放しで生活するという有様です。音の測定も業者はしましたが、すべて環境省の示す数値の範囲内です。環境省の提唱する参照値には大きな欠点がある為です。それはA測定やG測定などを用いて、人間が感知しにくい超低周波音は健康被害は起らないという理屈で大幅に補正を加えているからです。実際に平坦特性を用いて計測したところ、70db を超えていく場所がほとんどです。 また方法書以降の調査では地域ごとに残留騒音を測定し準備書を出していきますが、そこで問題なってくる音の質はほとんど議論される事はありません。日本人が風流として好む虫の鳴き声もヨーロッパに行けば騒音となってしまう。日本の中山間地域の残留音というのは、日本人が大好きなせせらぎだったり、風の音であったり、虫の声、カエルの鳴き声など自然界の営みの音がすべてです。それはけっして騒音ではありません。ですから音の大きさのみを評価したアセスメントは片手おちと言わざるをえません。もっと音の質に重きをおかねばなりません。 もう一つ人間が忘れがちな事は、山に棲む動物たちの事です。ひとの住む地域から2km 離隔をとりましたから大丈夫です、と風力発電業者や環境コンサルタントの方たちは胸をはって説明会で住民に言っていますが、裏を返せば風車から近距離の場所は低周波音の影響をもろに受けているという事です。それが山に棲息する動物たちへの悪影響です。和歌山のすでに稼働している風車の付近の猟師は「風車ができたらいヌが帰ってこなくなった、凶暴なった」とか「山にシカやイノシシ等がいなくなった」とか皆さん同じような話をします。山の動物を一番よく知っているのは彼らです。その真実の声にもっと耳を傾けるべきです。それをアセスでは一切行っていないのが現実で、方法書以降の調査項目に動物への影響を追加してください。和歌山の審査会の委員からは、その事を指摘する意見もありました。そんな調査はした事がないので方法がわからないと言うのであれば、その方法を提案させていただきます。医学的な影響を調査したいと思うのであれば、既設の北海道や宮城県に建っている4300kw クラスの風車があるので、その付近でラットなどの実験動物を飼育してみれば科学的客観的なデータがとれるはずで。実際ヨーロッパではミンクの飼養施設での大量死も報告されています。人間への影響を調査したいのであれば、既存の健康被害の発生している場所で御社の社長さんが 3 か月暮らしてみたらどうですか？それでも、大丈夫というのであれば住民も理解してくれるはずで。でも一社員やアルバイトを雇って人体実験をするのは出来るだけ避けてほしいです。 また、低周波の予測に関してですが、「機種も決っておらず、メーカーのデータもないので、ここではお答えできません」、と審査会で言いそうですが、和歌山に計画	

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	している業者さんからはっきりとメーカーのデータは持っていますと聞いているので、その言い訳は通用しません。きちんとメーカーのデータを公表してください。その上で研究者に解析を依頼し、その結果をきちんと住民に示してください。 地球温暖化防止のため、再生可能エネルギーの導入の必要性は決して否定しません。ただそれが著しく生活環境や自然環境を悪化させてしまうのならば本末転倒です。和歌山県知事は、その事をはっきりと意見書において述べています。 事業中止も含めて、きちんと影響を検討する事、と。	
388	土壌流出及び風害に対する防備機能の喪失の恐れ、水源涵養機能低下の恐れ、生態系の攪乱の恐れ、及び土砂災害の恐れがあることから本事業計画の撤回を求めます。 ・土壌流出防備及び風害防備林としての天然林 図 2. 2-1(1) に記載されている風車設置検討区域は国有林内にあります。風車ヤードとそれらを結ぶアクセス道路は稜線を中心に配置されると思います。稜線沿いには樹齢 100 年を越す天然林が残されています。以下に国有林野施業実施計画図 1) 及び国土数値情報 2) から抜粋します。(図 2-1 参照) 保護樹帯とは、周囲の人工林を土砂災害や風害から保護するために意図して残されてきたものです。上記の林分のうち、保護樹帯として指定されていない林分も同等の働きをしていると考えられます。 風車の大きさから判断して、アクセス道路の幅員は 5m 以上になると思います。さらに両側の数 m の樹木が伐採され、土地が改変されると思います。つまり、風車の設置場所及びアクセス道路に沿って 20m 程度の列状間伐がなされることになると思います。近年激甚化する集中豪雨と巨大化する台風とを考え合わせれば、対象事業実施区域内の森林は土砂災害や風害に備えた施業がなされる必要があり、稜線上の幅広い列状間伐は行うべきではないと考えます。以下に東北森林管理局の「管理経営の指針」の「別紙 2 保護樹帯設定基準」3) から抜粋します。 目的 ・皆伐による森林環境の急激な変化を緩和し、新生林分を気象害、火災及び病虫害からの保護並びに地力の維持を図る。 ・山地崩壊、土砂の流出及びなだれや落石等の防止並びに溪流及び道路保護を図る。 2 伐採 (1) 原則として単木択伐とし、地形、風向、林分構成等を考慮して伐採率 30%以内、かつ、保護樹帯の機能を損なわない範囲で行う。 (2) 選木は、成長衰退木を優先する。 以上で抜粋は終わりです。アンダーラインは私が引きました。上記の林分は、ブナクラス域の天然林であり、衛星写真からも特に樹勢が衰えている様子は見えません。	ご意見ありがとうございます。また、東北森林管理局の「管理経営の指針」等についてもご提示いただき、ありがとうございます。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。 ・土壌流出防備及び風害防備林としての天然林、水源涵養林としての天然林 東北森林管理局の「管理経営の指針」等についてご提示頂きありがとうございます。事業実施によって周辺の災害を誘発することがないように関係機関との協議を行い、慎重に計画の策定を進めてまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	したがって「管理経営の指針」からも幅広い列状間伐(帯状択伐)は行うべきではなく、むしろ樹齢 100 年前後の壮齢期にある樹木は母樹として残すべきです。 1) 国有林野施業実施計画図 https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/keikaku/attach/attach/pdf/yonesirotoubusyozen-499.pdf https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/keikaku/attach/attach/pdf/yonesirotoubusyozen-501.pdf https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/keikaku/attach/attach/pdf/yonesirotoubusyozen-502.pdf 2) 国土数値情報 国有林野データ https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A45.html 3) 管理経営の指針東北森林管理局令和 7 年 4 月 https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/keikaku/attach/pdf/r6chikannsejitsu-kouhyou-5.pdf ・水源涵養林としての天然林 図 3.2-26(1)にあるように対象事業実施区域は米代川の源流部にあり、ほぼ全て水源涵養保安林または土砂流出防備保安林です。 近年激甚化する集中豪雨による下流域の水害を軽減するため、米代川流域では流域治水の考え方がとられるようになっていきます。米代川圏域流域治水協議会の資料 4)によれば、森林施業に求められるものは、森林の保水力の向上と土壌流出の抑制による下流域の洪水抑制です。 排水溝や沈砂池といった設備は 2013 年 8 月や 2022 年 8 月に鹿角市で降った 1 時間あたり 100mm を超える豪雨に対しては効果は限定的だと思います。このような豪雨においては、道路が川のようになり、水が路肩の弱いところを侵食して流れ下ることは容易に想像できます。風車設置検討区域及び拡幅を予定している林道脇の天然林を伐採すべきではありません。また、土地を改変したりすべきではありません。 4) 第 2 回米代川圏域流域治水協議会説明資料(令和 3 年 1 月 25 日)東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所 https://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/kasen/ryuuikichisui/file/210125_report-4.pdf	事業者の見解 ・ツキノワグマ 2024 年 5 月には、鹿角市において、ツキノワグマの襲撃による死亡事故が起きました。 対象事業実施区域はツキノワグマのすみかです。その稜線上に風車を多数設置することは、彼らの生活を攪乱することです。特に、低周波音や超低周波音に対する彼らの反応は解明されていません。 海外では哺乳類の風車の忌避が報告されているます 5)。それによると、影響範囲は、トナカイで 5km 以上、オオカミで 5km 程度とあります。これは看過できない数値です。ツキノワグマの場合はどうなのでしょう。同 ・ツキノワグマ 2024 年 5 月のツキノワグマによる人身事故につきまして、私ども事業者も大変重く受け止めており、風車の設置が生態系に与える影響については、極めて慎重に考慮すべき課題であると認識しております。 今後の手続において、専門家等の助言を踏まえつつ、適切に調査、予測及び評価を実施し、必要に応じて最新の知見を踏まえた環境保全措置を検討することで、地域の安全確保と自然環境の保全の両立に努めます。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	報告書によれば、国内でのエビデンスはないとのこと です。もし、ツキノワグマなどの大型哺乳類に対する影響 範囲が数 km に及ぶならば、風車は明らかに生態系を攪 乱しているといえます。 ツキノワグマがふもとの集落に出現する頻度が増加す ることは十分に予想されます。 ツキノワグマを含む大型哺乳類に対する風車の影響に ついての知見が十分に蓄積され、精度の高いモデルが構 築されるまで本事業は中止すべきです。 5)「陸上風力発電事業による生態系への環境影響評価の 手法と課題 (平成 31 年 3 月)」陸上風力発電事業による 生態系への環境影響評価の手法と課題に関する委員会 https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndl.jp/pid/11663694 /www.meti.go.jp/meti_lib/report/H30FY/000628.pdf ・佐比内沢林道 図 2.2-1(3) によれば、風車の輸送ルートとして、佐比 内沢林道を拡幅して尾根までの道路を造る予定である と思います。しかし、ここは地すべり地形であり 6)、傾 斜角が 30° を超えています 7)。ここの樹木を伐採して 幅広な道路を造ることはやめてください。盛土、切土の 規模が大きくなり、雪崩れ、大雨、雪解けで崩壊し、土 砂災害を引き起こす恐れがあります。図 3.2-27(2) にあ るように、下流域は砂防指定地に指定されています。 ここのような急斜地においては、一旦道の幅を広げてし まえば元に戻すことはできません。普通の林道に比べて 補修費用も高額になると思います。供用期間終了後は誰 の責任で誰の費用負担で補修するのでしょうか。明確な 回答を求めます。 なお、地すべり地形分布図 6)、傾斜量分布図（雪崩関 連）7) は有用ですので、準備書以降では掲載してくだ さい。 6) 防災科学技術研究所地すべり地形分布図デジタルア ーカイブ https://d1- opac.bosai.go.jp/publication/nied_tech_note/ 7) 国土地理院傾斜量分布図（雪崩関連） https://maps.gsi.go.jp/index_m.html#6/38.091337/1 38.383789/&base=std&base_grayscale=1&ls=std%7Cslo pezone1map&blend=1&disp=11&lcd=slopezone1map&vs=c 1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0 以上	・佐比内沢林道 事業実施に伴う改変が周辺の災害を誘発することがな いよう関係機関との協議を行い、慎重に検討してまいり ます。供用期間終了後の管理についても関係機関との協 議を行い適切に対応してまいります。
389	全体意見 計画段階配慮書において私は以下のような意見述べた。 「本事業は、自然林を中心とする貴重な自然環境が残る 奥羽山脈の核心部に計画された事業であり、しかも資料 の中で周辺にイヌワシ生息地が広範囲に存在すること も書かれています。文献調査から、絶滅危惧種の生物に 悪影響があることが十分予測できるにもかかわらず、こ の場所に風力発電を計画する行為からは環境保護の視	計画段階配慮書に続き、ご意見ありがとうございます。 本事業による環境への影響については、文献調査に基づ く情報に加え、今後の環境調査により実態把握を行い、 専門家の助言を踏まえて科学的に予測・評価を実施いた します。 その上で、絶滅危惧種の生物に悪影響があることが予測 される場合には、影響の回避・低減に向けた措置を検討 してまいります。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	点が一切感じられません。本計画は、配慮書段階で即座に事業を中止することを強く要求します。」 また、私以外にも住民や保護団体から同内容の事業中止要望が多数寄せられていた。それらを熟読したが、とても理にかなった意見がたくさんあった。それにも関わらず、御社は、それらの意見に正面から答えることをせず、事業継続を前提とした回答集を機械的に当てはめるだけだった。環境保全を旨とする再エネ事業者の環境影響評価としては本当に残念な内容である。 今すぐ、計画を中止して傷が大きくなならないうちに撤退してほしい。	また、今後の検討にあたっては、関係機関等と調整を十分に行い、地域住民等の皆さまに対し丁寧かつ十分な説明を行い、ご意見を踏まえながら進めてまいります。
	本事業の目的について 配慮書意見で私は、再エネをいくら作っても電力系統トータルで見れば CO2 削減にはほぼ役立っていないことを説明したが、この意見に対する貴社の回答に対して今一度質問と意見を述べたい。 ・出力変動について 貴社説明では現状火力発電の出力制御、揚水発電のくみ上げ運転による需要創出、地域間連系線の活用などで対応しているということだが、現状揚水発電容量はとて少なく、火力発電の出力制御が中心だと思われる。火力発電の出力値は時々刻々きめ細かく増減することができないため、需要を上回る火力を常時動かしておき、必要なときだけ発電をする方法がとられているはずである。電力線内の火力由来の電力は再エネの分だけ減るかもしれないが、減らした時間帯においても火力の燃焼はいざというときのため続けている必要がある。したがって再エネが増えても減っても CO2 の削減にはつながらないと思われるがいかがか。	本事業の目的について ご意見のとおり再生可能エネルギーは天候や季節による発電量の変動があり、現時点では火力発電による需給調整の支援が必要な場面も多く存在します。しかし、長期的には需給調整の技術革新や蓄電技術の発展を通じ、再生可能エネルギーの導入比率をさらに高めることが可能と考えております。また、再生可能エネルギーの普及を進めることは、化石燃料の使用を段階的に抑え、エネルギーの自給率を高めるためにも重要な施策であると考えております。 再エネ政策そのものがもたらす恩恵は、脱炭素化とエネルギーの多様化により、国や地域の持続可能な未来を支えることにありと考えており、その実現のために環境保全の観点を大事にしながら事業検討を進めてまいりたいと考えております。
	・地域間連携線の増強や蓄電池の導入について 貴社回答では今後地域間連携線の増強や蓄電池の導入が進むということだが、地域連携線は余った再エネ電力を隣接地域に送る仕組みであり、狭い日本の隣接地域でそのとき電力を都合よく必要としているとは限らない。隣接地域でも余っている場合はどうするのか。こんな設備投資をするより、余剰に発電したときは風力発電を系統から切り離すのが自然で、これをしないのは平均的な再エネ比率が上がっているようにみせかけるトリックだと言わざるを得ない。	・地域間連系性の増強について 連系線の増強により、再生可能エネルギーの余剰電力を隣接地域へ融通することで、再エネの大量導入や電力系統のレジリエンス強化につながるが、国の委員会（再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会）等においても示されています。 また、再エネの発電量が需要を上回るなどして余剰電力が発生する場合には、出力制御により系統への供給量を制限することで、系統全体の安定性を確保しつつ、効率的な運用が図られています。
	・電力系統で機能するような大容量の蓄電池のリーズナブルな導入について 現状では安価な大容量蓄電池は存在しておらず、近い将来実現するという話もない。当面期待できない技術によって再エネを正当化するのはおかしい。再エネは約 20 年稼働するが、現状では蓄電池の寿命はもっと短いし、電力制御に蓄電池を使うと充放電ですぐに性能劣化する。この間蓄電池はどれくらいの頻度で取り換えなければいけないのか。 本事業の稼働期間中には間に合わないと思われるので、本事業計画は時期尚早と言える。実用的な大容量蓄電池ができてから初めて風車建設を検討するべきである。	・系統用蓄電池の導入について 系統用蓄電池の導入については、再生可能エネルギーの比率がさらに高まり、出力抑制量が増加する中で、徐々にその必要性が徐々に高まってきているものと認識しております。 現時点で、本事業の接続予定先の電力系統においては、系統の需給状況を踏まえると、直ちに導入が求められる状況には至っていないと認識しておりますが、今後の技術の進展やコストの低減に伴い、将来的にはその必要性が高まるものと見込んでおります。
	・貴社の「ライフサイクルアセスメントを考慮しても、風力発電の CO2 排出量は他電力より少ない」という意見について	

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	風力発電は稼働中に火力の助けを借りなくては行けないので、他発電+風力の CO2 排出量で計算しなければフェアと言えない。 ・貴社の「山林の伐採による CO2 吸収効果の減少より風力発電導入による CO2 削減効果のほうが大きい」という意見について 風力発電による森林伐採は決してわずかではない。また風力発電の CO2 削減効果は、調整用火力発電の無駄な運転による CO2 排出量が計算から除かれているのでこの計算主張は間違っている。	・貴社の「ライフサイクルアセスメントを考えると、風力発電の CO2 排出量は他電力より少ない」という意見について 「風力発電は稼働中に火力の助けを借りなくては行けない」とのご指摘については、電力系統全体の需給調整に関するものであり、個別発電所のライフサイクルアセスメントとは scope が異なりますが、ご指摘の通り風力発電の出力変動に対応するため、火力発電などの調整電源が必要となる場合があります。 しかしながら、NEDO が提供する「IEA TCP WIND Task 25 - Fact Sheet」によれば、風力発電の導入により、従来型電源で消費される燃料が削減され、その結果、CO₂排出量の削減につながることを示されています。（出典：https://www.nedo.go.jp/content/100923375.pdf） 同資料では、風力発電の変動に対応するために火力発電の出力変化が増加し、起動と停止の頻度が高くなることが指摘されていますが、これによる追加的な CO₂排出量は、風力発電によって削減される排出量に比べて非常に小さいとされています。例えば、年間消費電力量の 33% を風力と太陽光エネルギーで賄う場合、需給調整のために増加する排出量は、燃料使用量が減少したことによる排出量削減の 2%未満であると報告されています。 したがって、風力発電の導入による CO₂排出量の削減効果は、調整電源の運用による排出量の増加を大きく上回ることが明らかであり、全体として風力発電は他の発電方式と比較して環境優位性を有していると評価できます。 ・貴社の「山林の伐採による CO2 吸収効果の減少より風力発電導入による CO2 削減効果のほうが大きい」という意見について 本事業においても、森林伐採の影響は重要な環境要素であると認識しております。 ただし本事業では対象事業実施区域（図 2.2-1(2)対象事業実施区域及びその周囲の状況）を一律に伐採するのではなく、風車の設置にあたっては可能なかぎり対象事業実施区域内の既存道路等（図 2.2-1(3)対象事業実施区域及びその周囲の状況（詳細）(1/3～3/3)）の活用を前提としており、伐採面積は必要最小限にとどめるよう検討しております。 あわせて「風力発電の CO2 削減効果は、調整用火力発電の無駄な運転による CO2 排出量が計算から除かれているのでこの計算主張は間違っている」とについては、ご指摘の通り風力発電の出力変動に対応するため、火力発電などの調整電源が必要となる場合があります。 しかしながら、NEDO が提供する「IEA TCP WIND Task 25 - Fact Sheet」によれば、風力発電の導入により、従来型電源で消費される燃料が削減され、その結果、CO₂排出量の削減につながることを示されています。 （出典：https://www.nedo.go.jp/content/100923375.pdf） 同資料では、風力発電の変動に対応するために火力発電の出力変化が増加し、起動と停止の頻度が高くなることが指摘されていますが、これによる追加的な CO₂排出量は、風力発電によって削減される排出量に比べて非常に小さいとされています。例えば、年間消費電力量の 33% を風力と太陽光エネルギーで賄う場合、需給調整のために増加する排出量は、燃料使用量が減少したことによる排出量削減の 2%未満であると報告されています。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	風力発電は曲がり角ではないのか 三菱商事洋上風力の事実上の撤退報道を見るまでもなく、諸外国では燃料費や材料費の高騰により建設費と運用費が高み、採算性が厳しくなって事業撤退が相次いでいる。そもそも FIT や FIP といった補助金制度の原資は、すべて利用者の再エネ賦課金で賄われている。このような補助金事業はいつまでも続けられない期間限定の施策であり、今の状況はその終焉が近付いていることを示している。日本国民もようやくこのからくりに関心し始めており、補助金が打ち切られるリスクは年々高まっていくはずである。昨今の消費税減税のうねり等を考えると、再エネ賦課金についても抜本的な見直しが入る可能性が高いし、消費者としてもそのように期待したい。三菱商事が洋上風力を損切りしたのは経営者として当然の判断と言えるが、御社はいつまでこのような砂上の楼閣のようなビジネスを続けていくつもりなのか。御社の先見の明と決断に強く期待する。	これらの内容も考慮にいれつつ、伐採に伴う CO₂削減効果については、今後の環境影響評価手続きの中で、対象森林の面積や工事内容を踏まえ、適切に評価いたします。 ・風量発電に関する制度設計について ご指摘のとおり、FIT や FIP といった制度は、再生可能エネルギーの導入初期段階における普及促進を目的としたものであり、その原資が再エネ賦課金により賄われていることは十分に認識しております。 制度自体も、再エネが市場において競争力を持つまでの「過渡的な仕組み」として設計されており、実際に買取価格は年々引き下げられ、再エネの自立化が進んでいる状況です。これに伴い、再エネ賦課金の総額も減少傾向にあります。 こうした制度環境の変化を踏まえつつも、将来の市場動向や政策の方向性を見極めながら、持続可能な形で事業の在り方を引き続き検討してまいります。
390	配慮書意見でも既に述べたようにこの事業想定区域は自然環境保護及び安全性の観点から風力発電の立地として不適切です。事業は現段階で白紙に戻すことをお願いします。 <イヌワシ・クマタカについて> ・事業想定区域はイヌワシ・クマタカの生息地です。イヌワシ・クマタカはその繁殖成功率の低下から種の保存が危ぶまれており、生息環境の改善が喫緊の課題になっています。貴社は配慮書住民意見への回答の中で、「弊社は人と自然とが共生し、暮らし続けられる社会づくりを目指し、再生可能エネルギーの普及に取り組んでおり、その導入に際しては、環境への影響を低減し、森や水源、野鳥や野生生物への配慮を欠かさないように努めてまいります」と述べられていますが、イヌワシ・クマタカ生息地においては風車を建てないことが最善の配慮です。イヌワシ・クマタカなどの頂点捕食者は個体数がもともと少なく、一羽の衝突死が全体に大きな影響を与えます。たった1基の風車でもイヌワシ・クマタカの衝突死の可能性が生じるという点で風車はこの地域には不適格であり、生息が認められた時点で事業の計画は中止するべきです。なお、鳥類への影響低減策として事業者がよく採用する風車のポールに目玉模様をつける、ブレードの一部を黒く塗るなどの対症療法的な対策では根本的な解決策にはならないので、これらの措置で配慮をしたことにしないでください。イヌワシ・クマタカ生息地と共存できるような再生可能エネルギーを目指すのであれば、風力発電ではなく、もっと環境負荷の低い方式を考えてください。 ・方法書では猛禽類の調査を定点観察で毎月行うとしています。また一般鳥類の任意調査を冬季の12月～2月にも行うとしています。しかし冬季の12月～3月はイヌワシ・クマタカの繁殖期であり、もともと神経質になる時期であるため、この時期に高利用域に人が入りこむことは避けるべきです。調査圧で営巣放棄などを起こさないよう、この時期の調査は遠隔地から飛翔を確認するような調査に留めるべきです。	配慮書に続きご意見ありがとうございます。 意見いただいた事項について以下に事業者の見解をお示しいたします。 <イヌワシ・クマタカについて> 本事業による環境への影響については、今後の環境調査の結果を踏まえ、専門家の助言を踏まえて科学的に予測・評価を実施いたします。 希少猛禽類調査においては、「猛禽類保護の進め方（改訂版）―特にイヌワシ、クマタカ、オオタカについて―（環境省、平成24年）」の内容に従って、猛禽類の繁殖への影響がないよう十分に注意して実施します。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	<土地の改変について> 土砂災害などの発生の可能性に懸念を示す住民の配慮書意見に対し、貴社は「事業実施に伴う改変が周辺の災害を誘発することがないよう関係機関と協議を行い、慎重に検討してまいります。」と返答されていますが、土砂災害を起こさないようにするための工事はかえってかなり大々的な土地改変を必要とし、悪循環です。写真は由利本荘市の西目西ノ沢風力発電の工事ですが、4,300kWの風車をわずか2基建設するために大々的に山を削り、それまでと山の形が変わってしまいました。貴社の計画はその10倍を超える規模であり、事業想定区域の山の深さや地形の複雑さから考えてより大きな改変が行われることが予想されます。いくら災害防止工事をしてこのような工事跡はかえって周囲の山林の劣化や崩壊を誘発することが数多くの林道等の例で明らかであり、多雪地帯の鹿角は特にこの傾向が顕著となるはずで、予定地は奥羽山脈の核心部分であり、緑の回廊や保安林などが含まれる自然豊かな場所であり、幾筋もの沢が流れる所です。これ以上の大々的な改変は避けるべきです。(図 2-2 参照) 以上の理由から計画は現時点で中止していただくことをお願いします。 なお、この意見は写真も含め、全文の掲載をお願いします。 以上	<土地の改変について> 改変は既存道路等を可能な限り活用し最小限に留めるようにする方針です。また、地質や地すべり地形等の災害への対応に関しては、測量による地形や地すべり状況の把握、ボーリング調査による地質や地盤強度の把握等を行い、関係機関とも協議の上、適切な対応をする方針です。 なお、事業予定地に緑の回廊は含まれておりません。
391	方法書についての住民説明会に参加した友人から、「住民説明会の資料に間違いがあるのではないかと相談を受けました。二人で相談した結果を」超低周波音での健康被害と住環境の保全の観点からの意見としてまとめましたので、連名で提出します。 結論:あまりにもひどい内容なので、資料を作り直して、もう一度、説明会を開いてください。 問題点: 水平軸型と垂直軸型があるのに、水平軸型の風車を選定する理由が書かれていない。 問題点: 時代遅れの資料で、大型風車から出る 0.5Hz の超低周波音を隠蔽しようとした。 問題点: 音圧と周波数の関係を隠すことで、健康被害と超低周波音の因果関係を隠蔽しようとした。	説明会では、住民の超低周波音に対するご不安やご懸念を解消するために、これまでの知見を引用して、超低周波音の理解促進に努めました。説明会にご来場の皆様は必ずしも専門知識をお持ちではなく、日常生活では聞きなれない専門的な用語も多数含まれます。そのため、一部の用語をイメージしやすい平易な表現に変更する等により、限られた説明時間の中で可能な限りご理解いただけるような資料を目指しました。 ただし、十分な専門知識をお持ちの方にとっては、用語の使い方に違和感を覚える内容になり得ると認識いたしました。 ご指摘を踏まえ、用語の定義や使い方に留意しながら、今後も丁寧な説明してまいります。 水平軸型と垂直軸型の風力発電機にはそれぞれの特徴がありますが、本事業では国内外の商用風力発電機において多く導入されている水平軸型タイプの採用を予定しております。 「よく分かる低周波音」(平成 31 年、環境省)に示される「身近な音と周波数の例」の図を引用して、超低周波音の理解のために、周波数帯による可聴音(20~2 万 Hz)、低周波音(1~100Hz)、超低周波音(1~20Hz)の区別について示した上で、超低周波音は人の耳では特に聞こえにくい音であることを示しました。 「よく分かる低周波音」(平成 31 年、環境省)に示される「身の回りのいろいろな場所における低周波音の大きさの例」の図を引用して、日常生活の環境の中には低周波音が存在しており、風車から発生する低周波音が身近な低周波音と比較して大きいものではないこと等について示しました。

意見 番号	意見の概要	事業者の見解
	問題点：低周波音を 1～100Hz と定義しながら、4Hz からのグラフで問題点（0Hz～4Hz）を隠蔽している。	「風力発電施設から発生する騒音等への対応について」（平成 28 年、風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会）に示される「風車騒音と他の環境騒音の比較」の図及び知見を引用して、低周波音は風車音だけに含まれるのではなく、身の回りのどこにでも存在していることを示しました。
	問題点：“風車騒音の指針値”を“風車音の指針値（環境省）”として超低周波音まで含めて評価しているかのように見せかけた。	説明会にご来場の皆様は必ずしも専門知識をお持ちではなく、日常生活では聞きなれない専門的な用語も多数含まれます。そのため、一部の用語をイメージしやすい平易な表現に変更する等により、限られた説明時間の中で可能な限りご理解いただけるような資料を目指しました。 ただし、十分な専門知識をお持ちの方にとっては、用語の使い方に違和感を覚える内容になり得ると認識いたしました。 ご指摘を踏まえ、用語の定義や使い方に留意しながら、今後も丁寧に説明してまいります。
	問題点：説明会の参加住民の居住範囲（対象が限定的）	2025 年 2 月 15 日の説明会（全 1 回）は、「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法」に基づき、鹿角市等の意見を踏まえて定めた周辺地域の住民を対象に開催したものです。また、2025 年 3 月 21 日、22 日（全 3 回）の説明会は、環境影響評価法に基づいて開催したものであり、居住範囲を限定せずにどなたでも参加可能としております。
	問題点：根拠とは言えない環境省の主張を引用する（引用の仕方も間違っている。）	超低周波音に関する知見を引用する際には、用語の定義や使い方に留意して説明してまいります。

林班	小班	林齢(年)	樹種	機能類型	特記事項	付近の参照点
3080	ち	160	ブナ、他L、ミズナラ	土砂流出・崩壊防備		・779,・761,△803.2(大森)
3114	よ	165	ブナ、他L	自然維持	更新困難地	・777
3101	つ	150	ミズナラ、ブナ、他L	水源涵養	保護樹帯	△803.2(大森),・777
3101	つ1	150	ミズナラ、他L、ブナ	水源涵養	保護樹帯	
3101	つ2	150	ミズナラ、他L、ブナ	水源涵養	保護樹帯	・594

3102	い1	110	他L、ミズナラ、ブナ	水源涵養	保護樹帯	
3102	い	110	ブナ、他L	水源涵養	保護樹帯	・712,・750
3102	い2	110	他L、ミズナラ、ブナ	水源涵養	保護樹帯	・750
3102	な	110	ブナ、他L	水源涵養	保護樹帯	・750
3113	す	145	ブナ、他L	水源涵養	更新困難地	・510
3113	つ	145	ブナ、他L	水源涵養		
3113	め	145	ブナ、他L	水源涵養		
3113	き1	145	ブナ、他L	水源涵養		
3113	き3	145	ブナ、他L	水源涵養		
3113	ら	175	ブナ、他L	水源涵養		・741
3113	ら1	175	ブナ、他L	水源涵養		・741
3113	ふ	195	ブナ、他L	水源涵養		・741
3113	か	175	ブナ、他L	水源涵養	保護樹帯	・722
3113	る	155	ブナ、他L	水源涵養		・722
3113	り	175	ブナ、他L	水源涵養		・812
3113	ほ	195	ブナ、他L	水源涵養	崩土	
3113	い2	175	ブナ、他L	水源涵養		・854
3113	い3	175	ブナ、他L	水源涵養		
3113	い	101	ブナ、他L	水源涵養		・860
3103	れ	155	ブナ、ミズナラ、他L	水源涵養		
3103	か	125	ブナ、他L	水源涵養	保護樹帯	

図 2-1(1) 一般意見 (No. 388) の添付図

3103	ね	155	ブナ、ミズナラ、他L	水源涵養		・669
3103	な1	130	ブナ、他L	水源涵養		・662
3103	き	145	ブナ、他L	水源涵養		
3104	わ	155	ブナ、他L、アカマツ	水源涵養		・772
3104	わ5	155	ブナ、他L、アカマツ	水源涵養		・854
3104	る	110	ブナ、他L、アカマツ	水源涵養		
3104	と	110	ブナ、他L	水源涵養	保護樹帯	・682
3112	さ	195	ブナ、他L	水源涵養	崩土	・826、・732
3105	と	105	ブナ、他L	水源涵養	保護樹帯	△895.4
3106	ろ	120	ブナ、他L	水源涵養	保護樹帯	・893
3106	は	120	ブナ、他L	土砂流出・崩壊防備	土砂流出防備保安林	・893
3106	へ	175	ブナ、他L	土砂流出・崩壊防備	土砂流出防備保安林	・862.9
3106	と	175	ブナ、他L	土砂流出・崩壊防備	土砂流出防備保安林	・862.9
他L:その他の広葉樹。						

図 2-1 (2) 一般意見 (No. 388) の添付図



図 2-2 一般意見 (No. 390) の添付図

別 紙

日刊新聞紙等による公告

秋田魁新報 (令和 7 年 3 月 11 日 (火) 朝刊 20 面)

お知らせ

環境影響評価法に基づき、「(仮称)上沼風力発電事業
環境影響評価方法書」を作成しましたので、次のとおり
公告いたします。

一、事業者の名称 株式会社グリーンパワーインベストメント
代表者の氏名 代表取締役社長 坂木 満
主たる事業所の所在地 東京都港区赤坂二丁目十一番四十四号赤坂インターシティ
二、対象事業の名称 (仮称)上沼風力発電事業
種類 風力(陸上)
規模 発電所の出力 九万五千キロワット程度
最大二十二基

三、対象事業実施区域 秋田県鹿角市
四、関係地域の範囲 秋田県鹿角市
五、縦覧の場所 秋田県生活環境部 環境管理課、鹿角市役所本
庁、花輪支所、大湯支所、八幡平支所、十和田支所、尾去沢支所
(いずれも開庁時のみ)
電子縦覧 <https://greenpower.co.jp/category/environmental-impact-assessment/>

期間 令和七年三月十一日(火)から
令和七年四月一日(木)まで

六、意見書の提出
方法書について、環境の保全の見地からの意見を所持する
方は、書面に住所・氏名・意見の理由を含むものを記入
のうえ、令和七年四月二十四日(木)までに縦覧場所に備え付
けておきます。意見書箱に投函頂くか、問い合せ先へ郵
送ください(金日消印有効)

七、説明会の場所および日時
大湯地区市民センター 和室(二階)
令和七年三月二十一日(金) 十八時～二十時
八幡平市民センター 研修室 視聴覚室(二階)
令和七年三月二十一日(金) 十八時～二十時
鹿角市交流センター 講堂(一階)
令和七年三月二十二日(土) 十五時～十七時
八、問い合わせ先
株式会社グリーンパワーインベストメント
東北統括事務所担当：圓谷(つむらや)
〒020-0001 岩手県盛岡市中央通一七・三三五
コアフィールドモリオカ四階
電話 〇九六三・二二四一
(土曜日、日曜日、祝日を除く十時～十二時、
十三時～十六時)

米代新報 (令和 7 年 3 月 11 日 (火) 朝刊 1 面)

お知らせ

環境影響評価法に基づき、「(仮称)上沼風力発電事業
環境影響評価方法書」を作成しましたので、次のとおり
公告いたします。

一、事業者の名称 株式会社グリーンパワーインベストメント
代表者の氏名 代表取締役社長 坂木 満
主たる事業所の所在地 東京都港区赤坂二丁目十一番四十四号赤坂インターシティ
二、対象事業の名称 (仮称)上沼風力発電事業
種類 風力(陸上)
規模 発電所の出力 最大九万五千キロワット
最大二十二基

三、対象事業実施区域 秋田県鹿角市
四、関係地域の範囲 秋田県鹿角市
五、縦覧の場所 秋田県生活環境部 環境管理課、鹿角市役所本
庁、花輪支所、大湯支所、八幡平支所、十和田支所、尾去沢支所
(いずれも開庁時のみ)
電子縦覧 <https://greenpower.co.jp/category/environmental-impact-assessment/>

期間 令和七年三月十一日(火)から
令和七年四月一日(木)まで

六、意見書の提出
方法書について、環境の保全の見地からの意見を所持する
方は、書面に住所・氏名・意見の理由を含むものを記入
のうえ、令和七年四月二十四日(木)までに縦覧場所に備え付
けておきます。意見書箱に投函頂くか、問い合せ先へ郵
送ください(金日消印有効)

七、説明会の場所および日時
大湯地区市民センター 和室(二階)
令和七年三月二十一日(金) 十八時～二十時
八幡平市民センター 研修室 視聴覚室(二階)
令和七年三月二十一日(金) 十八時～二十時
鹿角市交流センター 講堂(一階)
令和七年三月二十二日(土) 十五時～十七時
八、問い合わせ先
株式会社グリーンパワーインベストメント
東北統括事務所担当：圓谷(つむらや)
〒020-0001 岩手県盛岡市中央通一七・三三五
CORE FIELD MORIOKA 四階
電話 〇九六三・二二四一
(土曜日、日曜日、祝日を除く十時～十二時、
十三時～十六時)

北鹿新聞 (令和 7 年 3 月 11 日 (火) 朝刊 4 面)

お知らせ

環境影響評価法に基づき、「(仮称)上沼風力発電事業
環境影響評価方法書」を作成しましたので、次のとおり
公告いたします。

一、事業者の名称 株式会社グリーンパワーインベストメント
代表者の氏名 代表取締役社長 坂木 満
主たる事業所の所在地 東京都港区赤坂二丁目十一番四十四号赤坂インターシティ
二、対象事業の名称 (仮称)上沼風力発電事業
種類 風力(陸上)
規模 発電所の出力 九万五千キロワット程度
最大二十二基

三、対象事業実施区域 秋田県鹿角市
四、関係地域の範囲 秋田県鹿角市
五、縦覧の場所 秋田県生活環境部 環境管理課、鹿角市役所本
庁、花輪支所、大湯支所、八幡平支所、十和田支所、尾去沢支所
(いずれも開庁時のみ)
電子縦覧 <https://greenpower.co.jp/category/environmental-impact-assessment/>

期間 令和七年三月十一日(火)から
令和七年四月一日(木)まで

六、意見書の提出
方法書について、環境の保全の見地からの意見を所持する
方は、書面に住所・氏名・意見の理由を含むものを記入
のうえ、令和七年四月二十四日(木)までに縦覧場所に備え付
けておきます。意見書箱に投函頂くか、問い合せ先へ郵
送ください(金日消印有効)

七、説明会の場所および日時
大湯地区市民センター 和室(二階)
令和七年三月二十一日(金) 十八時～二十時
八幡平市民センター 研修室 視聴覚室(二階)
令和七年三月二十一日(金) 十八時～二十時
鹿角市交流センター 講堂(一階)
令和七年三月二十二日(土) 十五時～十七時
八、問い合わせ先
株式会社グリーンパワーインベストメント
東北統括事務所担当：圓谷(つむらや)
〒020-0001 岩手県盛岡市中央通一七・三三五
コアフィールドモリオカ四階
電話 〇九六三・二二四一
(土曜日、日曜日、祝日を除く十時～十二時、
十三時～十六時)

広報によるお知らせ

広報かづの（令和 7 年 3 月号 15 ページ）

受給中の人は就職活動として認められます

（仮称）上沼風力発電事業に係る意見募集

当該事業の「環境影響評価方法書」の縦覧と説明会を行います。

縦覧

▼期間 3月11日（火）～4月10日（木）

▼場所 市役所生活環境課、各支所、ホームページ

説明会

▼日時・場所 ① 3月21日（金）18時～20時
大湯地区市民センター 2

② 3月22日（土）10時～12時
八幡平市民センター 2階
研修室・視聴覚室

③ 3月22日（土）15時～17時
交流センター 1階 講堂

意見書の提出

縦覧場所にある様式に必要事項を記入の上、意見書箱に投函するか、4月24日（木）までに郵送（当日消印有効）で提出してください。

（株）グリーンパワーインベストメント 東北統括事務所
☎ 019-613-2141
住所：岩手県盛岡市中央通 1-7-35 CORE FIELD MOROKA 4階

インターネットによる「お知らせ」 (株式会社グリーンパワーインベストメント ホームページ)

ニュース

Home > ニュース > 環境影響評価 > (仮称)上沼風力...

(仮称)上沼風力発電事業 環境影響評価方法書の公表及び縦覧について

☎ 2023年3月11日 ☎ public relations ☐ 環境影響評価

令和7年3月11日

株式会社グリーンパワーインベストメント

当社は、環境影響評価法に基づき「(仮称)上沼風力発電事業 環境影響評価方法書」(以下、方法書)及びこれを要約した書類(以下、要約書)を公表いたします。

■方法書の縦覧

【縦覧場所】

鹿角市役所市民生活環境課(〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1)
鹿角市役所花輪支所(〒018-5201 鹿角市花輪字丁花輪50番地)
鹿角市役所大湯支所(〒018-5421 鹿角市十和田大湯字中田23番地3)
鹿角市役所八幡平支所(〒018-5141 秋田県鹿角市八幡平字小豆沢47114番地)
鹿角市役所十和田支所(〒018-5334 秋田県鹿角市十和田毛馬内字城ノ下7番地5)
鹿角市役所尾古沢支所(〒018-5202 秋田県鹿角市尾古沢町井沢46番地5)
秋田県生活環境部環境管理課(〒010-8570 秋田県秋田市山王4丁目1番1号 本庁舎5階)

【縦覧期間】

令和7年3月11日(火)～令和7年4月10日(木)
縦覧時間は、土・日・祝祭日を除く縦覧時間

■インターネットによる公表

●表紙・目次

- 第1章 事業書の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地
- 第2章 対象事業の目的及び内容
- 第3章 対象事業実施区域及びその周辺の概況
- 第4章 第一級事業に係る計画段階配慮事項に関する調査、予測及び評価の結果
- 第5章 配慮書に対する経済産業大臣の意見及び事業書の見解
- 第6章 対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の方法
- 第7章 その他関係法令で定める事項
- 第8章 環境影響評価方法書の作成を委託した事業書の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地
- 資料編
- 要約書

なお、本書は、ダウンロードして閲覧・印刷することはできません。また、本書に記載された情報(文章、資料、地図、画像等を含む。)に関する著作権は、法律によって保護されています。著作権法上認められた場合を除き、本書に記載された情報を利用(複写、複製、改変、配布、配信、他サイトへの転載を含む。)することは、法律によって禁止されています。

■意見書の提出について

【意見書提出方法】

本方法書について、関係保全の見地からのご意見、ご質問をお持ちの方は、意見書に必要事項をご記入のうえ、縦覧場所に設置の意見書箱にご投函をいただくか、下記お問い合わせ先宛へ郵便にてお送りください。

●意見書書式

【意見書の提出期限】

令和7年4月24日(木)※郵送の場合は、当日消印有効

■説明会の開催

令和7年3月21日(金) 10時～20時
(場所) 大湯地区市民センター2階 和室1、2
(住所) 〒018-5421 鹿角市十和田大湯字様奥堂22-1

令和7年3月22日(土) 10時～12時
(場所) 八幡平市民センター2階 研修室、視聴覚室
(住所) 〒018-5141 鹿角市八幡平字小豆沢47114

令和7年3月22日(土) 15時～17時
(場所) 鹿角市交流センター1階 講堂
(住所) 〒018-5201 鹿角市花輪字荒田1-1

■お問い合わせ先

株式会社グリーンパワーインベストメント 東北統括事務所
〒020-0021
岩手県盛岡市中央通り丁目7番35号 コアフィールドモリオカ4階
TEL: 019-613-2141

(秋田県 ホームページ)

このページの現在位置：[ホーム](#) > (仮称) 上沼風力発電事業

(仮称) 上沼風力発電事業

コンテンツ番号：83099 更新日：2025年03月11日

(仮称) 上沼風力発電事業に係る環境影響評価の概要

項目名		内容
事業名		(仮称) 上沼風力発電事業
事業者		株式会社グリーンパワーインベストメント
事業の種類		風力発電所の設置（陸上）
対象法令等		環境影響評価法
事業実施場所		秋田県鹿角市
関係地域		秋田県鹿角市
事業の規模		最大9万5千kW
配慮書	公表日	令和6年7月9日
	縦覧期間	令和6年7月10日～8月9日
	縦覧場所	鹿角市役所本庁、花輪支所、大湯支所、秋田県生活環境部環境管理課
	インターネットによる 公表	事業者ウェブサイト（公開は終了しました）
	意見提出期限	令和6年8月9日
	知事意見	令和6年9月27日
方法書	公告日	令和7年3月11日
	縦覧期間	令和7年3月11日～4月10日
	縦覧場所	秋田県生活環境部環境管理課、 鹿角市役所本庁、花輪支所、大湯支所、八幡平支所、十和田支所、尾去沢 支所
	説明会の場所・日時	大湯地区市民センター和室1、2（2階） 令和7年3月21日（金）18時～20時 八幡平市民センター研修室、模範館（2階） 令和7年3月22日（土）10時～12時 鹿角市交流センター講堂（1階） 令和7年3月22日（土）15時～17時
	インターネットによる公表	事業者のウェブサイト
	意見提出期限	令和7年4月24日（木）（当日消印有効）
	意見数	
	知事意見	

ダウンロード

・配慮書知事意見 

添付資料を見るためにはビューワソフトが必要な場合があります。
[詳しくはビューワーをご覧ください。](#)（別ウィンドウで開きます。）

 このページに関するお問い合わせ

生活環境部 環境管理課 環境審査チーム
TEL：018-860-1601
FAX：018-860-3881
E-mail：kankan@pref.akita.lg.jp

(鹿角市 ホームページ)

(仮称) 上沼風力発電事業に係る環境影響評価方法書の縦覧について

更新日：2025年03月11日

ページID：13102

株式会社グリーンパワーインベストメントが計画している「(仮称) 上沼風力発電事業」に関して、環境への影響に対する評価の取りまとめた「環境影響評価方法書」の縦覧を次のとおり行いますのでお知らせします。

【事業名称等】

事業名称：(仮称) 上沼風力発電事業

事業者：株式会社グリーンパワーインベストメント

【縦覧について】

縦覧場所：市役所本庁生活環境課、各支所

縦覧期間：令和7年3月11日（火曜日）～令和7年4月10日（水曜日）

意見書受付期間：令和7年3月11日（火曜日）～令和7年4月24日（木曜日）

環境保全の見地からのご意見をお持ちの方は、書面に住所、氏名、意見（意見の理由を含む）をご記入のうえ、縦覧場所に備え付けております意見書箱にご投函頂くか、下記事業者へご郵送ください（当日消印有効）。なお、設置図書をコピーや写真等で複製することはご遠慮願います。

【方法書説明会】

1. 大湯地区

開催日時：令和7年3月21日（金曜日）18時～20時

開催場所：大湯地区市民センター2階和室1、2

2. 八幡平地区

開催日時：令和7年3月22日（土曜日）10時～12時

開催場所：八幡平市民センター2階研修室、視聴覚室

3. 花輪地区

開催日時：令和7年3月22日（土曜日）15時～17時

開催場所：鹿角市交流センター1階講堂

【事業、縦覧、説明会に関するお問い合わせ先】

事業所住所：〒020-0021 岩手県盛岡市中央通1丁目7番35号 コアフィールドモリオカ4階

事業所担当者：株式会社グリーンパワーインベストメント 東北統括事務所（担当：園谷）

事業所電話番号：019-613-2141（土曜日、日曜日、祝日を除く10時～12時、13時～16時）

インターネットによる公表：<https://greenpower.co.jp/category/environmental-impact-assessment/>

◇ この記事に関するお問い合わせ先 ◇

生活環境課 環境推進班

〒018-5292 秋田県鹿角市花輪字荒田4番地1

電話:0186-30-0224 ファックス:0186-22-2042

[お問い合わせはこちらから](#)

